



2019年上期の業種別部会長シンポジウム

**SIMPÓSIO DOS PRESIDENTES DOS
DEPARTAMENTOS SETORIAIS**

CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

HomePage: www.camaradojapao.org.br / E-mail: secretaria@camaradojapao.org.br

前半司会

讚井 慎一 総務委員長

APRESENTADOR

**Presidente da Comissão
de Coordenação Geral**

Shinichi Sanui

挨拶

安田 篤 副会頭

Palavras do Vice Presidente da Câmara:

Atsushi Yasuda

金融 部会

津田 双羅 部会長

Departamento Financeiro

Presidente: Sora Tsuda

「2018年の回顧と2019年の展望」
『成長への期待、変化への対応』

2019年2月28日(木)

1. ブラジル経済動向 P2-16
2. 銀行業界動向 P17-20
3. 保険業界動向 P21-24

1. ブラジル経済動向

2018年の回顧

緩やかな経済回復基調を維持

ブラジル経済の逆風

【国内】

- 大統領選挙
- トラック運送業者のストライキ

【国外】

- 米国の金融・通商政策

2019年の展望

緩やかな経済回復基調は継続
※新政権の政策実行力に注目

ブラジル経済のリスク要因

【国内】

- 各種構造改革

【国外】

- 世界経済

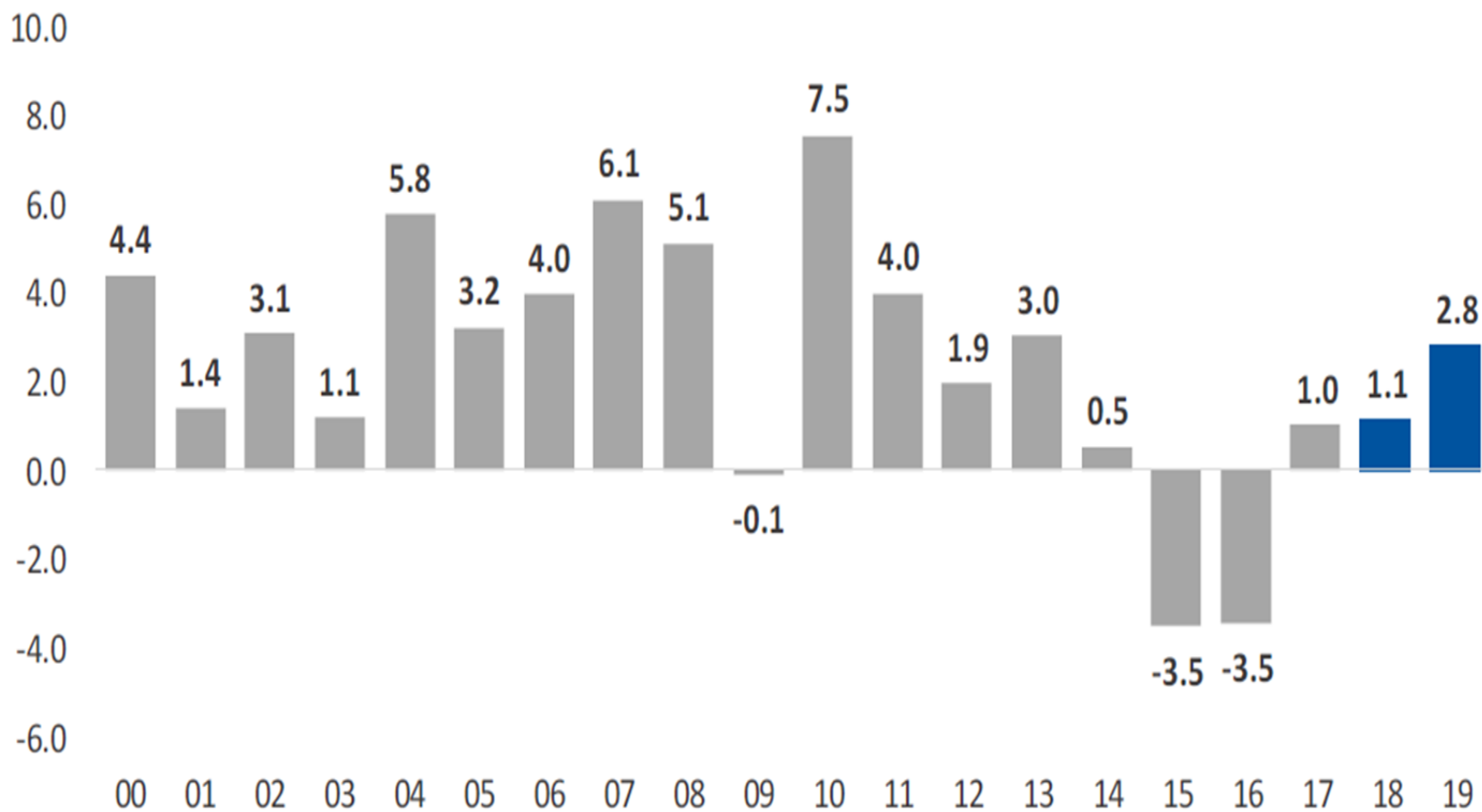
主要マクロ経済指標の推移と予測

金融部会

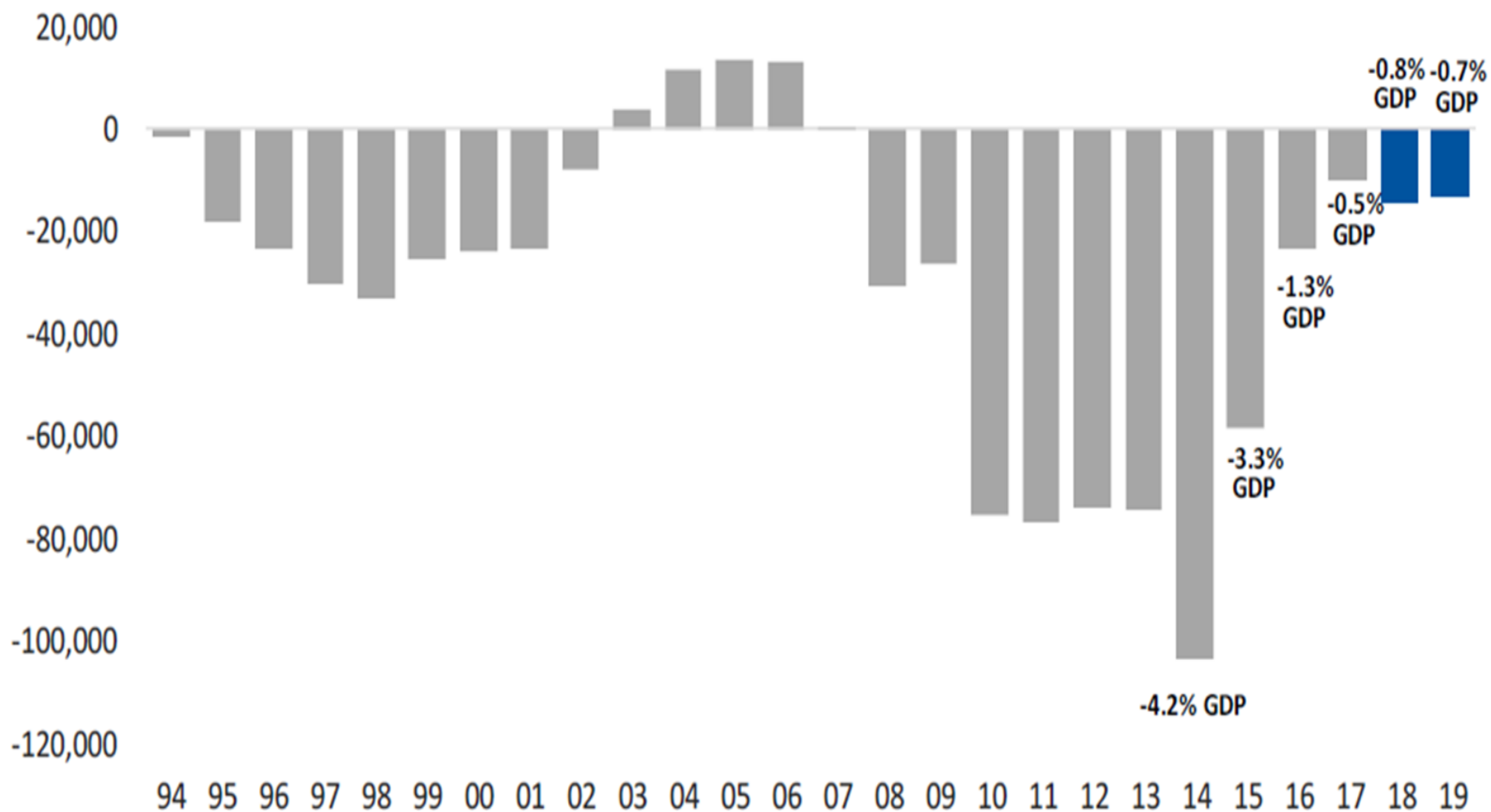
		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年予想
GDP成長率(%)		1.9	3.0	0.5	▲3.6	▲3.6	1.0	1.1	2.8
名目GDP	(BRL/10億)	4,806	5,316	5,779	6,000	6,267	6,592	7,001	7,557
	(USD/10億)	2,459	2,464	2,456	1,802	1,799	2,065	1,915	2,053
貿易収支(USD/10億)		19.4	2.6	▲6.3	17.7	45.0	64.0	53.5	56.1
小売売上動向指数(%)		8.4	4.3	2.2	▲4.3	▲6.2	2.0	3.0	3.5
基礎的財政収支(BRL/10億)		105	91	▲33	▲111	▲156	▲111	▲108	▲95
株価【BOVESPA】(ポイント)		60,95	51,51	50,01	43,35	60,23	76,40	87.89	N/A
政策金利【Selicレート】(%)		7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	7.00	6.50	6.50
インフレ率【IPCA】(%)		5.8	5.9	6.4	10.7	6.3	3.0	3.7	3.8
為替レート(リアル/ドル)		2.05	2.34	2.66	3.90	3.26	3.31	3.87	3.70 ⁴

出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成(2月19日時点)

年ベース

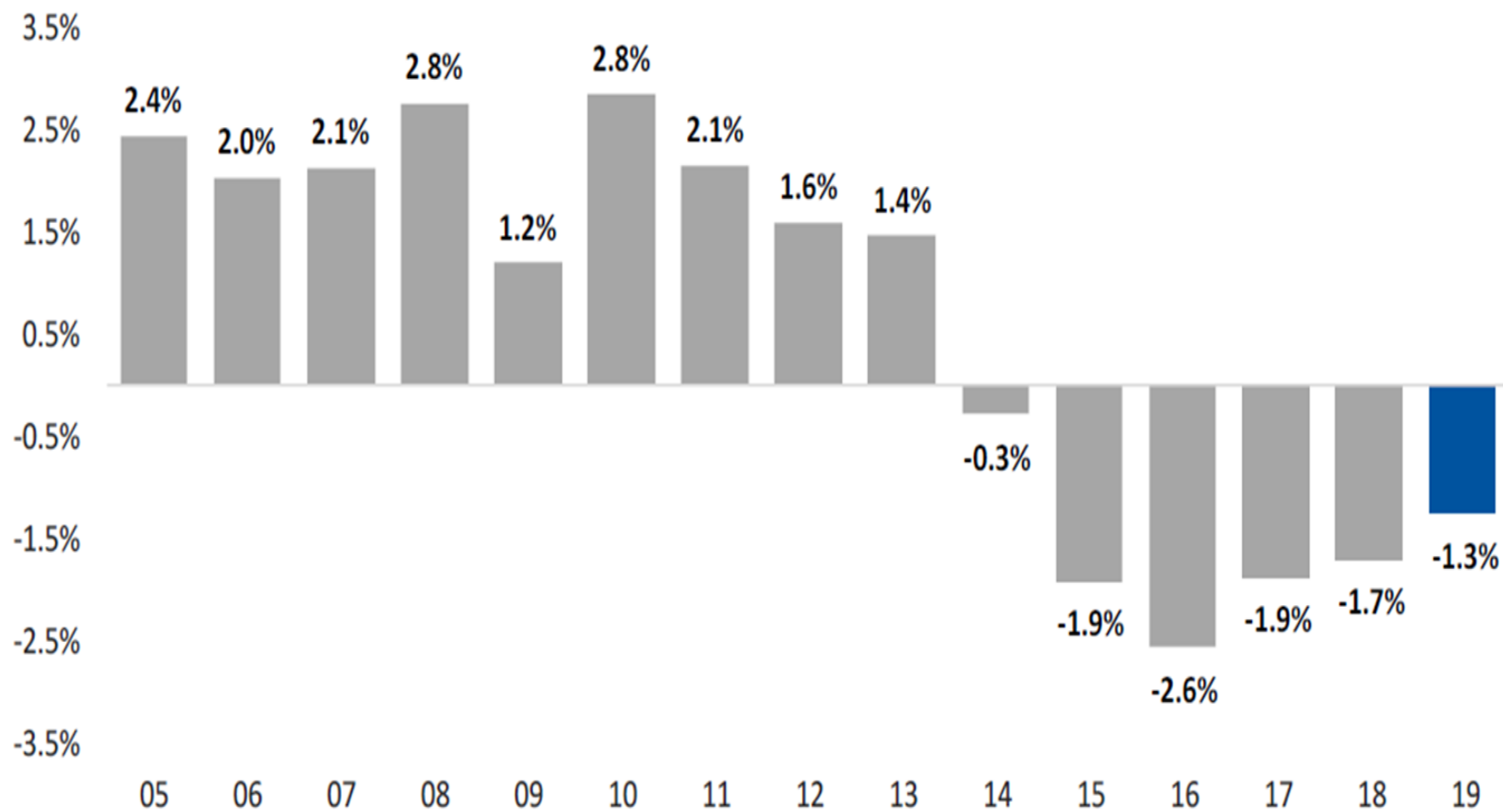


単位: USD Mio

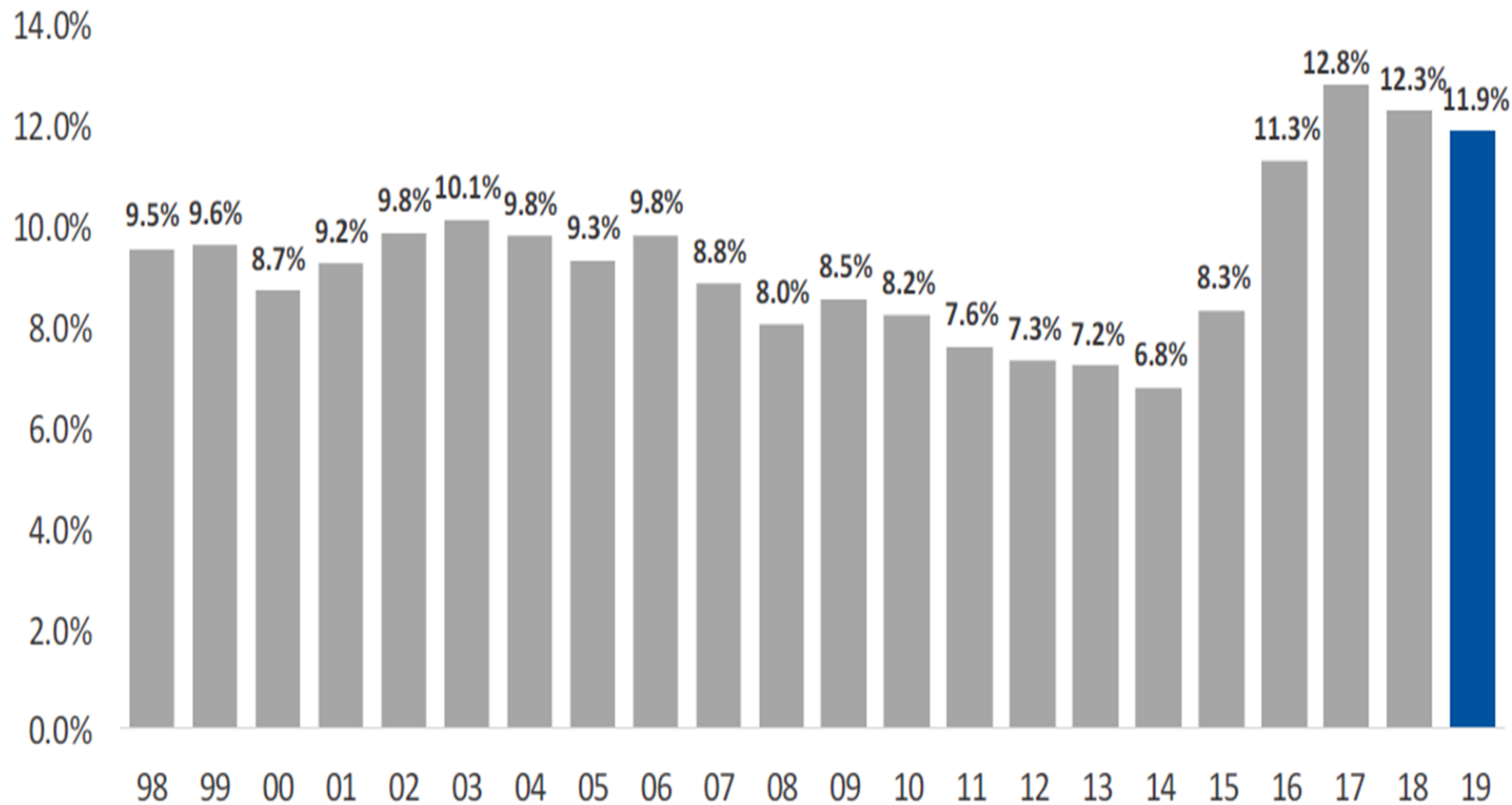


基礎財政収支(対GDP比)

金融部会

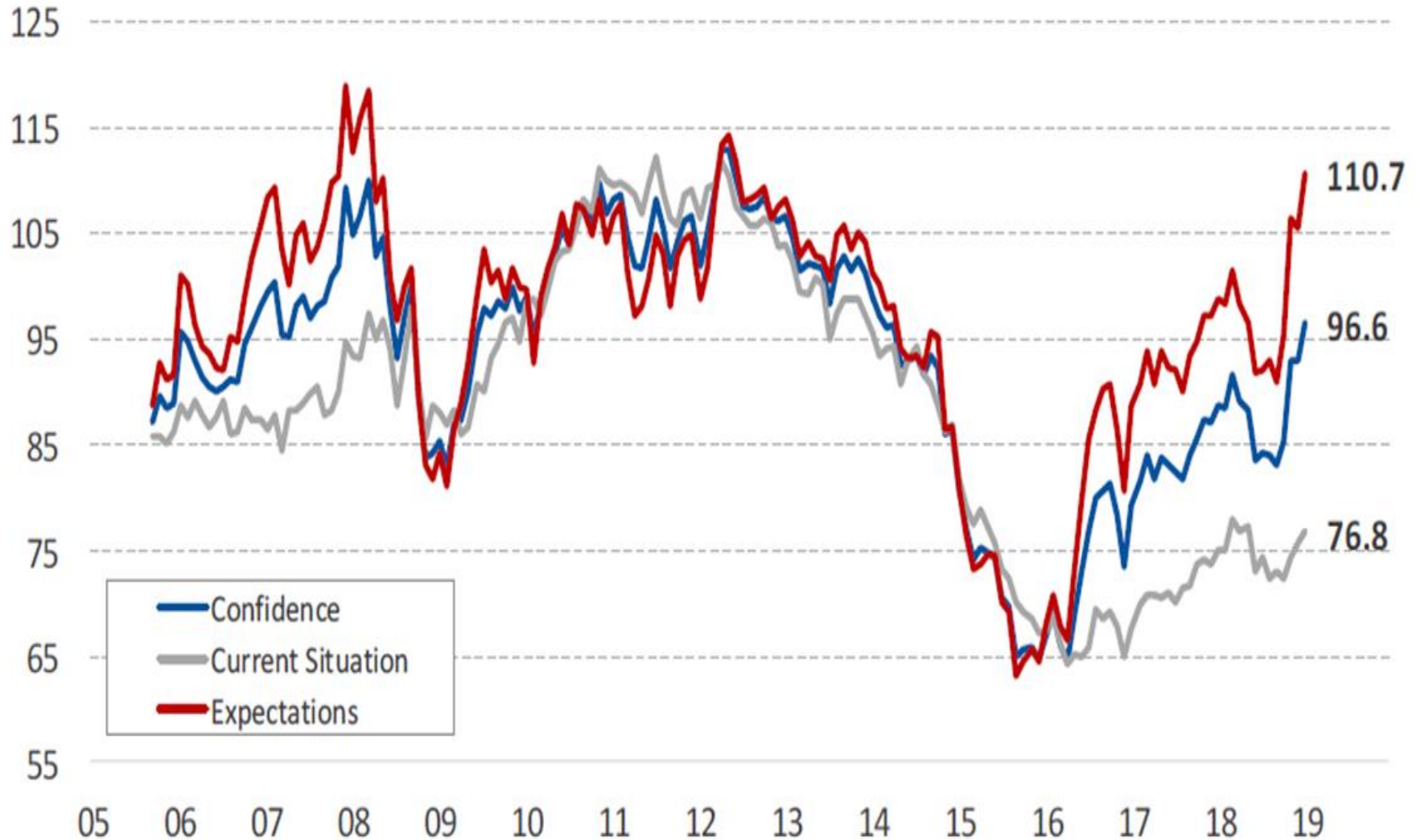


(USD Bio)



消費者信頼感指数 (SEP/2005 = 100)

金融部会



出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

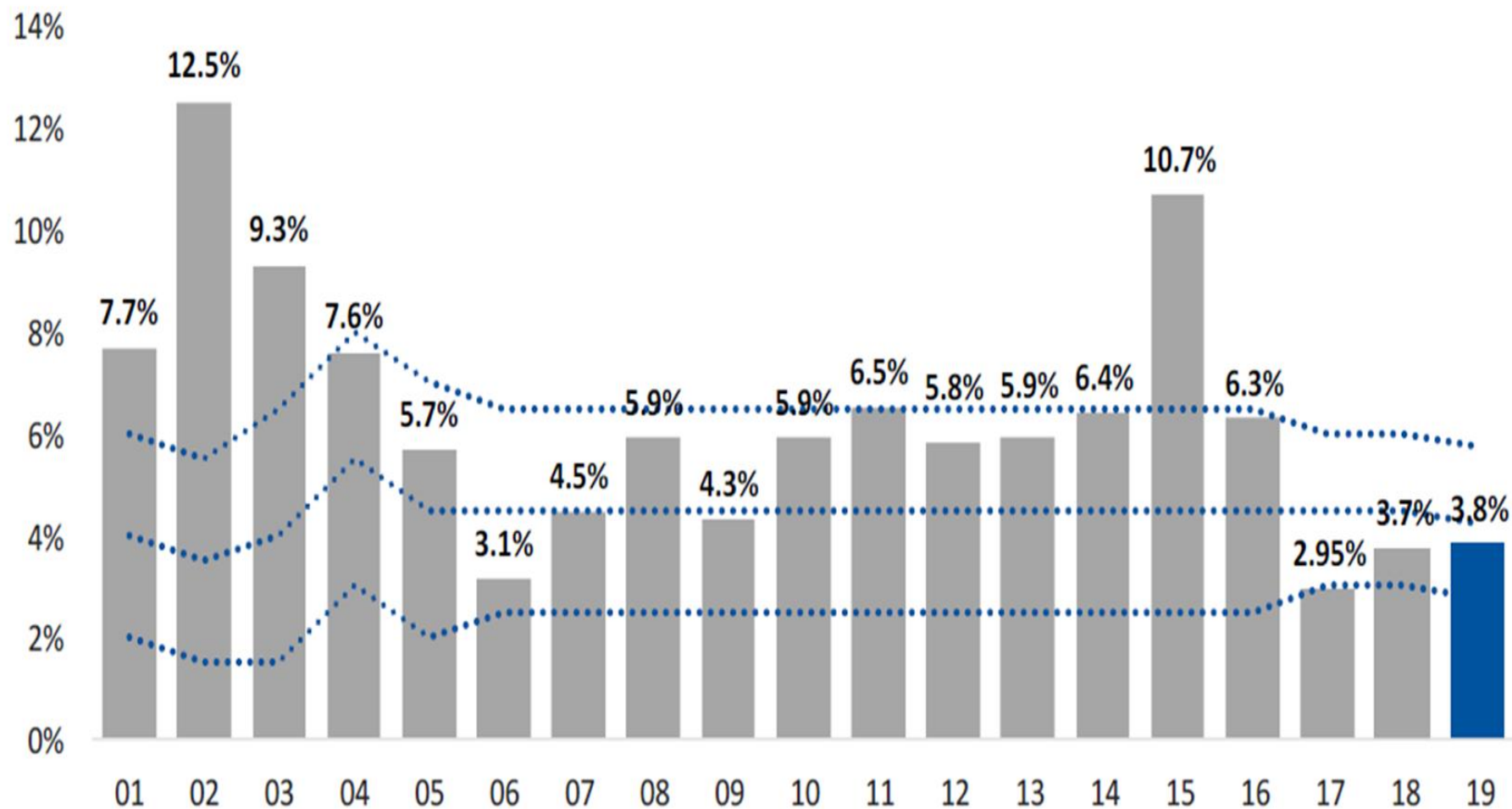
(単位: bps)

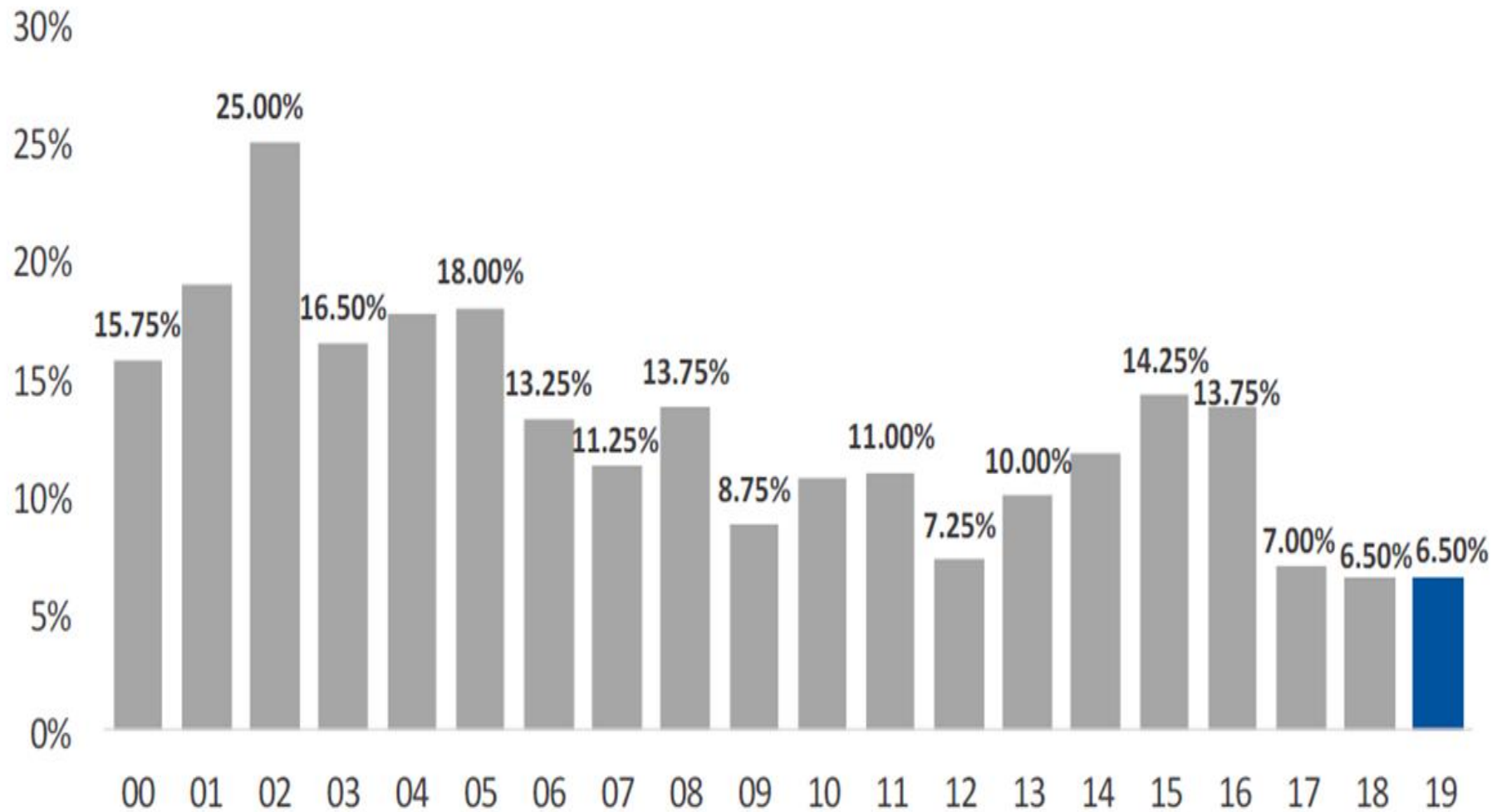
(単位: BRL/USD)



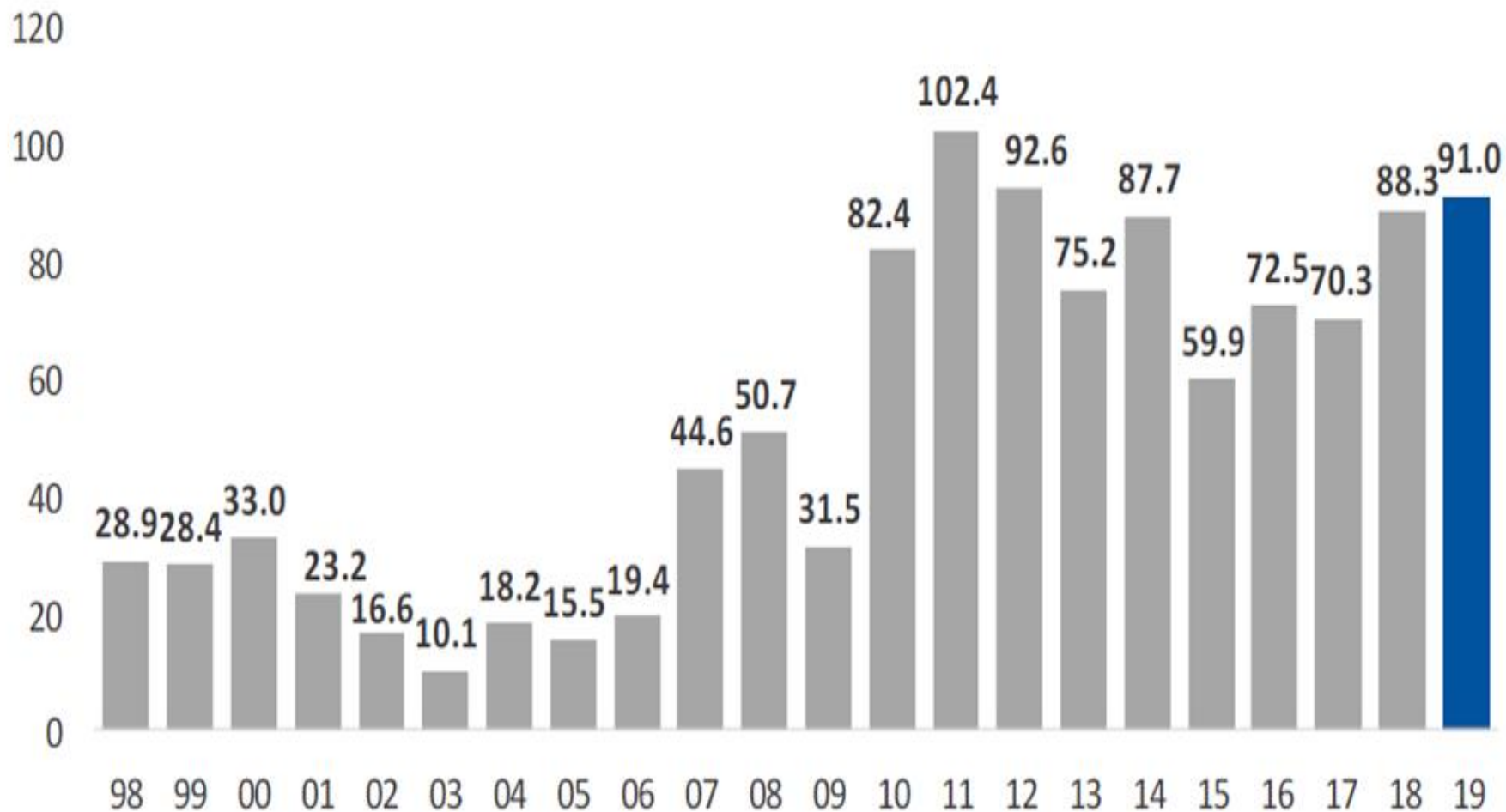
出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成







(10億ドル)



指標	2019年			2020年	
	Focus 予測 2019/2/15	金融部会 予測 レンジ (前回発表)	金融部会 予測 レンジ	Focus 予測 2019/2/20	金融部会 予測 レンジ
GDP成長率 (前年比%)	2,51	2.00 ～ 3.00	2.00 ～ 2.80	2,74	2.50 ～ 3.00
インフレ率 (IPCA%)	3,86	3.90 ～ 4.40	3.80 ～ 4.30	3,96	4.00 ～ 4.00
年末為替レート (リアル/ドル)	3,70	3.20 ～ 3.50	3.60 ～ 3.70	3,77	3.60 ～ 3.80
年末政策 目標金利 (%)	6,70	6.75 ～ 7.25	6.50 ～ 8.00	7,80	7.50 ～ 8.00

ブラジルが本格的な経済成長へ転じる契機となるものは何か？
(ブラジル経済へ影響を与える内的な要因)

- 構造改革の実行(年金改革、予算配分の適正化、公的セクターの効率化等)
- 低インフレ、低金利環境の長期化
- 民間部門のクレジットの回復
- 個人消費(家計消費)の本格回復

ブラジル経済に影響を与える外的な要因があるとすれば何か。
またどの様な影響か。

- 世界経済の動向(貿易摩擦(米国-中国)、Brexit等の影響)
- 中国、アルゼンチン経済動向
- 資源価格の動向

短期、中長期の夫々の時間軸でブラジル経済はどの様に変化していくと考えられるか。
また、(日系企業或いは日系金融機関として)斯かる変化へ適応する為に、どの様な準備・戦略が必要か。

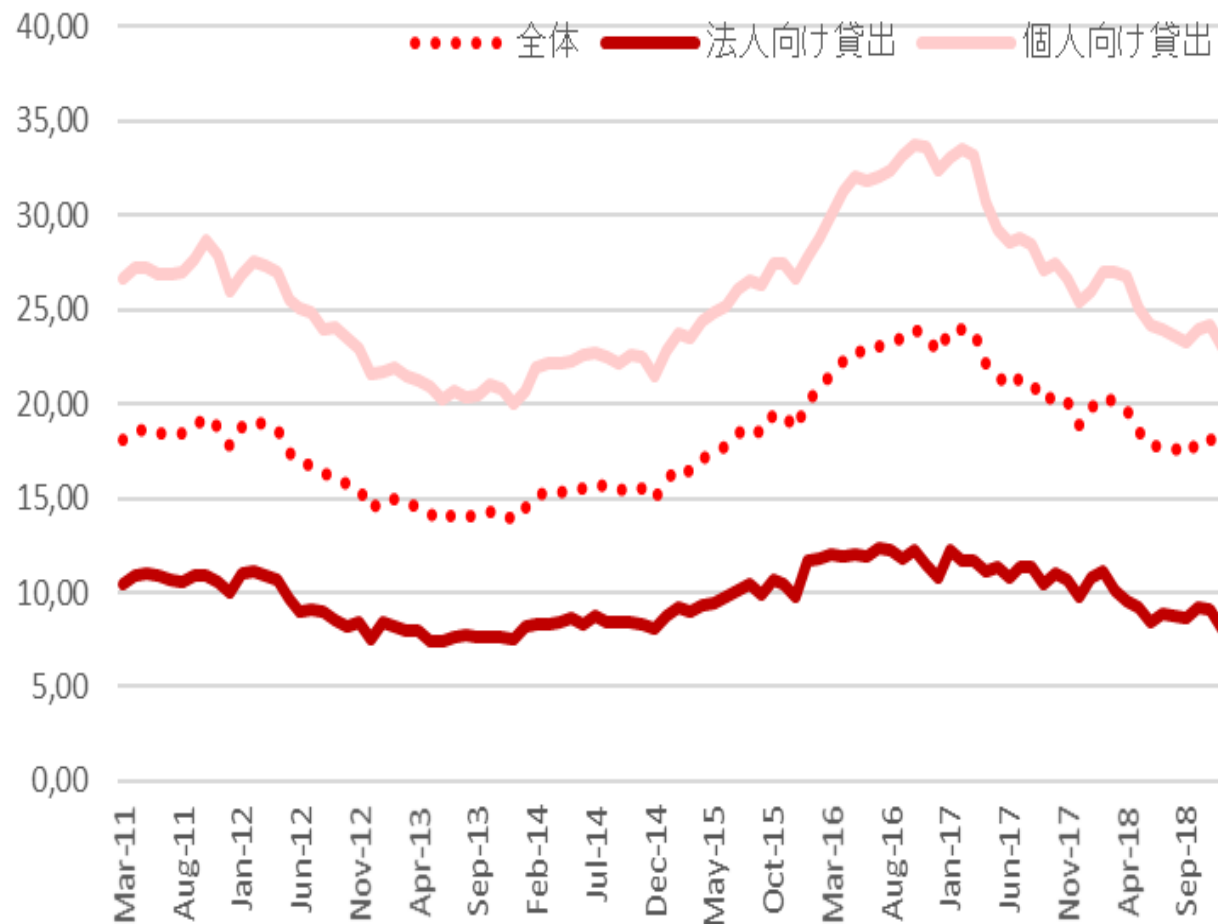
- 各種構造改革の進展によるビジネスフレンドリーな環境への変化
- 高齢化

2. 銀行業界動向

(10億レアル)	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
個人向け貸出	627	776	920	1.074	1.246	1.412	1.512	1.561	1.649	1.791
(同増加率)	N. A.	23,8%	18,6%	16,7%	16,0%	13,3%	7,1%	3,2%	5,6%	8,6%
法人向け貸出	794	937	1.114	1.294	1.466	1.605	1.707	1.546	1.437	1.469
(同増加率)	N. A.	18,0%	18,9%	16,2%	13,3%	9,5%	6,4%	-9,4%	-7,1%	2,2%
農業	N. A.	N. A.	N. A.	20	22	24	25	24	22	24
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	10,0%	9,1%	4,2%	-4,0%	-7,3%	9,4%
鉱工業	N. A.	N. A.	N. A.	619	705	782	833	747	670	658
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	13,9%	10,9%	6,5%	-10,3%	-10,3%	-1,8%
サービス業等	N. A.	N. A.	N. A.	655	739	799	849	775	745	751
(同増加率)	N. A.	N. A.	N. A.	N. A.	12,8%	8,1%	6,3%	-8,7%	-3,9%	0,9%
合計	1.421	1.713	2.034	2.368	2.712	3.017	3.219	3.107	3.086	3.260
(同増加率)	N. A.	20,5%	18,7%	16,4%	14,5%	11,2%	6,7%	-3,5%	-0,7%	5,6%

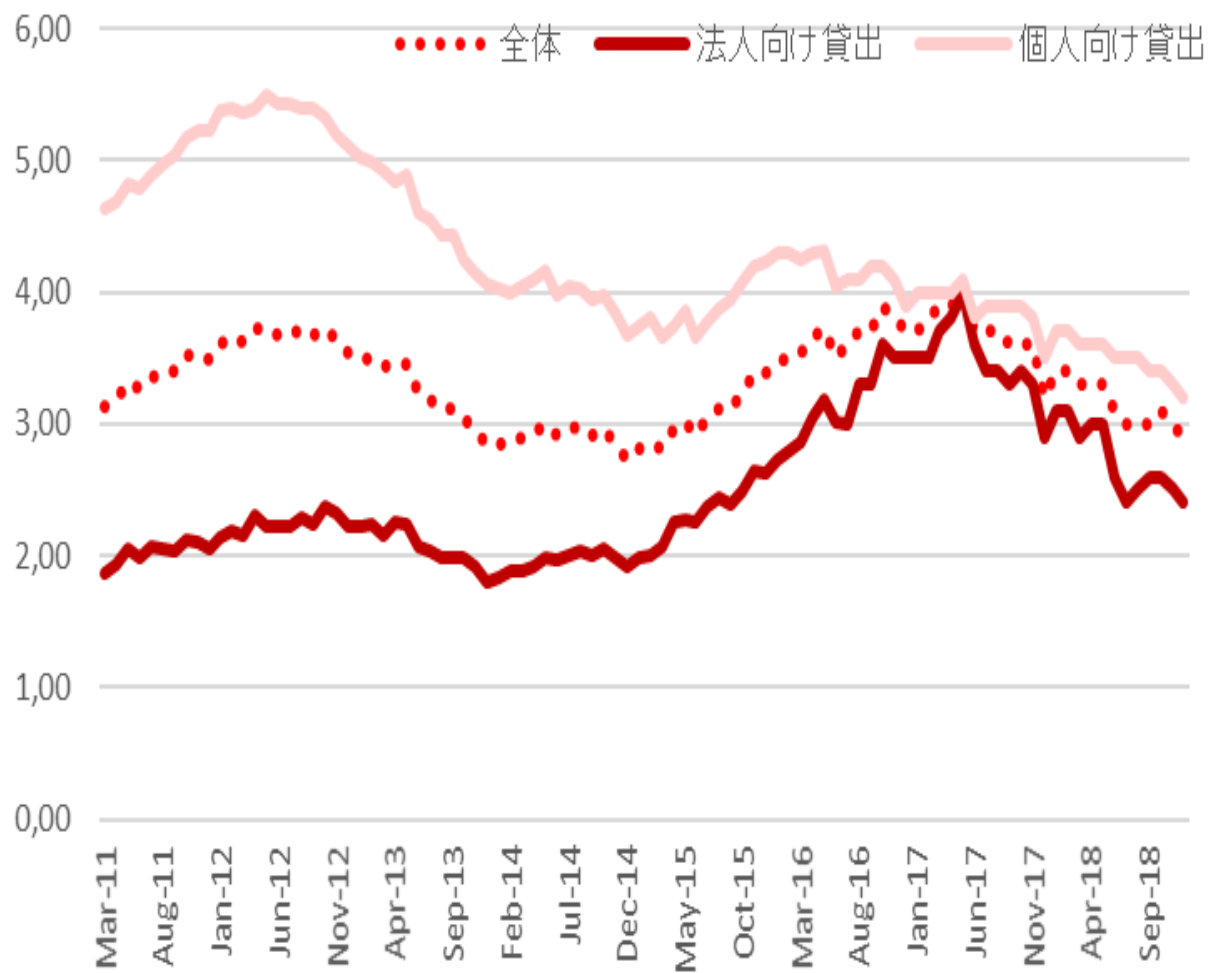
出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

(単位: % P.A.)



出所: 各種資料に基づき、ブラデスコ銀行が作成

(単位:%)

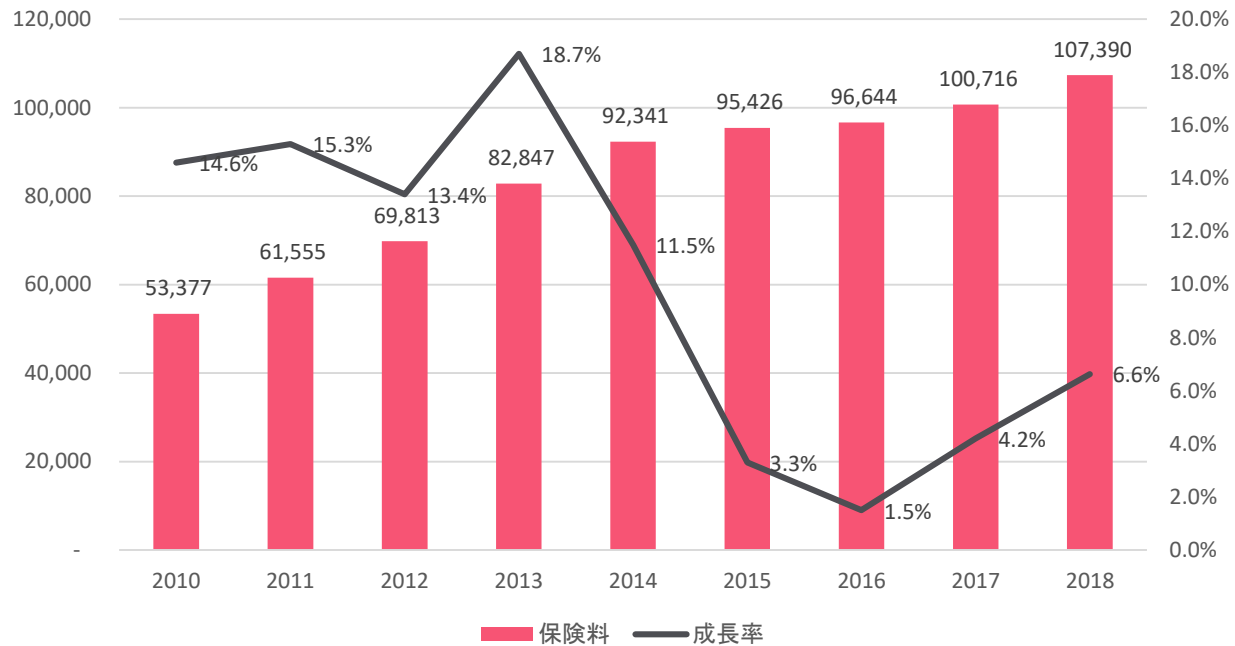


出所:各種資料に基

3. 保険業界動向

保険料収入推移(除く年金、健康保険)

単位:百万リアル

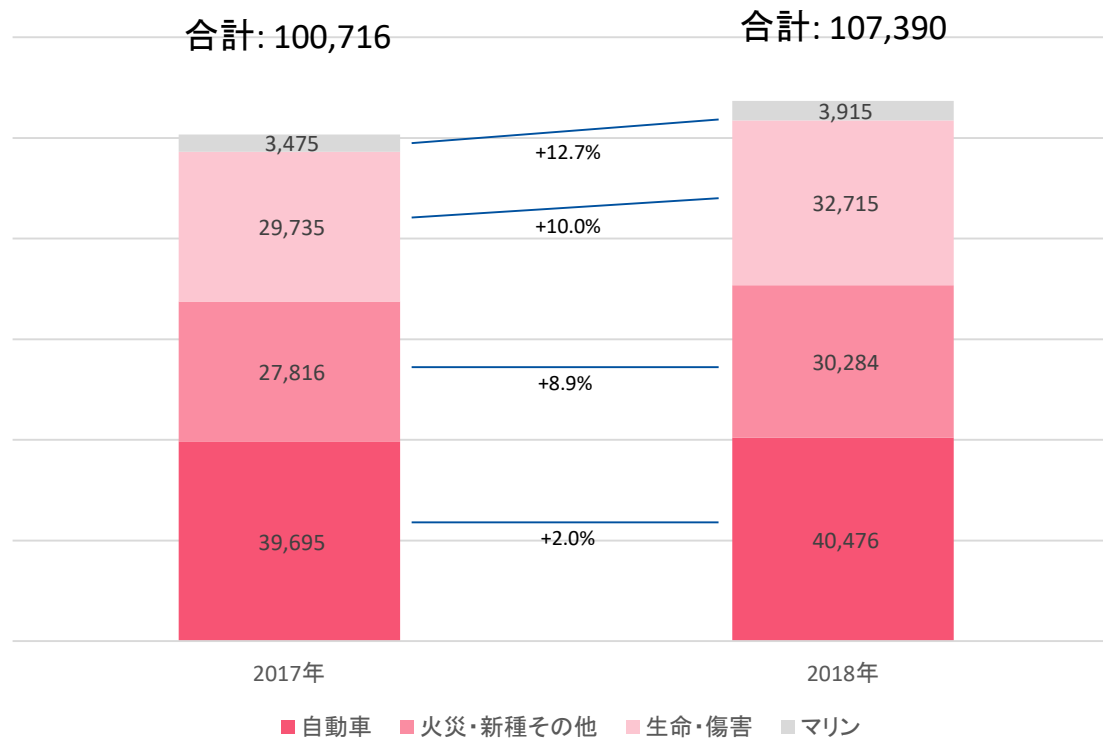


2018年は6.6%の成長率を実現し、市場の成長トレンドが確固たるものになってきた。

出所:SUSEP

保険種目別 保険料収入

単位:百万リアル



ペースは鈍いものの自動車保険はプラス成長に転じた。

出所: SUSEP

保険種目別 損害率

	2017年	2018年	前年比
自動車	65.6%	62.6%	-3.0pt
火災・新種その他	38.1%	38.3%	0.1pt
生命・傷害	30.1%	28.8%	-1.3pt
マリン	56.6%	47.6%	-9.0pt
合計	46.9%	44.7%	-2.2pt

- 損害率は全体で2.2ポイント改善。
- 昨年年初の降雨量が少なかったこと、および5月のトラックストや6月-7月のワールドカップで交通量が減少したことより自動車保険の損害率が改善。

ブラジル保険市場の成長見通し

	2018年成長率 (結果)	2019年成長率 (予測)
損害保険(自動車・火災新種・マリ ン)	5.2%	5.8%
生命・傷害	10.0%	9.0%
合計	6.6%	6.9%

- 2019年の見通しでは、損害保険、生命保険の両分野において、引き続き高い成長が見込まれている。

貿易 部会

猪股 淳 部会長

Departamento de Comércio Exterior

Presidente: Jun Inomata

2018年の回顧と 2019年の展望

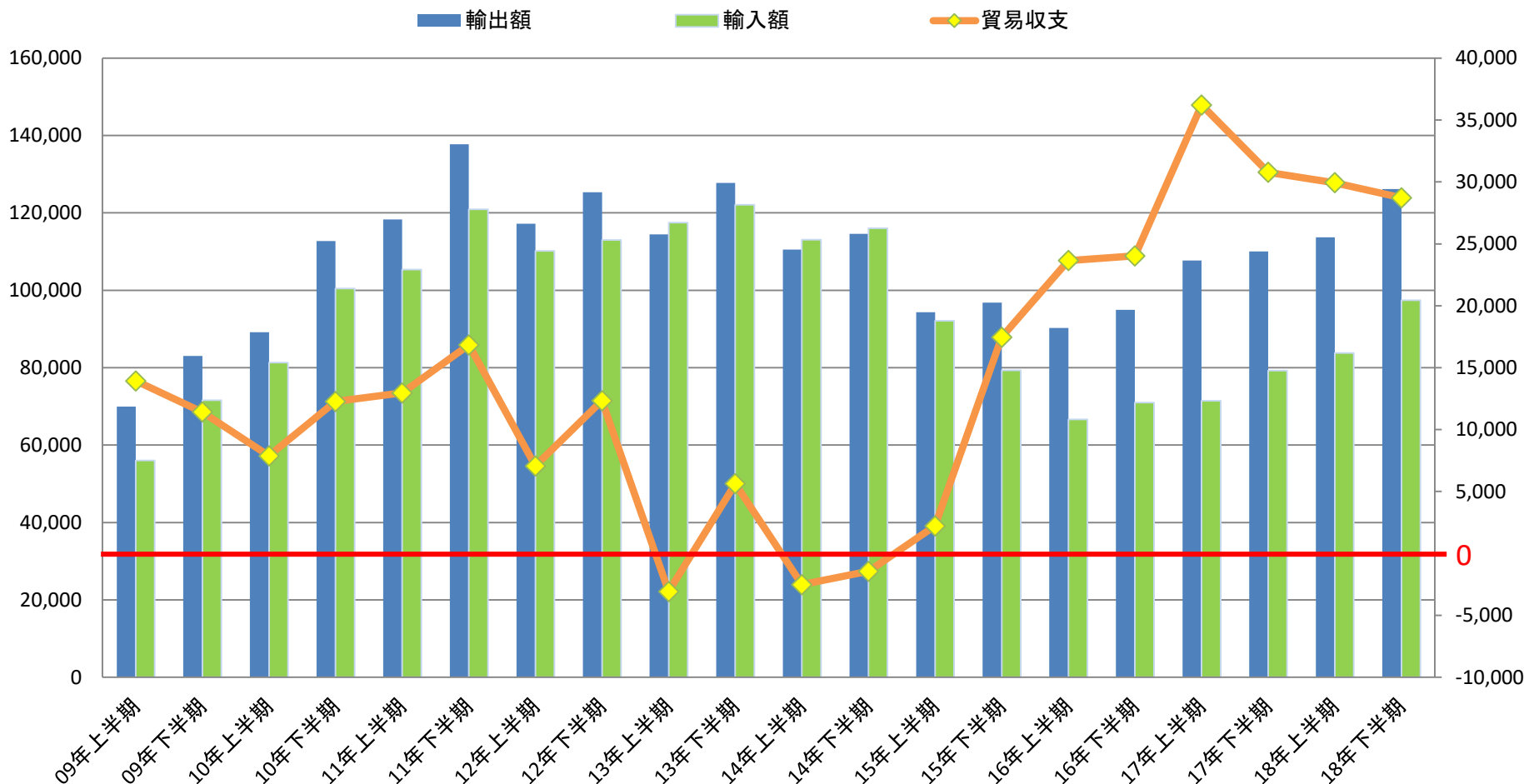
2019年2月28日
ブラジル日本商工会議所
貿易部会

1. 総括

半期ごとの輸出入額の推移

<輸出入額>

<貿易収支>



(単位: Mil. USD)

為替レート

2017年 R\$3.18/US\$

2018年 R\$3.68/US\$

(終値ベース、期中平均)

<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

2. 輸出 ～主要商品別～

金額: 単位 Mil. USD

数量: 単位千トン(*乗用車のみ単位は「千台」)

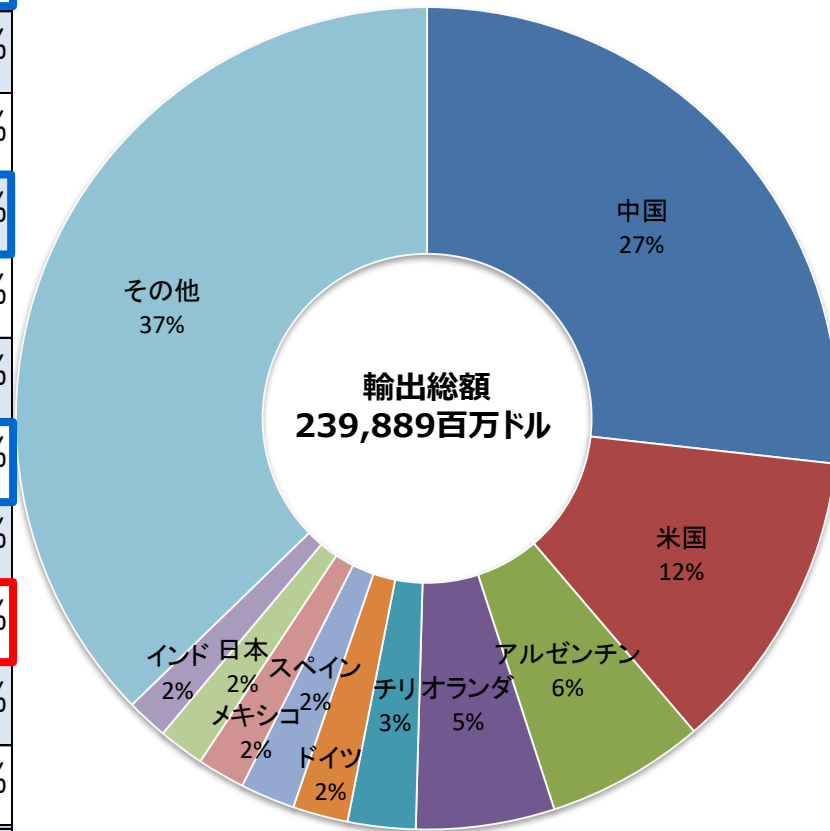
	2017年			2018年			増減率	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率
一次産品	101,063	46.4%	578,814	119,306	49.7%	604,666	18.1%	4.5%
大豆	25,718	11.8%	68,155	33,191	13.8%	83,605	29.1%	22.7%
原油	16,625	7.6%	51,965	25,131	10.5%	58,411	51.2%	12.4%
鉄鉱石	19,199	8.8%	383,537	20,216	8.4%	389,807	5.3%	1.6%
大豆かす	4,973	2.3%	14,177	6,697	2.8%	16,862	34.7%	18.9%
半製品	31,434	14.4%	55,449	30,565	12.7%	50,972	-2.8%	-8.1%
化学木材パルプ	6,345	2.9%	13,842	8,349	3.5%	15,314	31.6%	10.6%
粗糖	9,042	4.2%	23,331	5,390	2.2%	18,205	-40.4%	-22.0%
鉄鋼半製品	4,175	1.9%	9,758	5,045	2.1%	9,195	20.8%	-5.8%
合金	2,465	1.1%	509	2,977	1.2%	496	20.8%	-2.6%
工業製品	80,253	36.9%	52,141	86,548	36.1%	48,987	7.8%	-6.0%
乗用車	6,670	3.1%	* 724	5,141	2.1%	* 500	-22.9%	-30.9%
航空機	3,517	1.6%	3	3,471	1.4%	3	-1.3%	5.1%
燃料油	1,422	0.7%	4,455	3,093	1.3%	6,409	117.5%	43.9%
その他	4,988	2.3%	5,511	3,470	1.4%	3,469	-30.4%	-37.0%
輸出総額	217,739	100%	691,915	239,889	100%	708,094	10.2%	2.3%

2. 輸出 ～主要国/地域別～

(単位: Mil. USD)

順位	国名	2017年		2018年		金額 増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
1	中国	47,488	21.8%	64,206	26.8%	35.2%
2	米国	26,873	12.3%	28,774	12.0%	7.1%
3	アルゼンチン	17,619	8.1%	14,951	6.2%	-15.1%
4	オランダ	9,252	4.2%	13,068	5.4%	41.2%
5	チリ	5,031	2.3%	6,389	2.7%	27.0%
6	ドイツ	4,911	2.3%	5,215	2.2%	6.2%
7	スペイン	3,814	1.8%	5,147	2.1%	35.0%
8	メキシコ	4,514	2.1%	4,505	1.9%	-0.2%
9	日本	5,263	2.4%	4,334	1.8%	-17.6%
10	インド	4,657	2.1%	3,910	1.6%	-16.0%
	その他	88,316	40.6%	89,390	37.3%	1.2%
	輸出総額	217,739	100.0%	239,889	100.0%	10.2%

構成比率(2018年)



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

3. 輸入 ～主要商品別～

金額: 単位 Mil. USD

数量: 単位千トン

	2017年			2018年			増減率	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率
一次産品	16,126	10.7%	57,848	18,875	10.4%	60,564	17.0%	4.7%
原油	2,967	2.0%	7,411	5,043	2.8%	9,246	70.0%	24.8%
天然ガス	1,230	0.8%	6,389	1,536	0.8%	6,303	24.8%	-1.3%
小麦	1,149	0.8%	6,022	1,502	0.8%	6,817	30.7%	13.2%
魚（生・冷蔵・冷凍）	1,081	0.7%	335	1,032	0.6%	295	-4.5%	-12.0%
半製品	6,636	4.4%	11,581	8,234	4.5%	12,582	24.1%	8.6%
銅板	1,144	0.8%	185	1,323	0.7%	199	15.7%	7.9%
アルミニウム	462	0.3%	223	646	0.4%	274	40.0%	22.9%
合成ゴム	556	0.4%	257	552	0.3%	257	-0.7%	-0.1%
合金	161	0.1%	81	249	0.1%	89	54.6%	9.5%
工業製品	127,988	84.9%	78,520	154,122	85.0%	78,261	20.4%	-0.3%
送受信機	7,269	4.8%	146	6,998	3.9%	152	-3.7%	4.3%
医薬品	6,116	4.1%	34	6,750	3.7%	39	10.4%	16.4%
燃料油	5,648	3.7%	11,114	6,424	3.5%	10,249	13.8%	-7.8%
自動車・トラクター部品	5,450	3.6%	627	5,873	3.2%	659	7.8%	5.0%
輸入総額	150,749	100%	147,949	181,231	100%	151,408	20.2%	2.3%

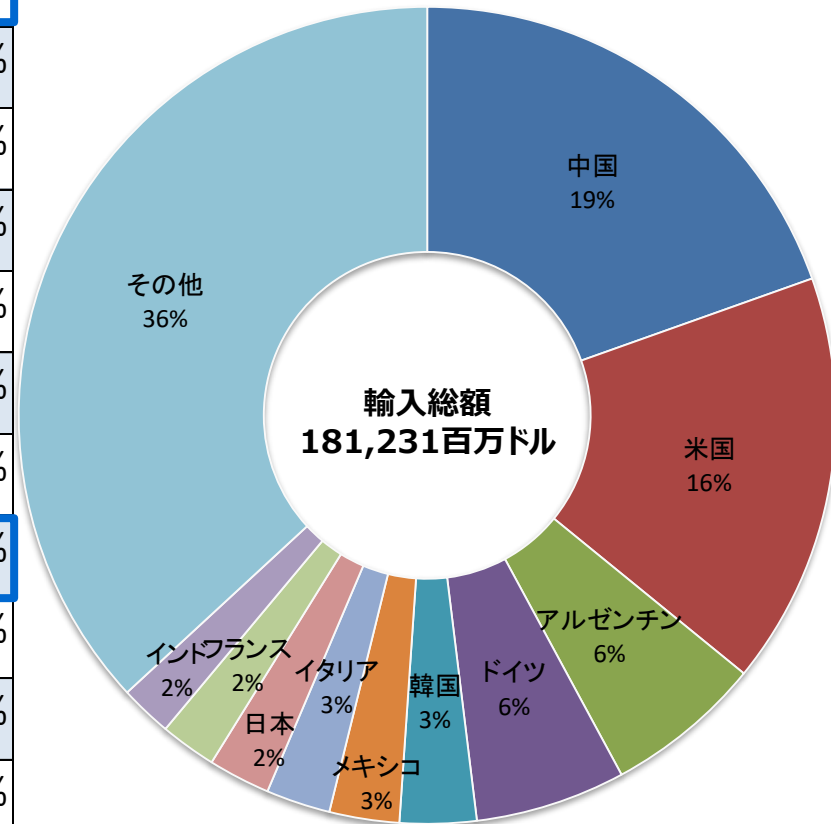
<出所> 開発商工省貿易局(SECEx)

3. 輸入 ～主要国/地域別～

(単位: Mil. USD)

順位	国名	2017年		2018年		金額 増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
1	中国	27,321	18.1%	34,730	19.2%	27.1%
2	米国	24,847	16.5%	28,968	16.0%	16.6%
3	アルゼンチン	9,435	6.3%	11,051	6.1%	17.1%
4	ドイツ	9,227	6.1%	10,557	5.8%	14.4%
5	韓国	5,240	3.5%	5,381	3.0%	2.7%
6	メキシコ	4,238	2.8%	4,909	2.7%	15.8%
7	イタリア	3,958	2.6%	4,513	2.5%	14.0%
8	日本	3,763	2.5%	4,356	2.4%	15.8%
9	フランス	3,723	2.5%	3,942	2.2%	5.9%
10	インド	2,946	2.0%	3,663	2.0%	24.3%
	その他	58,863	39.0%	65,439	36.1%	11.2%
	輸入総額	150,749	100%	181,231	100%	20.2%

構成比率 (2018年)



<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)

4. 対日貿易

輸出

(単位: Mil. USD)

商品名	2017年	2018年		伸び率
		金額	構成比	
鉄鉱石	1,400	1,166	26.9%	-16.7%
鶏肉	907	709	16.4%	-21.8%
コーヒー豆	323	323	7.4%	-0.2%
合金	302	281	6.5%	-7.2%
大豆	175	219	5.1%	25.0%
アルミニウム	287	175	4.0%	-39.1%
木材パルプ	129	167	3.9%	29.1%
航空機	190	155	3.6%	-18.5%
オレンジジュース	78	118	2.7%	50.1%
大豆かす	88	111	2.6%	26.5%
その他	1,383	910	21.0%	-34.2%
合計	5,263	4,334	100.0%	-17.6%

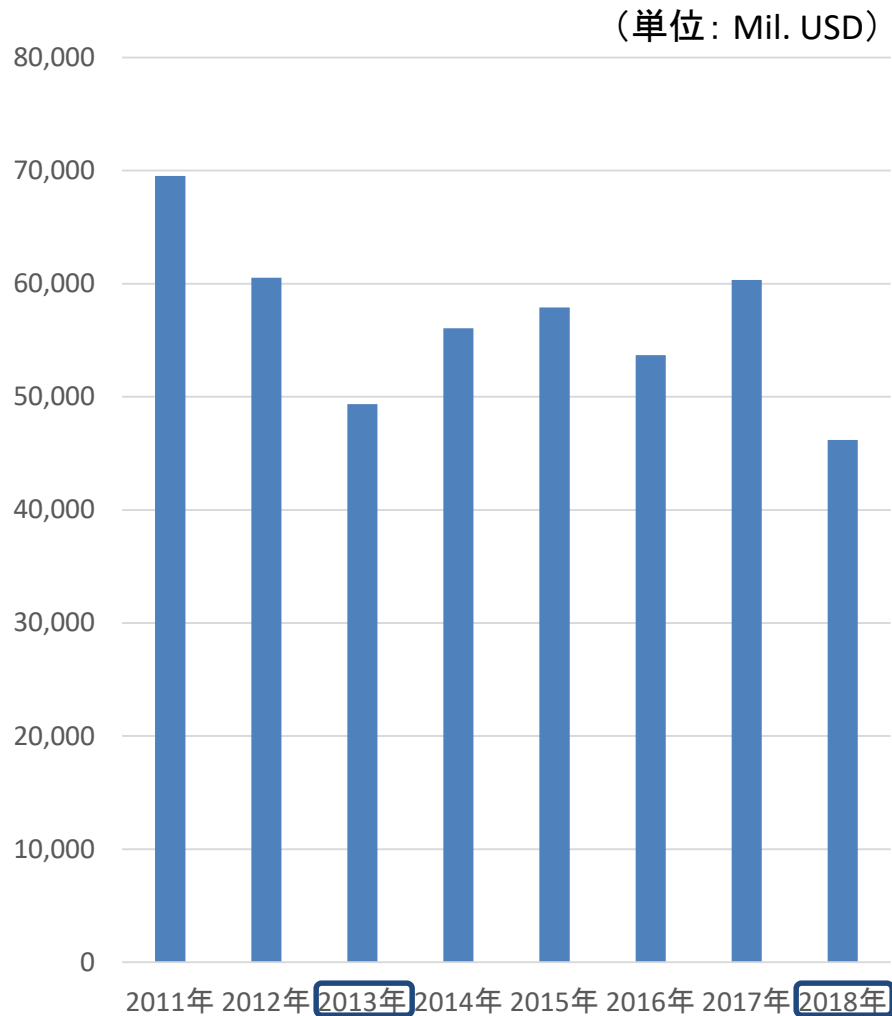
輸入

(単位: Mil. USD)

商品名	2017年	2018年		伸び率
		金額	構成比	
その他工業製品	626	715	16.4%	14.3%
自動車・トラクター部品	536	663	15.2%	23.8%
乗用車	176	245	5.6%	39.3%
測定機器等	165	206	4.7%	24.4%
ベアリング・歯車及びそれら部品	155	154	3.5%	-0.8%
化学品原料 (複素環式化合物)	112	153	3.5%	36.0%
自動車エンジン部品	139	149	3.4%	7.4%
半導体	110	107	2.5%	-2.1%
掘削・探鉱プラットフォーム、浚渫船	0	102	2.4%	0.0%
金属用マシニングセンタ・工作機械など	21	96	2.2%	360.1%
その他	778	831	19.1%	6.9%
合計	3,763	4,356	100%	15.8%

5. 対内直接投資 ～推移・国別～

対内直接投資推移



<出所>ブラジル中央銀行

国別対内直接投資

順位	国	2017年	2018年		伸び率
		金額	金額	構成比	
1	オランダ	10,894	9,230	20.0%	-15.3%
2	米国	11,078	7,419	16.1%	-33.0%
3	ドイツ	3,221	3,793	8.2%	17.8%
4	スペイン	2,309	3,389	7.3%	46.7%
5	バハマ	1,122	2,624	5.7%	133.9%
6	ルクセンブルク	4,305	2,421	5.2%	-43.8%
7	ケイマン諸島	469	1,767	3.8%	276.8%
8	ヴァージン諸島	9,069	1,415	3.1%	-84.4%
9	カナダ	303	1,310	2.8%	332.0%
10	フランス	3,168	1,294	2.8%	-59.2%
12	日本	537	1,123	2.4%	109.0%
	その他	14,407	11,520	24.9%	-20.0%
	合計	60,345	46,182	100%	-23.5%

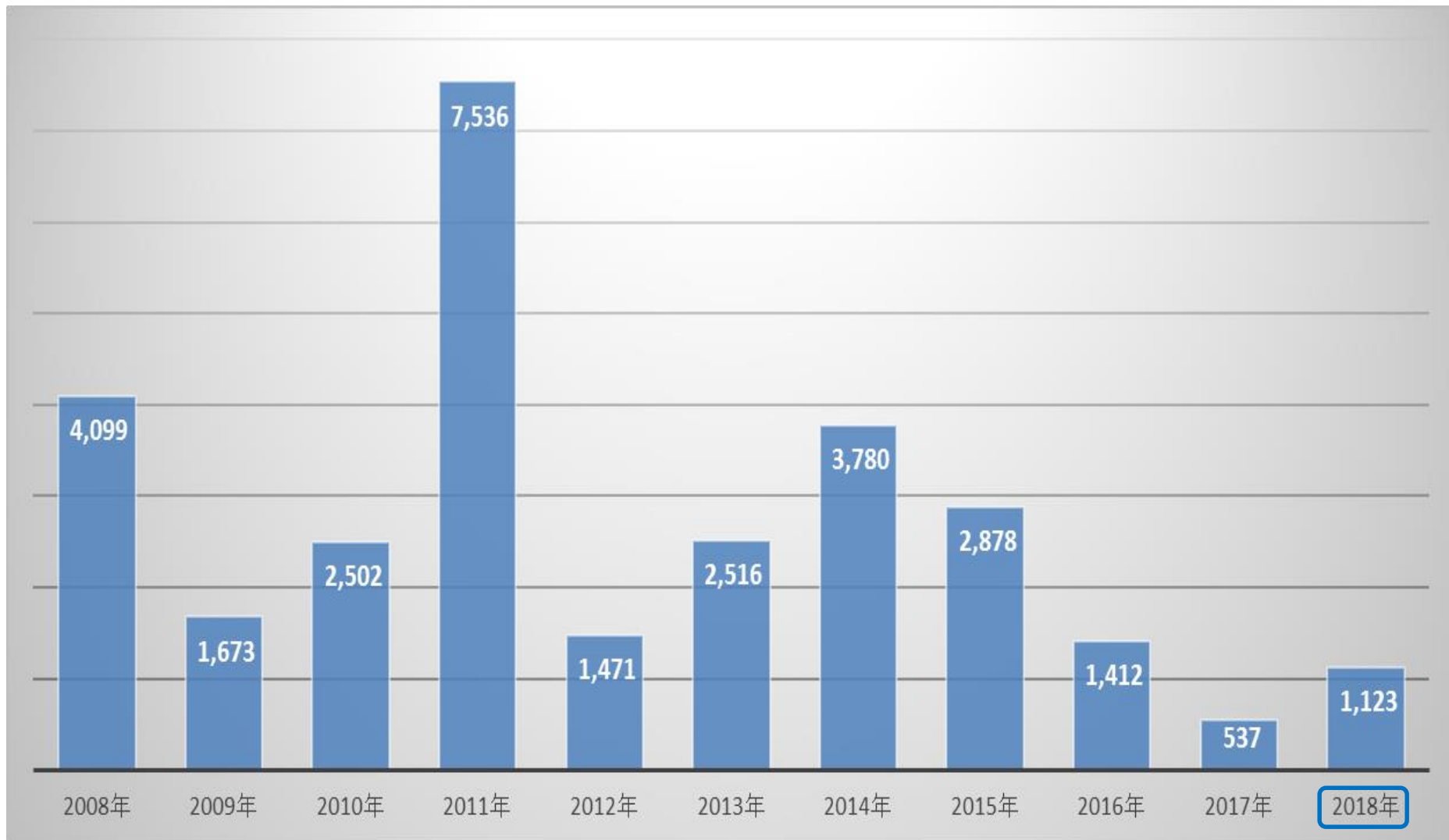
5. 対内直接投資～主要業種別～

(単位: Mil. USD)

	2017年		2018年		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
一次産品（農業・畜産・鉱業）	5,862	9.7%	8,499	18.4%	45.0%
石油・天然ガス採掘	3,738	6.2%	5,251	11.4%	40.5%
鉱物採掘補助業	288	0.5%	1,513	3.3%	425.0%
金属鉱物採掘業	961	1.6%	1,204	2.6%	25.3%
その他	875	1.4%	531	1.1%	-39.3%
工業	18,634	30.9%	16,718	36.2%	-10.3%
自動車・トレーラー・車体	3,952	6.5%	4,523	9.8%	14.5%
化学製品	3,141	5.2%	2,370	5.1%	-24.5%
パルプ、紙、紙製品	593	1.0%	1,997	4.3%	236.7%
食品	2,620	4.3%	1,618	3.5%	-38.2%
その他	8,329	13.8%	6,209	13.4%	-25.4%
サービス業	35,657	59.1%	20,808	45.1%	-41.6%
金融・同補助サービス	1,606	2.7%	3,490	7.6%	117.3%
商業（自動車除く）	5,503	9.1%	3,130	6.8%	-43.1%
電気・ガス	12,588	20.9%	2,484	5.4%	-80.3%
ITサービス	707	1.2%	1,906	4.1%	169.5%
倉庫、運送補助	2,472	4.1%	1,622	3.5%	-34.4%
その他	12,781	21.2%	8,176	17.7%	-36.0%
合計	60,345	100.0%	46,182	100.0%	-23.5%

5. 対内直接投資 ～日本・推移～

(単位：Mil. USD)



<出所> ブラジル中央銀行

6. 2018年の回顧

- 18年のGDP成長率は1.1% (確定値待ち)
- 為替は年初のR\$ 3.20/US\$台から、ブラジル大統領選挙戦、米国の金利政策動向、米中関係の緊張などで9月中旬のR\$ 4.19/US\$まで大きくレアル安に振れた後に反転し、12月末 R\$ 3.90/US\$ で終了

7. 2019年の展望

- 新政権のもと財政改革(特に年金改革)、経済活動の自由化拡大や国営企業の民営化推進に期待すると共に、日本企業としても対応を考え成長の機会をとらえていく
- 足元は不透明感が取り巻く環境ではあるが、2.5%程度の緩やかなGDP成長率を期待
- 為替レートはR\$ 3.50~4.00/US\$ のレンジを中心に推移すると予想
- 不透明感の高まり
米欧中の景況感悪化傾向、米中貿易戦争、米国の内政、ブレクジット等

8. 『成長への期待、変化への対応』各社意見まとめ

成長への期待要素と、不確実要素

[国内] ボルソナロ政権の運営、政策内容、改革実現への期待

- 年金改革実現
- 景気回復、金融コスト・リスクの低減
- 税制及び各種制度の改革
- 国営企業の民営化、インフラ投資促進

[国外]

南米域内(メルコスール)保護主義の軟化、日本や諸外国とFPA・FTA締結
米中貿易摩擦の影響(中国-ブラジル間の貿易拡大／中国経済の不透明さ)
ベネズエラ情勢

企業における変化への対応

- 人材確保(変化に対応し、成長を担える人材)
- コンプライアンス遵守、様々なリスクの管理
- 税制、各種制度変更への対応

機械金属 部会

植田 真五 部会長

Departamento de Metalmeccânica

Presidente: Shingo Ueda

「2018年の回顧と2019年の展望」

～ 成長への期待、変化への対応 ～

機械金属部会

植田 真五

2019年2月28日

目次

1. マクロ指標関連

2. セグメント別状況

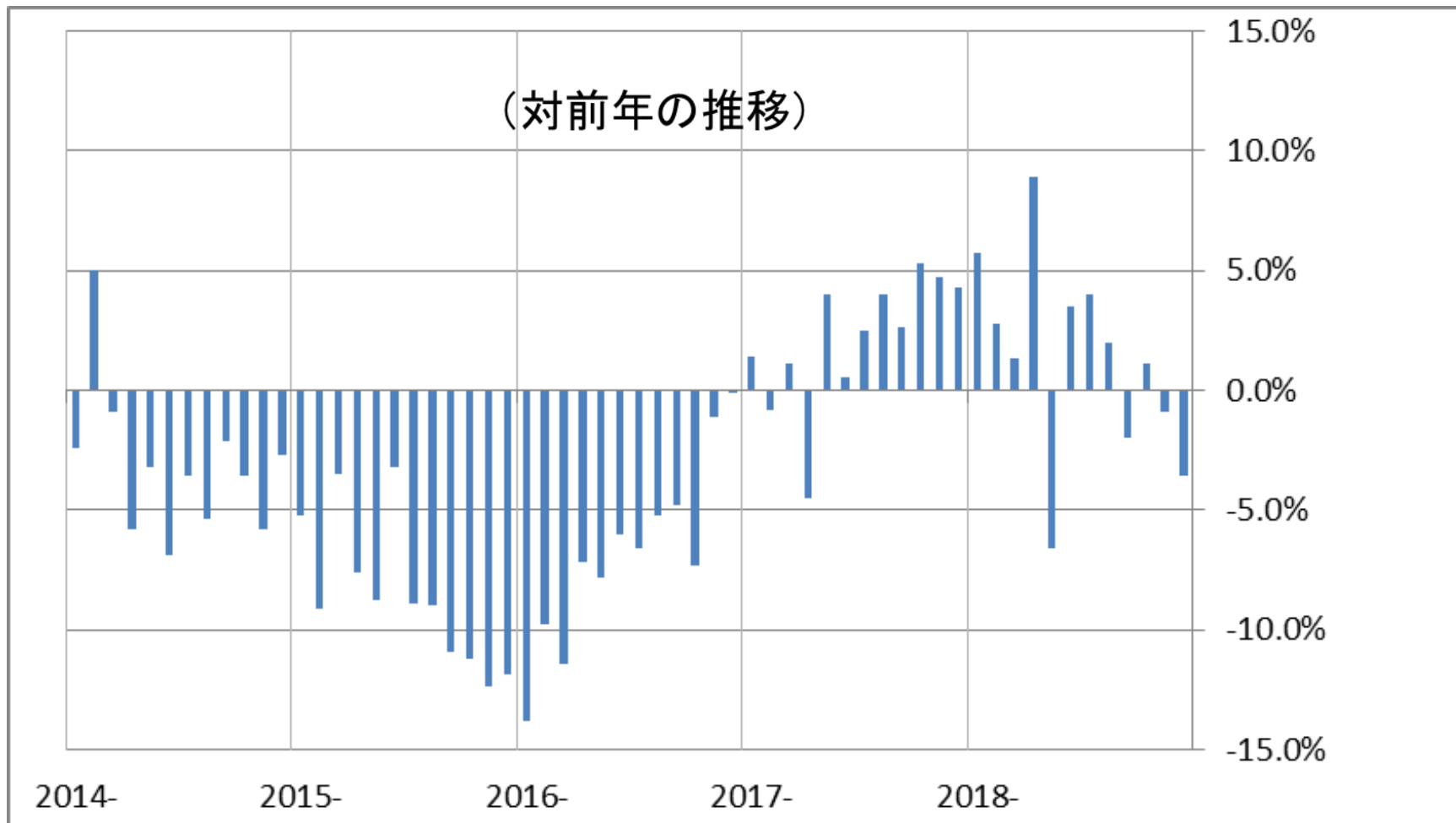
- (1) 鉄鋼
- (2) 電力
- (3) 建設機械
- (4) 自動車その他の産業関連
- (5) オイル&ガス、紙パルプ

3. 副題 成長への期待、変化への対応

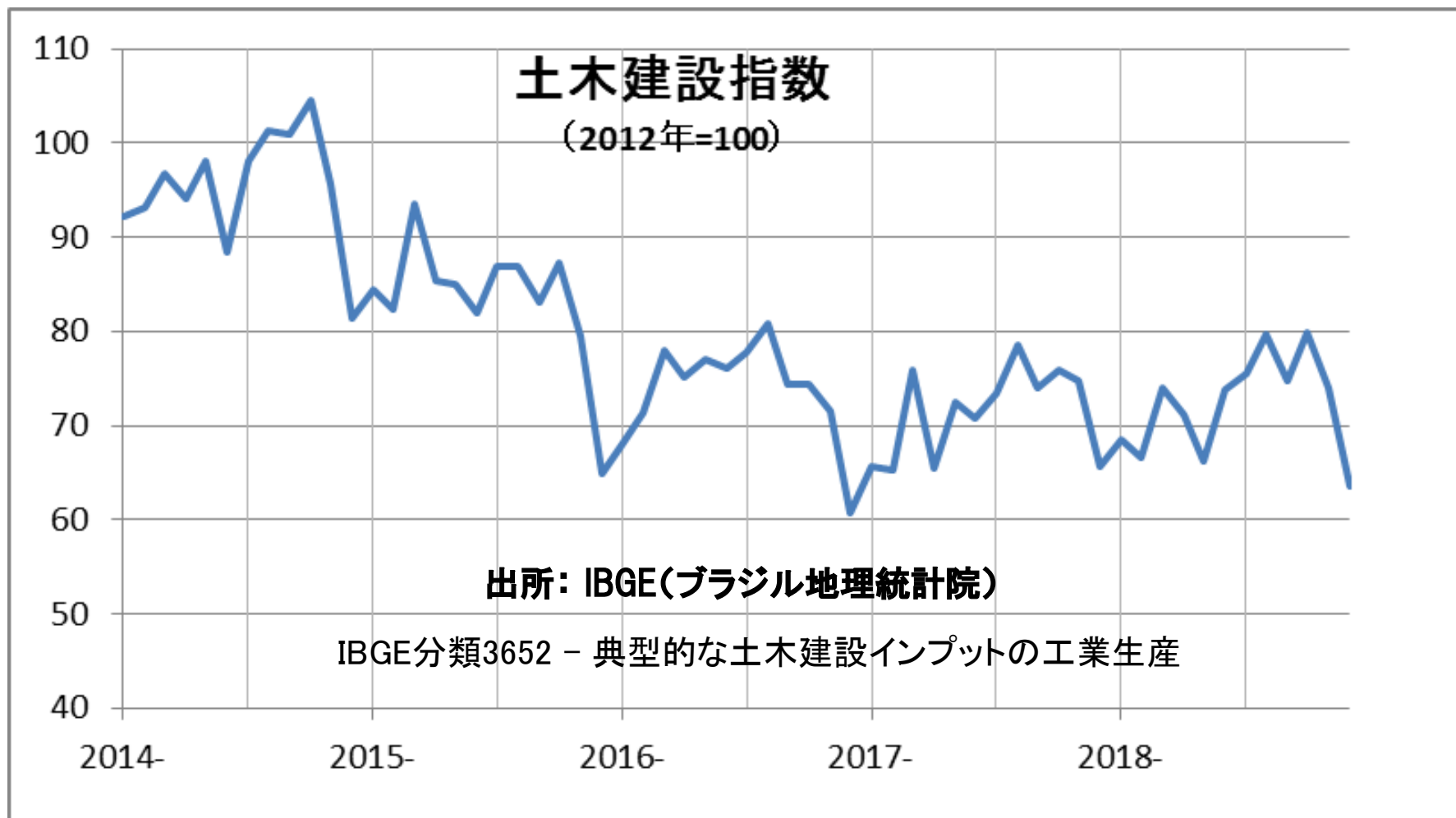
1. マクロ指標(1)

ブラジル鉱工業生産

出所: IBGE(ブラジル地理統計院)

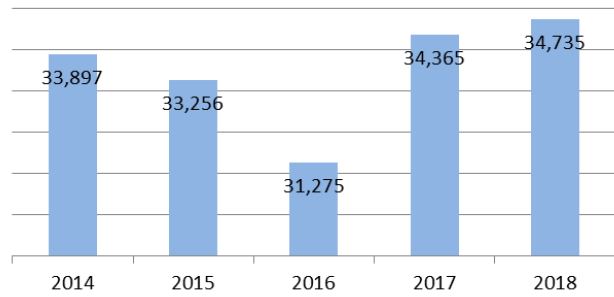


1. マクロ指標 (2)



2. セグメント別状況(1) 鉄鋼

粗鋼生産量推移(千トン)



2018年実績

数量: 千トン、前年同期比、ブラジル鉄鋼協会(IABr)

	生産		国内販売		輸出		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
粗鋼*	34,735	1.1%	18,281	8.2%	14,092	▲ 4.0%	
圧延鋼板	14,210	3.8%	11,030	10.9%	2,648	▲ 19.1%	
形鋼	8,936	2.4%	6,968	5.2%	1,871	▲ 2.1%	
スラブ	8,911	3.4%	127	▲ 11.2%	9,573	0.8%	
他	972	▲ 20.2%	156	▲ 15.7%			
					輸入	2,407	3.3%

*国内販売・輸出欄は合計

(注)輸出は国内ミルのみの統計

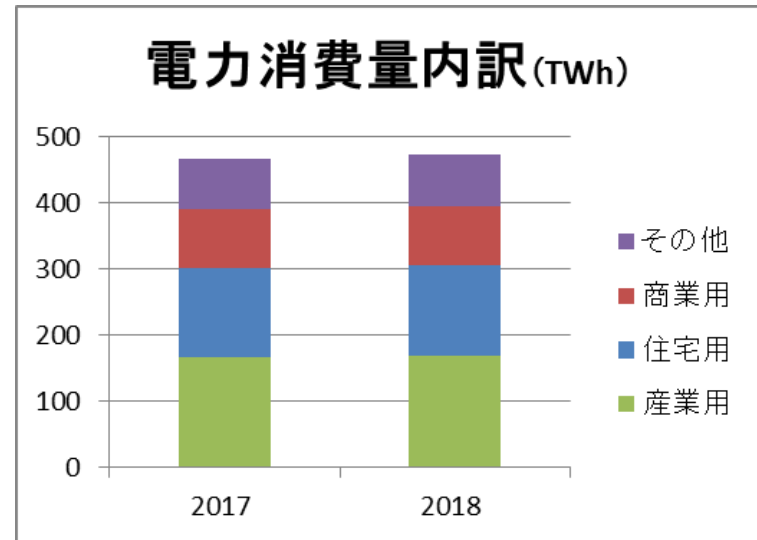
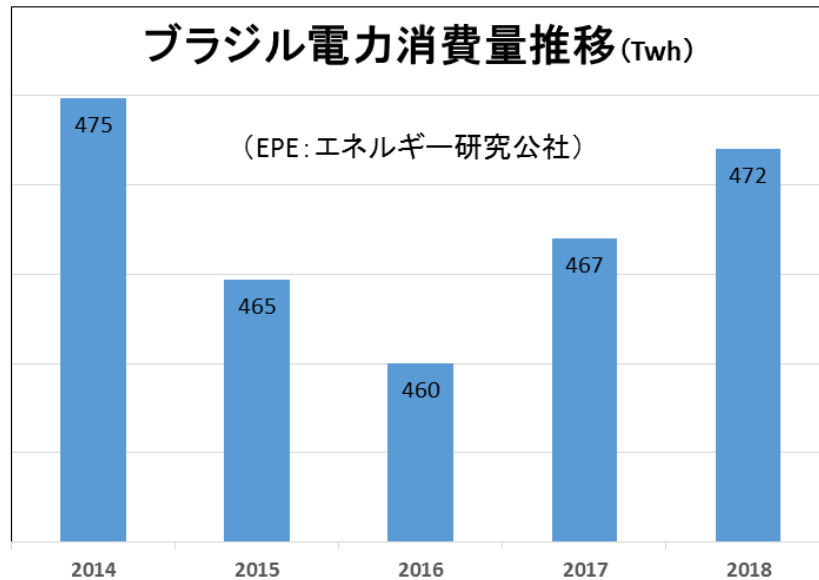
《2018年の回顧》

1. 生産 2017年に引き続き対前年比で増加するも、5月のトラック運転手ストの影響により、対前年比1.1%の微増に留まった。
2. 国内販売 自動車業界の回復等により、対前年比8.2%増加した。
3. 輸出 対前年比で4%の減少。
4. 輸入 国内景気回復により3.3%の増加。

《2019年の展望》

1. 景気回復のスピードは依然、緩やかなものとなり見通しである一方、自動車、機械・装置、建設部門向けの鋼材需要が回復に転じると予想される。
2. 一方、米国やEUの保護貿易措置に伴う影響が危惧される。

2. セグメント別状況(2) 電力



《2018年の回顧》

1. ブラジル電力消費は、2017年に前年を上回ったが、2018年においても対2017年比で1.1%増加し、過去最高の2013-2014年レベルに回復しつつある。
2. 電力オークションの結果、風力・太陽光が大半を占め、売電価格を大きく下げて増加している。

《2019年の展望》

1. エレトロブラスの民営化等に対する新政権の具体的取組はこれからであり、引き続き、状況を注視する必要がある。
2. 当部会関連企業が関係するバイオマス関連の新規案件の動きは、引き続き低調と見込まれる。

2. セグメント別状況(3) 建設機械



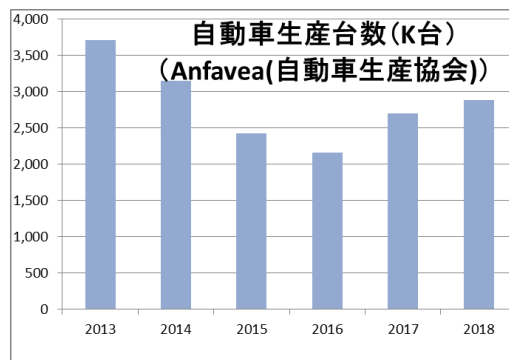
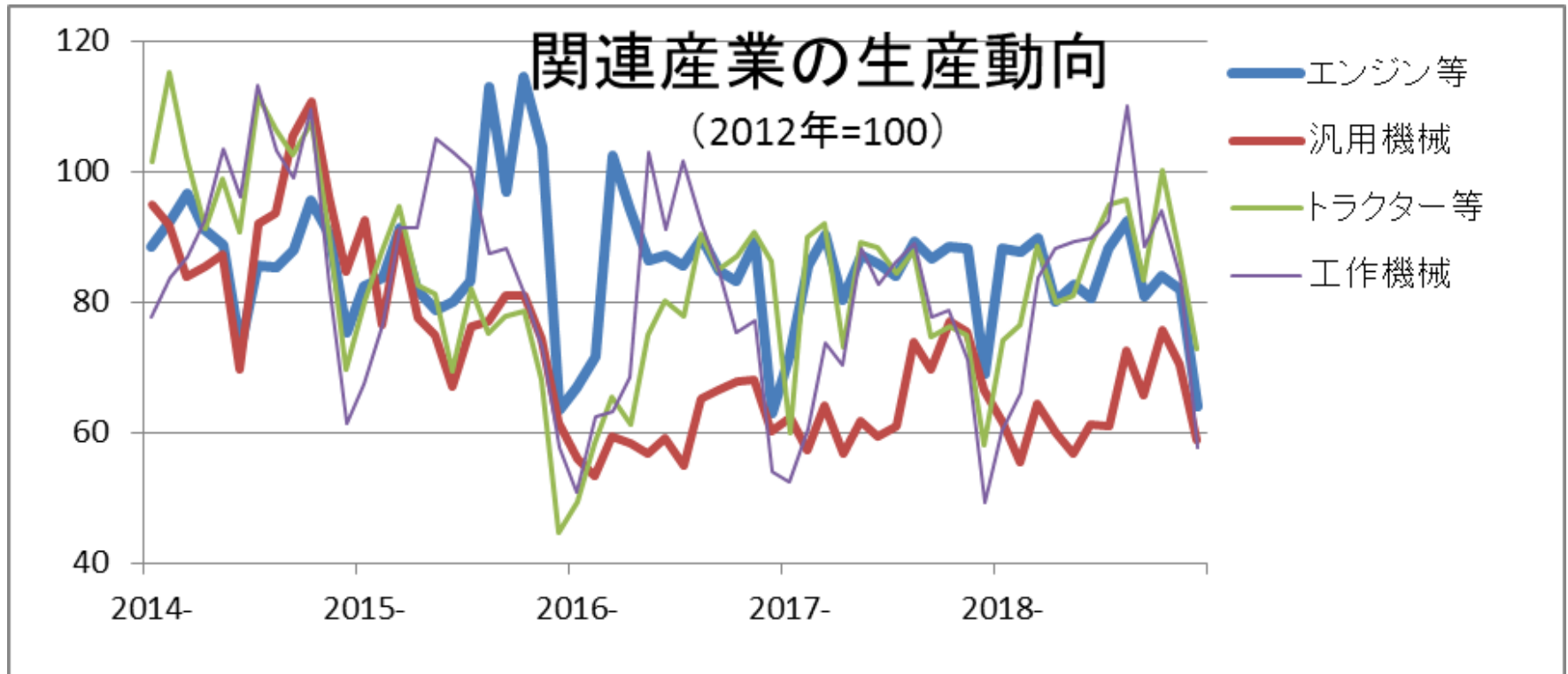
《2018年の回顧》

1. 建設機械の国内販売は、次の要因で前年比+47%と当初予想を大幅に上回った。
 - ① レンタルや農業向けが好調、② 選挙中から年末まで官公需が好調
 - ③ 建設需要が底を打った
2. 輸出についても、米国向けなどがアルゼンチン向けの減少を補い、前年比9%増加。

《2019年の展望》

1. 国内需要 レンタル関係は好調を維持する一方、官公需は落込みのリスクあり。
2. 輸出 米国経済の先行き懸念、米中貿易摩擦の悪影響の可能性から予断を許さない。

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連①



- 28.1 エンジン、ポンプ、コンプレッサー、トランスミッション 機器の製造
- 28.2 他の汎用機械装置の製造
- 28.3 農業および家畜用トラクターおよび機械装置の製造
- 28.4 工作機械の製造 以上いずれもIBGE分類

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連②

《切削工具》

主力ユーザーである自動車産業は、長いトンネルから抜け出し、回復傾向が鮮明化。農業、金型分野、航空機、医療分野も堅調に推移。以上の状況の中、切削工具の需要は2018年に引き続き、2019年も回復傾向が続く見通し。

《ベアリング》

自動車生産の状況と連動し、需要は回復傾向。ただし、アルゼンチン向けをはじめとした輸出に陰りが見え始める等、今後の不安要素あり。

《金属加工油剤、潤滑油》

市場環境は、ベアリングとほぼ同様の状況。油剤については、レアル安・原油高に伴う輸入原料の急上昇が課題。

《小型ディーゼルエンジン》

2018年は、トラック運転手ストの影響で一か月弱分の販売を逃した形となった。2019年については、輸送車両用の冷凍ユニット向け、農作業機メーカー向けの日本製多気筒エンジンを中心に、回復傾向が続く見込み。

2. セグメント別状況(4) 自動車その他の産業関連③

《トラクター》

2018年は前年同期+105%で、2年連続の増加。

2019年は、昨年並みか若干上回る見通しであるが、最大の輸出先である中国の経済動向等を注視する必要がある。

《ポンプ》

2018年は農業・一般産業向けが好調であり、対前年で増加の見込み。

2019年についても、新規設備投資や省エネ目的による設備更新により、回復基調を期待。

《プラント向け制御機器等》

2018年は、GDPプラス成長を背景に、ここ数年低調であった石油・石油化学・紙パルプ鉄鋼等の業種で、現状設備の更新需要が増加した。

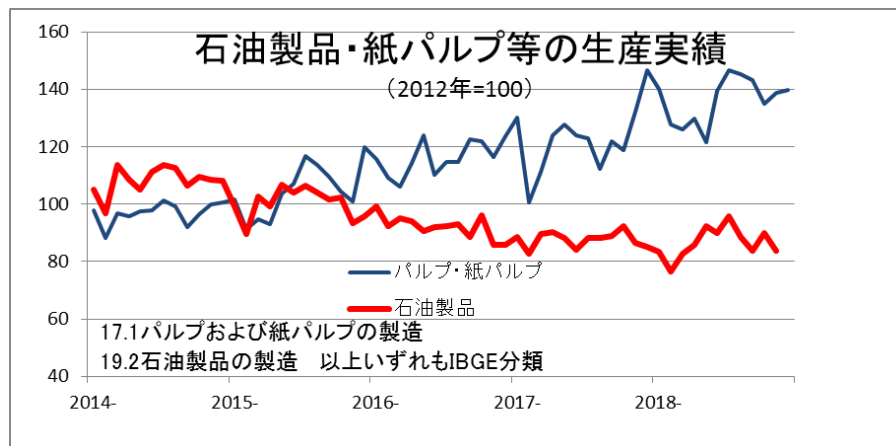
また、石油・ガスの上流工程、紙パルプ業種においても新規投資需要が増加。

2019年についても、回復傾向が続く見込みであるが、特に製鉄業界においては、会社によって対応が大きく異なっている。

《移動式クレーン、レーザー切断機》

依然として厳しい状況が続いており、2019年は種まきの時期との認識。

2. セグメント別状況(5) オイル&ガス・紙パルプ



《オイル・ガスマーケット》

2018年は、ペトロbras社がコア事業の石油・天然ガス開発、生産に資本を集中する中、GDPプラス成長、年始からの原油価格上昇を追い風に、FPSO新規建設への期待感が高まった。

一方、内需に関わる下流の石油化学は、投資縮小傾向。

2019年は、昨年末に発表されたペトロbras社の5カ年計画で、年3隻のFPSO建設が含まれる等、期待感はある。ただし、2018年末からの原油安の影響等もあり、予断は許さない状況。

《紙パルプ》

2018年は、トラック運転手ストの一時的影響はあったが、パルプ需要拡大で生産・輸出ともに対前年で増加。

また、業界再編の動きもあったが、後半年からインフラ投資が動き出している。2019年については、紙パルプ大手が中規模プラントの計画を発表している。

1. 期待要素とポテンシャル

- ・より鮮明な経済の回復、民間主導・貿易拡大政策
- ・ブラジルの一人当り鋼材消費量は依然低位、ペトロブラスの設備投資計画増加等

2. 不安要素

- ・各種変革や規制緩和には、時間がかかる。
- ・新政権の実力は、まだ未知数。
- ・インフラ・建設市場の本格回復は、2020年以降か。
- ・アルゼンチン等、ブラジル国外の景気動向、米国等の保護貿易。

3. 変化への対応

- ・今年には政府の力量含め、その成り行きを見極める年。
- ・不安要素に伴う、ネガティブサプライズに備えた取組を継続。
- ・景気変動に関わらず、持続的に成長、利益を出し続ける強固な企業体質を構築(積極的な人材投資、生産性向上と教育によるモノ造り強化等)

ご清聴ありがとうございました。

Obrigado!

自動車 部会

下村 セルソ 部会長

Departamento Automotivo

Presidente: Celso Simomura

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート

2019年2月28日

< 2018年の回顧と2019年の展望 >

成長への期待、変化への対応

➤ 四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

➤ 二輪業界動向

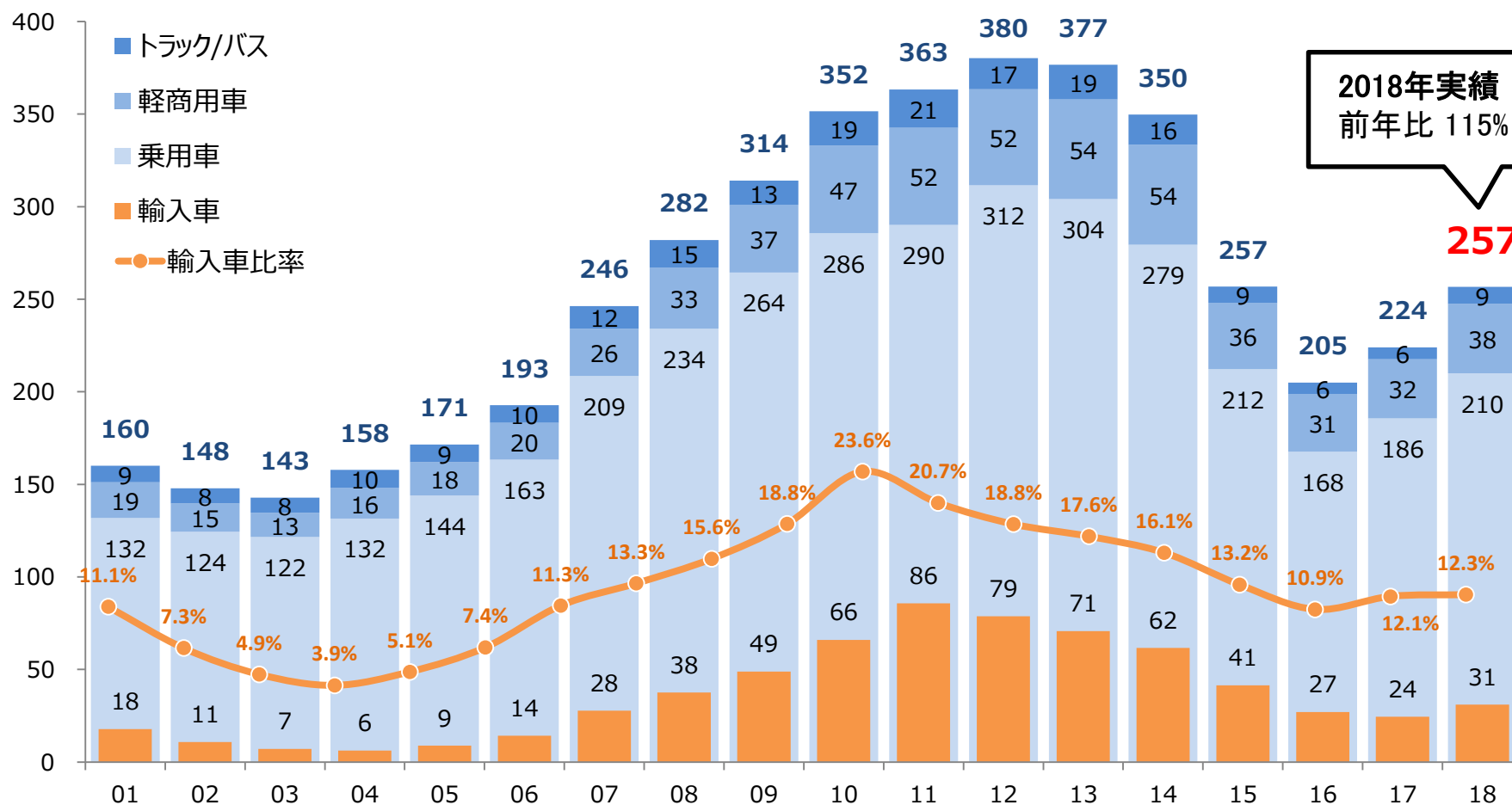
四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

1. 2018年 振り返り – 販売台数 推移

(万台)

出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



2018年実績
前年比 115%

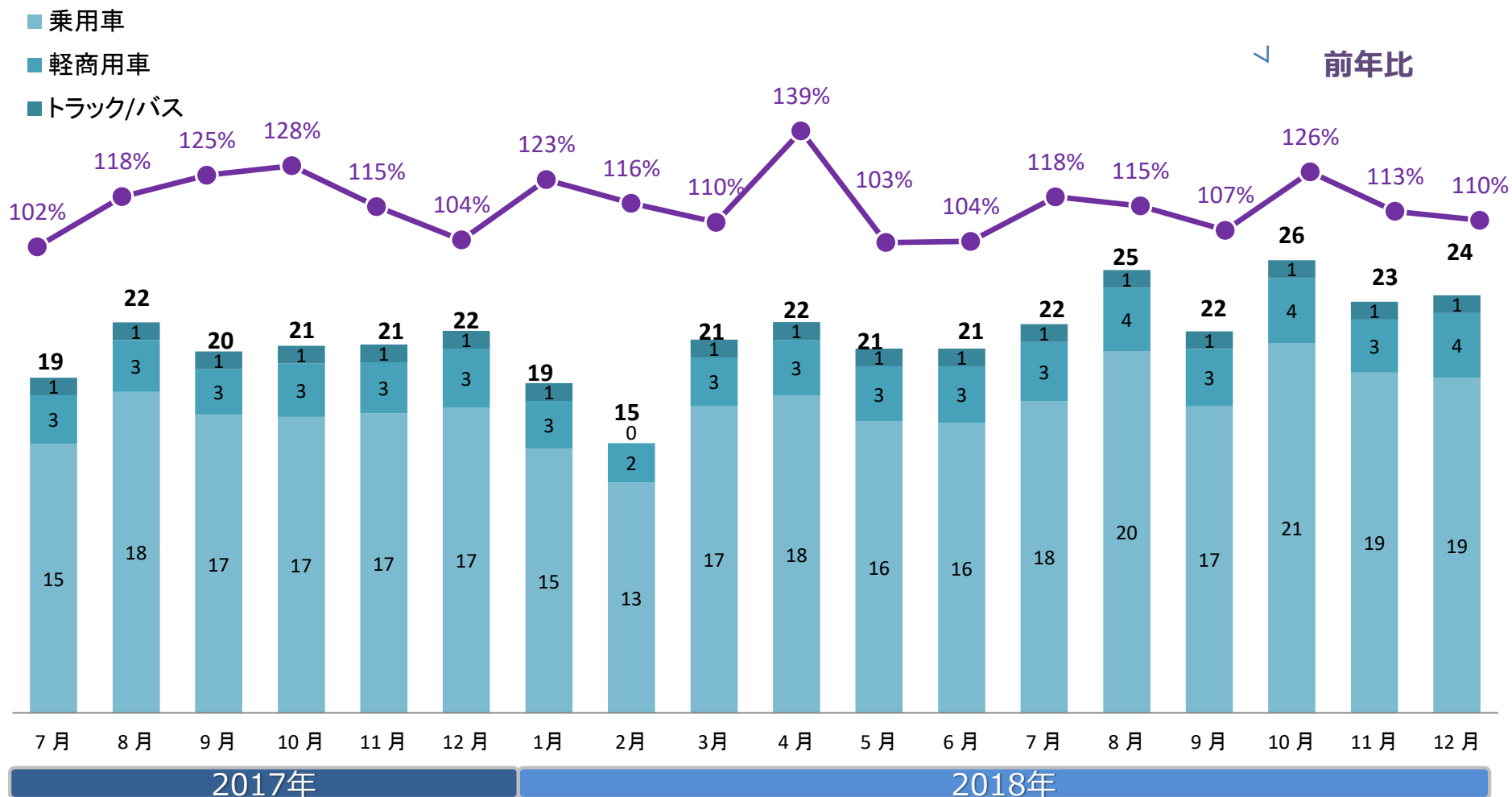
257

- **18年の四輪総市場は257万台（前年同期比115%）と、2年連続で前年越え**
- 輸入車比率は12.3%と市場の伸びと輸入車制限の解除により、上昇傾向

1. 2018年 振り返り – 月別販売台数 推移

(万台)

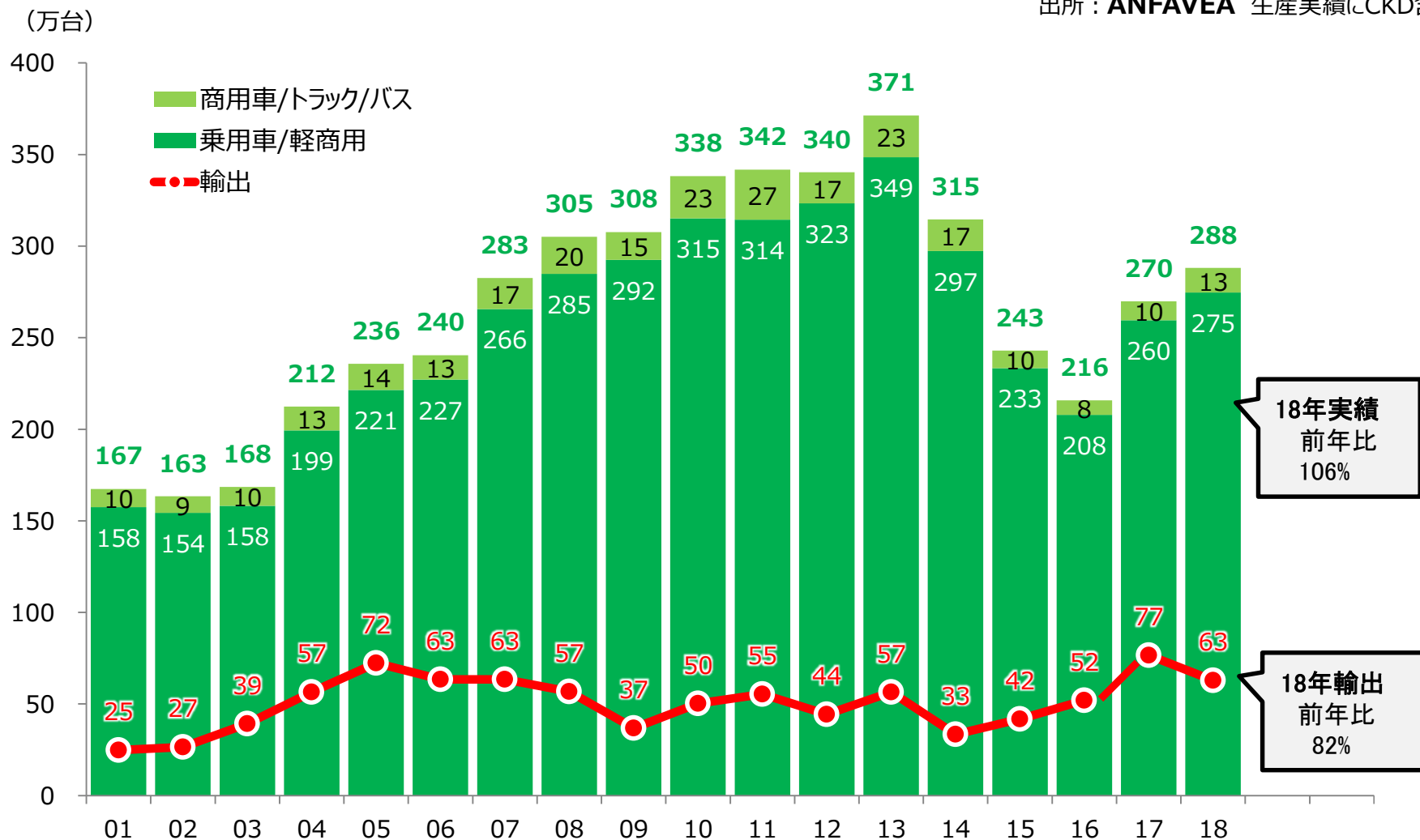
出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 昨年前半はトラックストの影響を受けつつも、前年同期比114%増で好調
- 後半は大統領選挙等、市場への懸念要素もあったが、前年同期比115%増

1. 2018年 振り返り – 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず



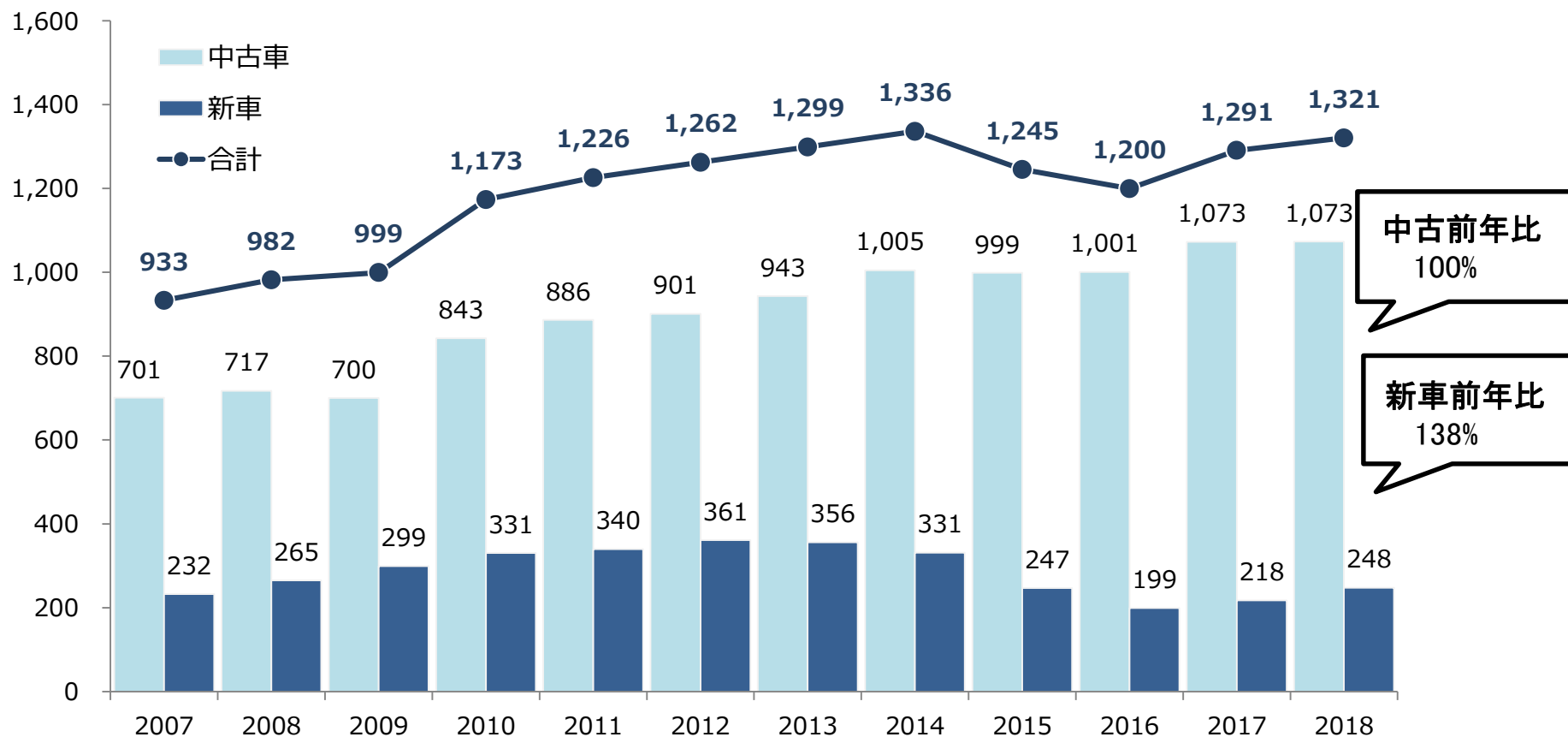
- 18年の総生産台数は288万台(前年比:106%)
- 輸出は主要輸出国アルゼンチンの市場縮小を受け、前年比82%

1. 2018年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA

※乗用車/軽商用車のみ











(万台)












➤ 中古車市場、新車市場ともに前年超え。トータルで1,300万台超え。

1. 2018年 振り返り – ブランド別シェア










単位：千台、トラック・バス除

'11	台数	シェア
1 	759	20.9%
2 	754	20.8%
3 	632	17.4%
4 	344	9.5%
5 	194	5.3%
6 	115	3.2%
7 	99	2.7%
8 	93	2.6%
9 	90	2.5%
10 	86	2.4%



'17	台数	シェア
1 	394	17.6%
2 	291	13.0%
3 	287	12.8%
4 	215	9.6%
5 	202	9.0%
6 	191	8.5%
7 	167	7.5%
8 	131	5.9%
9 Jeep	88	3.9%
10 	78	3.5%



'18	台数	シェア
1 	434	16.9%
2 	392	15.3%
3 	326	12.7%
4 	236	9.2%
5 	215	8.4%
6 	207	8.1%
7 	201	7.8%
8 	132	5.1%
9 Jeep	107	4.1%
10 	98	3.8%

- VWが新型Poloが好調で2%以上シェア伸長。市場平均を上回る前年比29%の成長。
- 日系ブランドは販売台数を伸ばしながらも、生産制約等によりシェア減。

四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

2. 2019年展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2019年予測

単位：万台

	2018年 最終結果	2019年 年初予測	
		ANFAVEA (1月発表)	自動車部会
国内市場 トラック・バス 含む総合計	257 前年比：15%	286 前年比：+12%	275 前年比：+7%
国内市場 トラック・バス 除く合計	246 前年比：+14%	276 前年比：+11%	265 前年比：+7%
輸出台数	63 前年比：-18%	59 前年比：-6%	59 前年比：-6%
生産台数	288 前年比：+7%	314 前年比：+9%	314 前年比：+9%

- 自動車部会はANFAVEA同様、国内市場を前年超え
- アルゼンチンへの市場縮小を背景に、生産・輸出台数は2年連続で前年割

四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

3. 長期展望

<重要テーマ>

■ 自動車政策 Rota 2030

■ 排ガス規制 Proconve

■ モビリティサービス

■ EPA / FTA

■ 税体系(ICMS州税等)

本日はこちらをご説明

3. 長期展望 – Rota 2030

	Inovar Auto (2013-2017)	Rota 2030 (2018-2032)
プログラム特典	30% IPI減免	-
生産工程	義務要件	×(撤廃)
R&D投資	義務要件(選択)	選択要件
エンジニアリング投資	義務要件(選択)	*R&D投資相当額の30%を上限に、 法人税、社会負担金控除。
燃費ラベリング	義務要件(選択)	義務要件
燃費(CAFÉ)	義務要件 *基準可達によりIPIボーナス△1-2%	
セーフティラベリング	-	義務要件
安全装備	-	基準可達によりIPIボーナス△1%
サプライヤー育成	-	・1次サプライヤー向けR&Dインセンティブ ・Ex-Tariffによるサプライヤー育成

- 義務要件として、燃費・セーフティラベリング、CAFÉ(基準の強化)。
生産工程の現地化は撤廃
- 新技術導入促進のため、R&D投資、安全装備、CAFÉ基準の要件可達
状況に応じインセンティブが付与
- 新たにサプライヤー育成プログラムも追加

3. 長期展望 – Rota 2030(12月発表)

【主な追加事項】

1) 税制優遇措置の対象

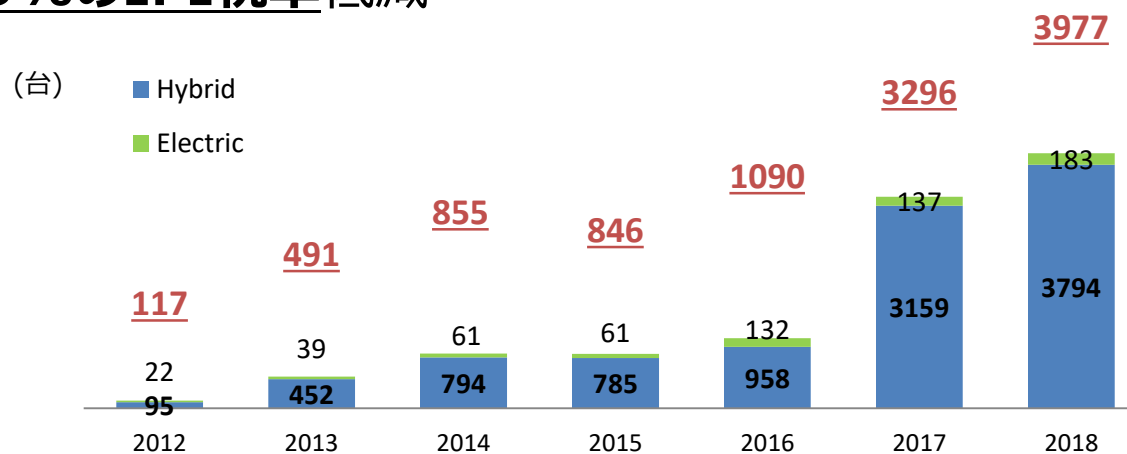
- 国内に生産拠点を持つ企業のみを対象。*輸入事業者は対象外

2) 北部・北東部地域奨励措置

- 当該地域に拠点を持つメーカー(FCA, Ford等)は、**社会負担金**の還付を受けられる優遇制度が規模は縮小する形で21年から**25年**まで延長

3) フレックスハイブリッド車に対するIPI減税

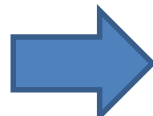
- **フレックスハイブリッド車**は、同クラス、同カテゴリのコンベンション車に比べ、**3%のIPI税率**低減



ブラジルにおける電動車販売の推移

3. 長期展望 –Procove(自動車大気汚染防止プログラム)

- 昨年11月、環境省直下のCONAMA(連邦環境審議会)にて、**2022年、2025年**以降に適用される**排出ガス規制の骨子**が採択
- 大気中へ排出されるガソリンの蒸気を車体内で回収し、燃料へ再利用する装置(**ORVR**)や、燃料漏れの自己診断装置(**OBD**)等の義務付けが定義

 規制導入のタイミングが早いため適応が難しく、販売できない車種が出る可能性有

<排ガス規制スケジュール(仮)>

	19	20	21	22	23	24	25
規制	L6			L7			L8
OBD		*20年6月決定?		全車規制(TBD)			
ORVR					販売20%	販売60%	販売100%
RDE				モニタリング(TBD)			全車規制(TBD)

*OBD: 車載式故障診断装置, ORVR: 車搭載型燃料供給時蒸気回収装置, RDE: 実走行条件下排出ガス規制

3. 長期展望 -モビリティサービス



ベンツ: Truckpad appを活用した
トラック輸送の効率化

Conected
(コネクティッド)

Autonomous
(自動運転)

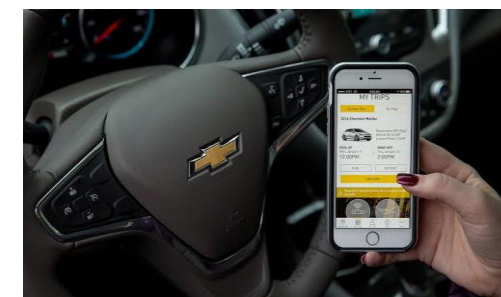


VW & Ford: 自動運転、モビリティサービス、
EV分野の連携で覚書を締結



トヨタ: シェアリングサービス(試験運用)

Shared
(シェアリング)



GM: シェアリングサービスMAVEN



Renault: 電気自動車Zoeの実証実験
於 ペロリゾンテ

Electric
(電動化)

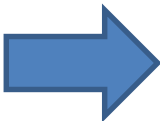


日産: バッテリーの再利用に関する
パラナ州大学との連携

3. 長期展望 – FTA/EPA

<ブラジルに関連するFTA交渉>

協定	ステータス	内容	GDP・人口
EU・メルコスール	交渉中	・2000年に交渉開始。	20.2兆ドル 8.0億人
カナダ・メルコスール	交渉中	・18年3月に交渉第1回会合実施	4.6兆ドル 3.2億人
韓国・メルコスール	研究終了	・17年12月、交渉開始を政府間合意 ・18年3月の首脳会議で、韓国側が 早期の交渉開始を約束	4.5兆ドル 3.4億人
日・メルコスール	-	・18年10月経団連より、交渉の早期 開始を官房長官に建議	7.9兆ドル 4.2億人


 日本とのEPA早期交渉を推進しつつ、EUや韓国等に劣後しない内容(自由化スケジュール・原産地規則等)を要望

四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

4. 日系ブランドの対応

【Rota 2030】

- ・公的機関との共同研究開発による自動車部品の輸入関税免除等、**税恩典**を最大限活用すべく、運用ルールが定義される細則発行を要注視

【Proconve(排ガス規制)】

- ・規制導入のタイミングを現実に即したものにすべく、ブラジル政府当局への理解活動が**必要**。

【モビリティサービス】

- ・今後、拡大するコネクティッド、シェアリング、電動化等の領域に、業界を越えた積極的な取り組みを展開していく必要。

【税体系(ICMS州税等)】

- ・政権が掲げる複雑な税制の簡素化の後押し
例) サンパウロ州のICMS滞留クレジットの解消と再発防止等、他メーカーと連携し、自工会を通じた州政府への働きかけが必要。

【日-メルコスールEPA】

- ・ブラジルにおける日系メーカーの競争力強化のため、税制改革などの構造改革とともにEPA早期交渉開始の必要性を政府に働きかけ

四輪業界動向

1. 2018年 振り返り
2. 2019年 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランドの対応
5. 総括

5. 総括 – 本日のまとめ

2018年実績

- **18年の市場は257万台**（前年同期比115%）と、**2年連続で前年越え**。
今年も7%増の275万台程度を見込む。
- **生産**は、国内市場の好調により前年比106%増。輸出は、主要輸出国アルゼンチンの市場縮小を受け、前年比18%減。今年も同様の傾向を予想。
- **Rota 2030が法令として正式に発行**。**2022年、25年以降の排ガス規制の骨子決定**。

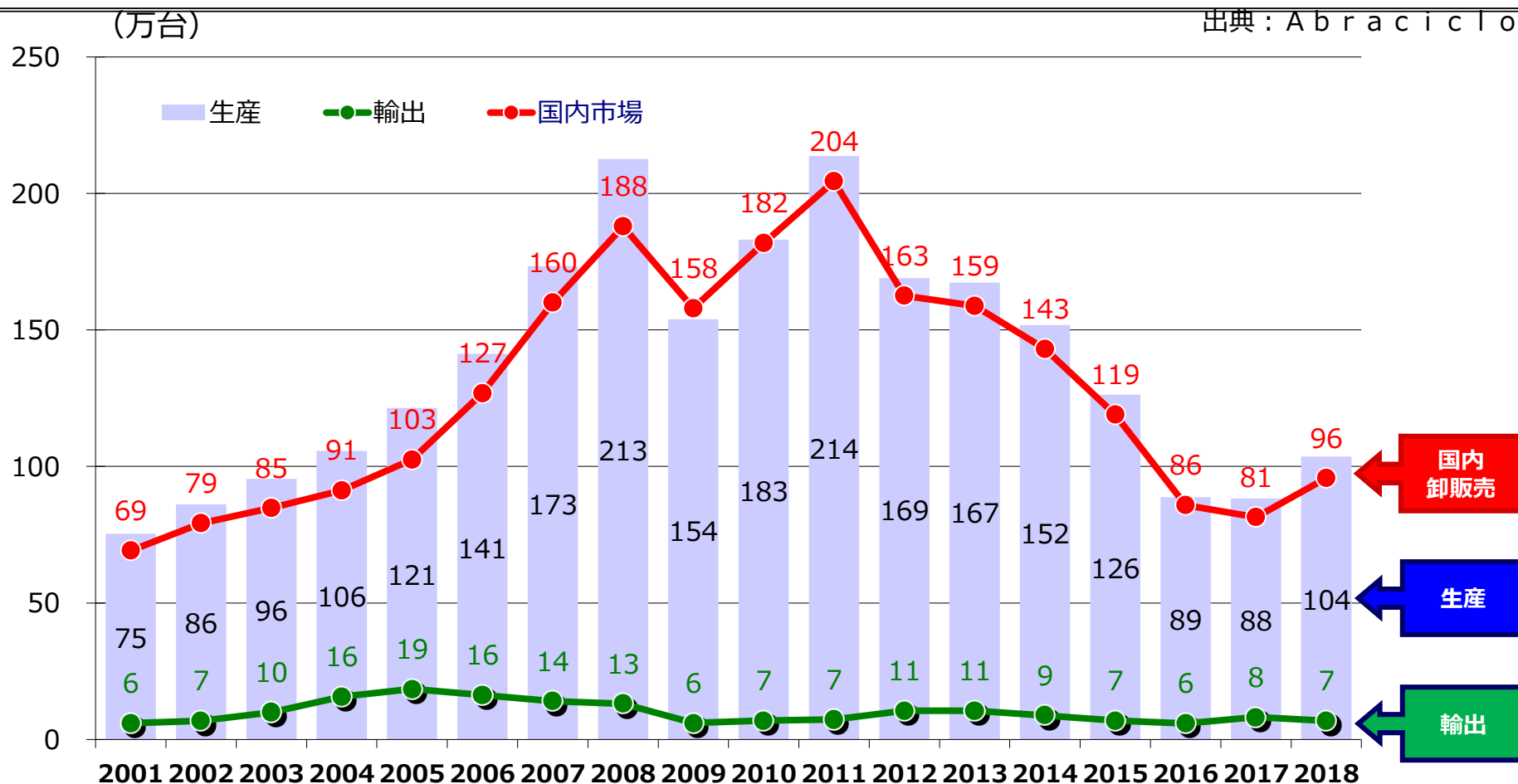
状況を踏まえた対応

- 引き続き長期的視点に立ち、環境変化に負けない事業体質強化を推進
→ **為替対応**を踏まえた**部品現調化**や**生産性向上**などにより、コスト低減、及び輸出促進を図る
- Rota 2030は、**税恩典**を最大限活用すべく、運用ルールが定義される細則発行を要注視
- 排ガス規制は、規制導入のタイミングが**現実に即したものに**すべく、ブラジル政府当局への**理解活動が必要**。
- 今後、拡大するコネクティッド、シェアリング、電動化等の領域に、業界を越えた積極的な取り組みを展開していく必要。

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

出典：Abraciclo



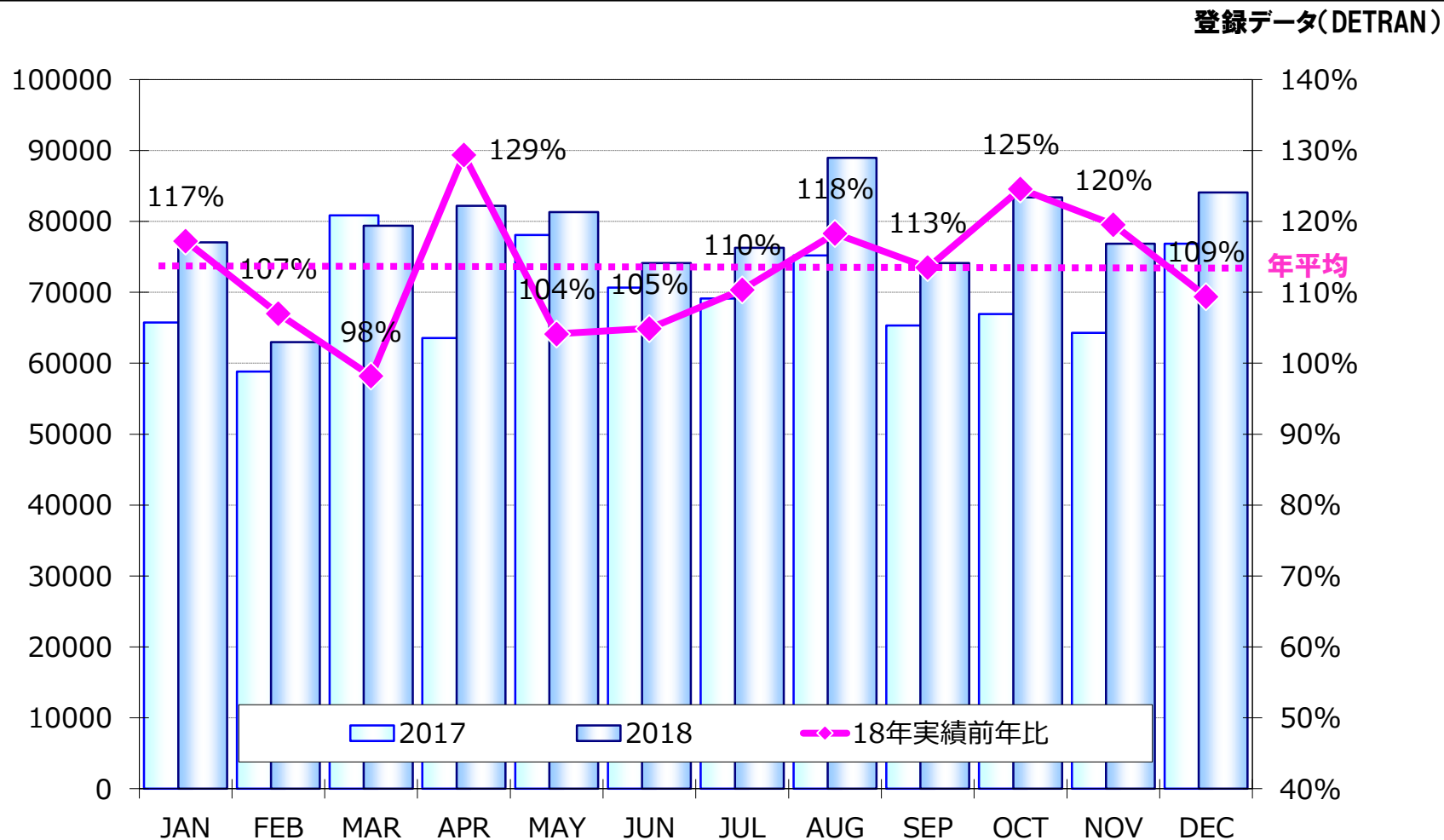
2018年1-12月実績

卸販売 96万台 (前年比118%) クレジット販売の増加が市場拡大に寄与

生産 104万台 (同117%) 国内販売拡大に伴い生産も増加

輸出 7万台 (同83%) アルゼンチン経済の減速により、前年を2割弱下回る

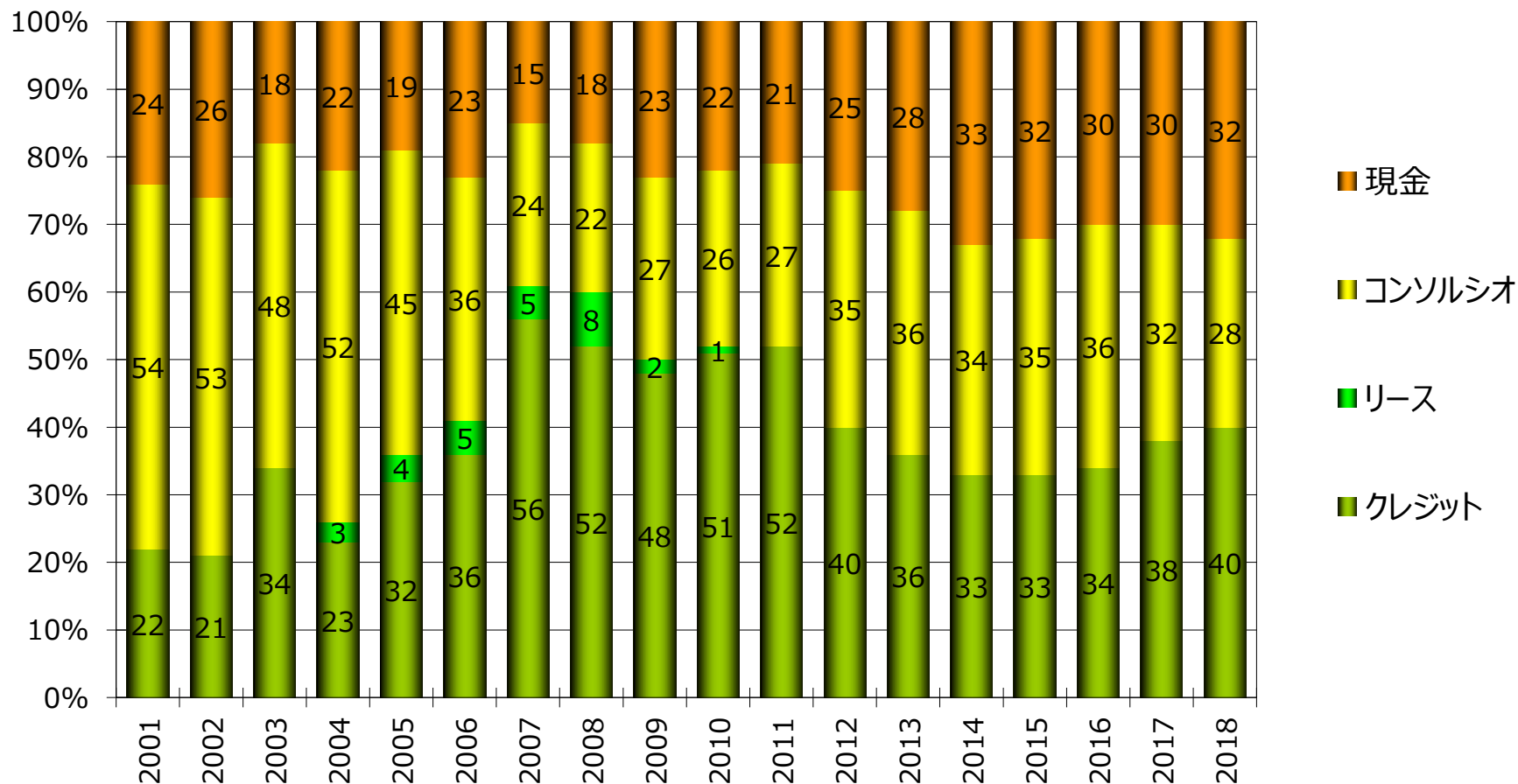
二輪車 月別登録推移 (2017年vs2018年)



新大統領の経済政策への期待やクレジット拡大により、
2018年1-12月の登録は前年比113%となった。

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



金融機関の貸出量増加や記録的な低金利により、クレジット比率が緩やかに増加。

コンサルタント 部会

吉田 幸司 部会長

Departamento de Consultoria e Assessoria

Presidente: Koji Yoshida

2018年の回顧と2019年の展望

『成長への期待、変化への対応』

コンサルタント部会

2019年2月28日

2018年ビジネス環境

今後3年間の成長の見通しについて、「非常に自信がある、または自信がある」と回答した割合

項目	グローバル	ブラジル
世界経済	67%	53%
自国	74%	88%
自社の業界	78%	85%
自社	90%	100%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

自社の成長に最も脅威をもたらすリスク

グローバル	%
保護主義への回帰	55%
サイバーセキュリティリスク	35%
最先端技術/破壊的技術のリスク	35%
環境/気候変動リスク	33%
オペレーショナルリスク	33%

ブラジル	%
オペレーショナルリスク	75%
サイバーセキュリティリスク	60%
金利の上昇	36%
能力のある人材の確保	34%
最先端技術/破壊的技術のリスク	30%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

2018年ビジネス環境

➤ 世界の地政学リスクの高まり

- 米中貿易戦争等に見るトランプ大統領の保護貿易、Brexit、ベネズエラ情勢不安、アルゼンチン経済危機、中南米における政権移行（左派→右派、右派→左派）etc...

➤ トラック運転手によるストライキ

➤ ボルソナーロ大統領の誕生

- 各種改革（年金、税制等）、民営化の継続、

➤ 法律や規制の改正

- 税制（eSocial, BLOCO Kの適用範囲拡大、ROTA 2030、税務申告のデジタル化の流れ）
- 法律（GDPRの制定（2020年2月からの適用）、労働法改正（2017年11月施行）etc...）
- 会計（売上計上基準、金融商品会計基準の変更(2018/1~)、新たなリース会計基準の適用（2019/1~）

デジタル変革

質問項目	グローバル	ブラジル
技術的破壊は脅威ではなく、チャンスである	95%	100%
AIやロボティクスによって「雇用が生まれる」可能性	60%	64%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

AIの導入状況	グローバル	ブラジル
少数のプロセスにおいてのみAIを試験的に導入	36%	30%
特定の一部のプロセスについてAIの限定的な導入を開始	51%	55%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

今後3年間において、AIの活用が自社にもたらす最大の効果

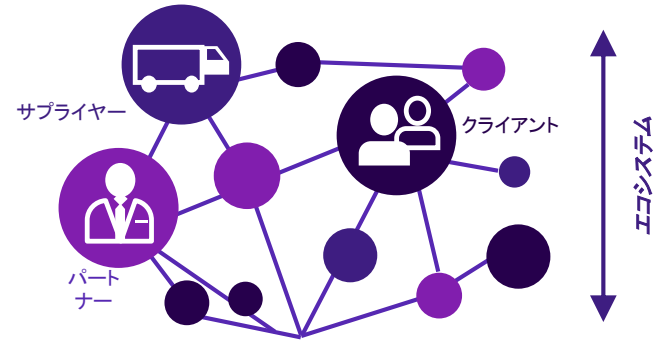
グローバル	ブラジル	%
データガバナンスの向上	経営の機動性の向上	47%
カスタマーエクスペリエンスの向上	コスト削減	43%
データアナリティクス能力の向上	利益成長の加速	42%
利益成長の加速	リスク管理の向上	38%
リスク管理の向上	データアナリティクス能力の向上	36%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

新たなバリューチェーン



自らが手の届く範囲でその価値を高めていく

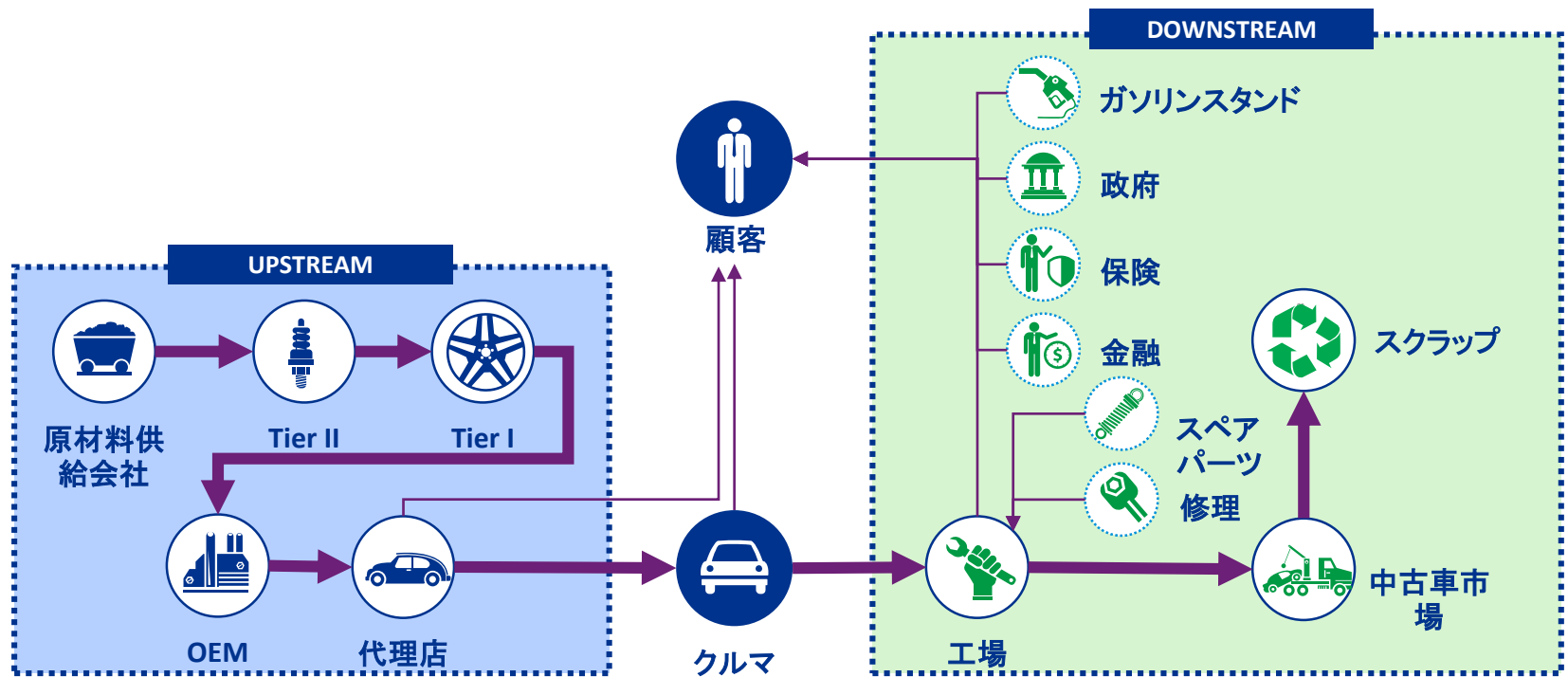


複数の参加者が（製造者、顧客など）が繋がり、それぞれがお互い連携することで価値が生まれ出され移転されていくビジネスモデル

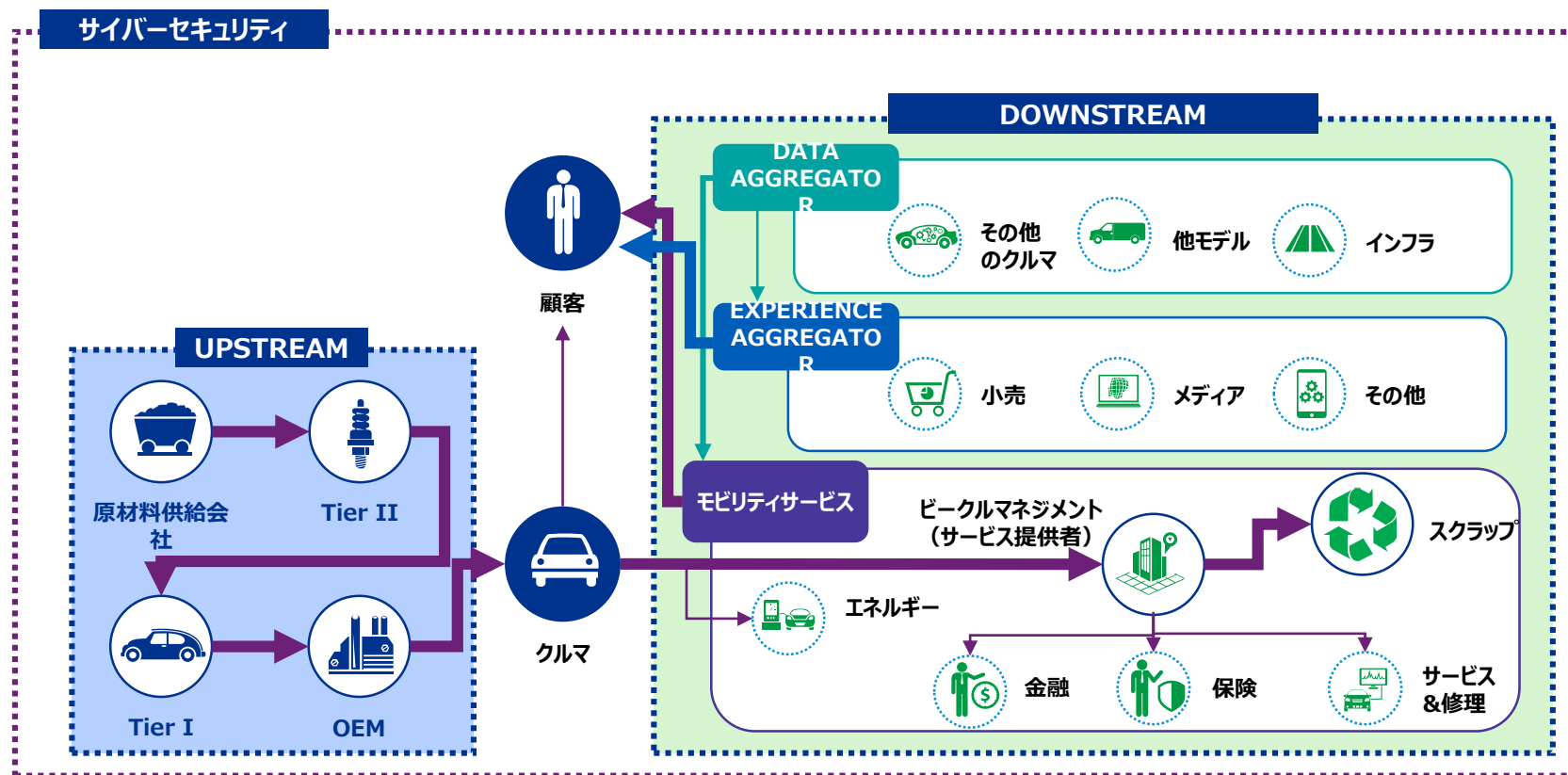
垂直的バリュー
チェーン

ネットワークバリュー
チェーン

伝統的バリューチェーン(自動車)



ニューバリューチェーン(自動車)



グローバル資本市場の変化

世界における時価総額トップ10

2007年

1.  ExxonMobil
2.  GE
3.  ICBC
4.  Microsoft
5.  Citigroup
6.  Gazprom
7.  TOYOTA
8.  Bank of America
9.  Shell
10.  bp

4 オイル&ガス 1 自動車
 3 銀行 1 ソフトウェア
 1 コングロマリット

2018年

1.  Apple
2.  amazon
3.  Alphabet
4.  Microsoft
5.  facebook
6.  ExxonMobil
7.  Alibaba Group
8.  BERKSHIRE HATHAWAY INC.
9.  Tencent 腾讯
10.  JPMORGAN CHASE & CO.





















6 デジタル 1 ソフトウェア
 1 オイル&ガス 1 保険業(投資家)
 1 銀行

成長会社

-  GitHub
-  airbnb
-  UBER
-  INDIEGOGO
-  Quirky
-  kaggle
-  Pinterest
-  reddit
-  tumblr.

ブラジル資本市場の変化

ブラジルマーケットにおける時価総額トップ10

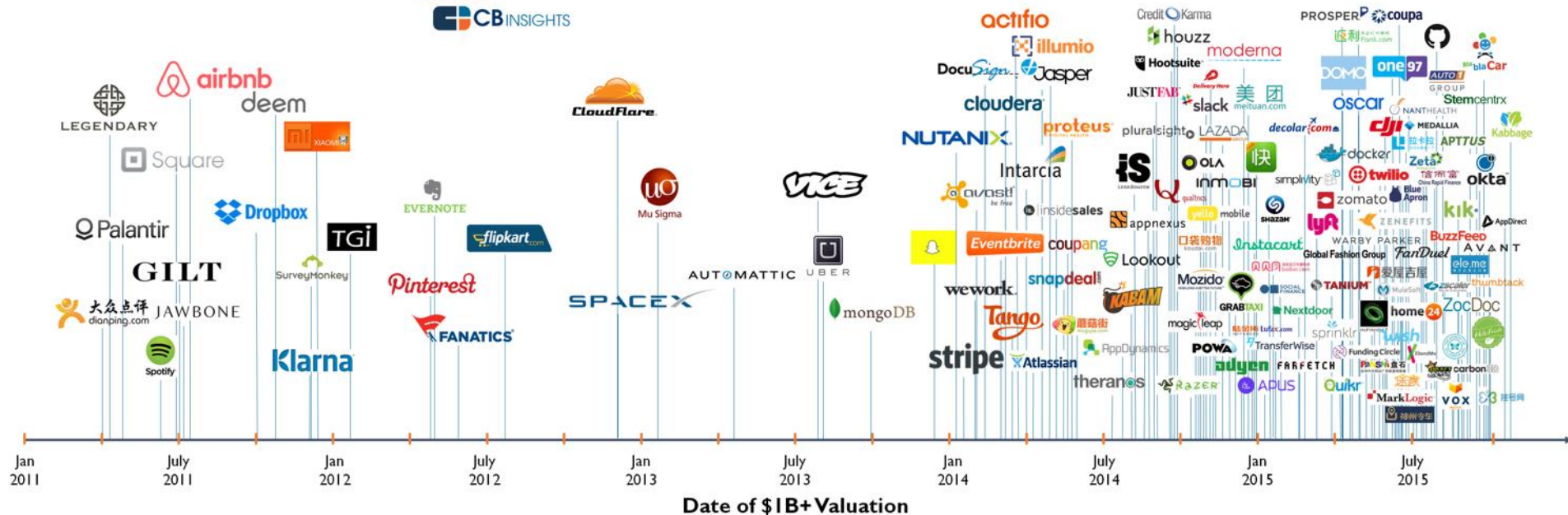
	2007年	2018年
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.	 Companhia Siderúrgica Nacional	
9.		
10.		 BRASIL BOLSA BALCÃO

ユニコーン企業の誕生

The Increasingly Crowded Unicorn Club

Private Unicorns since 2011

Created by:



数千ものスタートアップ企業が誕生しており、プラットフォーム、アプリ、コネクティビティ、また、新たなビジネスモデルによる新興企業が生まれる流れが2014年度以降急増

ブラジルのユニコーン企業（例）



今後3年間に成長目標を追求するために予定している施策（上位5位）

グローバル	%
ソーシャルメディア・プラットフォームなどを通じた商品・サービスの提供	54%
スタートアップ企業のためのインキュベータープログラムの策定	53%
革新的なスタートアップ企業との連携	53%
第三者のクラウド・テクノロジー・プロバイダーとの提携	52%
イノベーションプロセスへの投資の増加	50%

ブラジル	%
イノベーションプロセスへの投資の増加	42%
コーポレートベンチャーへの参加	42%
スタートアップ企業のためのインキュベータープログラムの策定	40%
革新的なスタートアップ企業との連携	38%
ソーシャルメディア・プラットフォームなどを通じた商品・サービスの提供	38%

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

今後3年間の成長を促すための最も重要な戦略

項目	グローバル	ブラジル
第3者との戦略的提携	33%	32%
オーガニック成長	28%	17%
M&A	16%	21%
ジョイントベンチャー	13%	19%
アウトソーシング	10%	11%

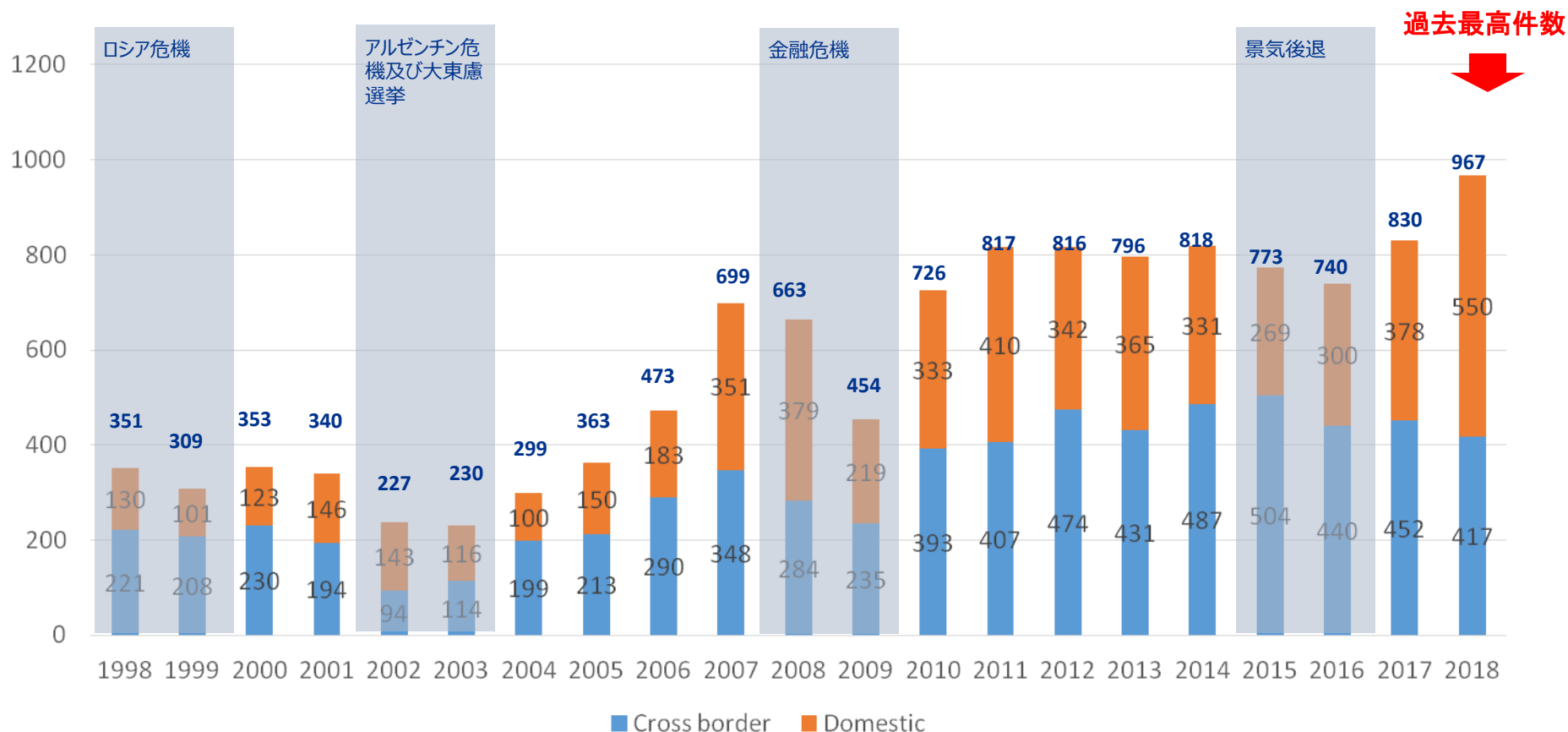
項目	グローバル	ブラジル
今後3年以内にM&Aを実施する強い意欲あり	27%	13%
今後3年以内にM&Aを実施する計画なし	22%	36%

項目	グローバル	ブラジル
今後の成長市場に新興国に注目 (()はそのうち中南米の比率)	70%(1/3)	89% (49%)

出所: 2018 Global CEO Outlook、KPMGインターナショナル

M&A投資件数の推移

2018年度は調査を始めて以降過去最高件数を記録。ブラジル国内取引件数は大幅に増加するもクロスボーダー案件は減少している。



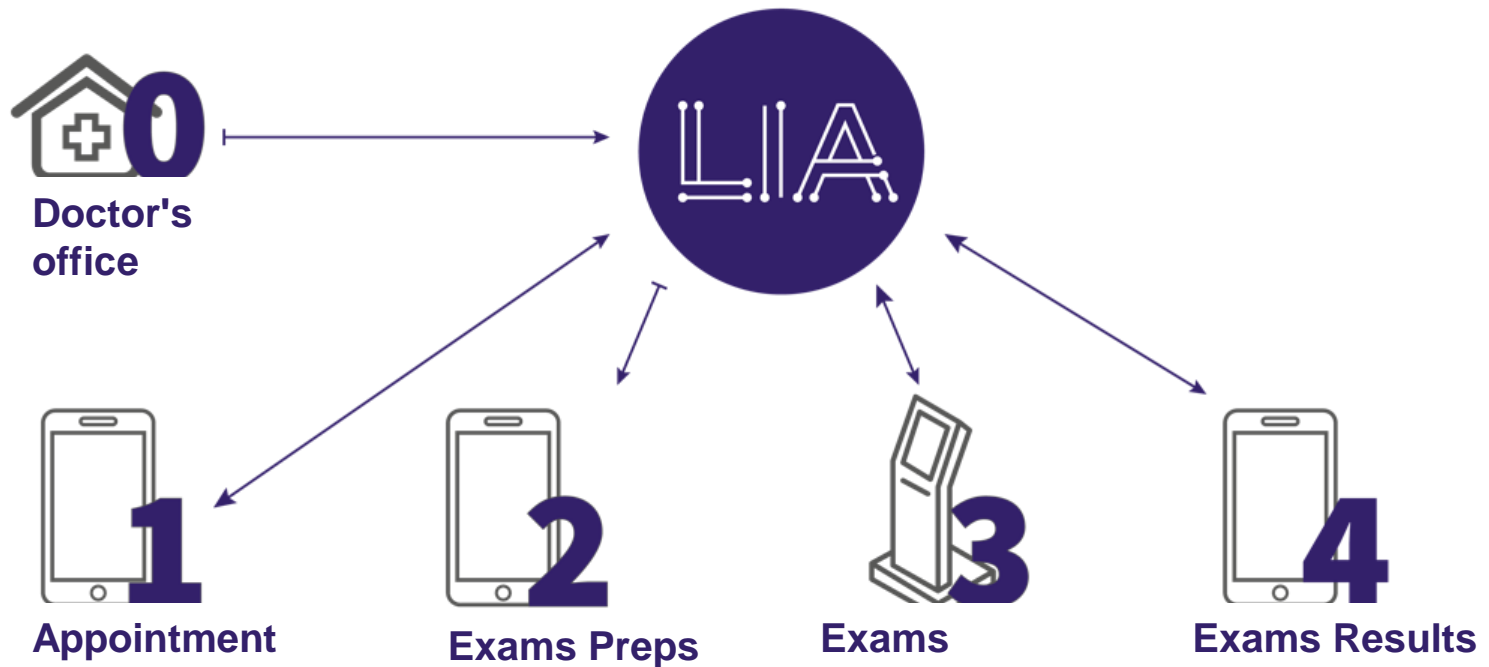
Alliar社による取組事例



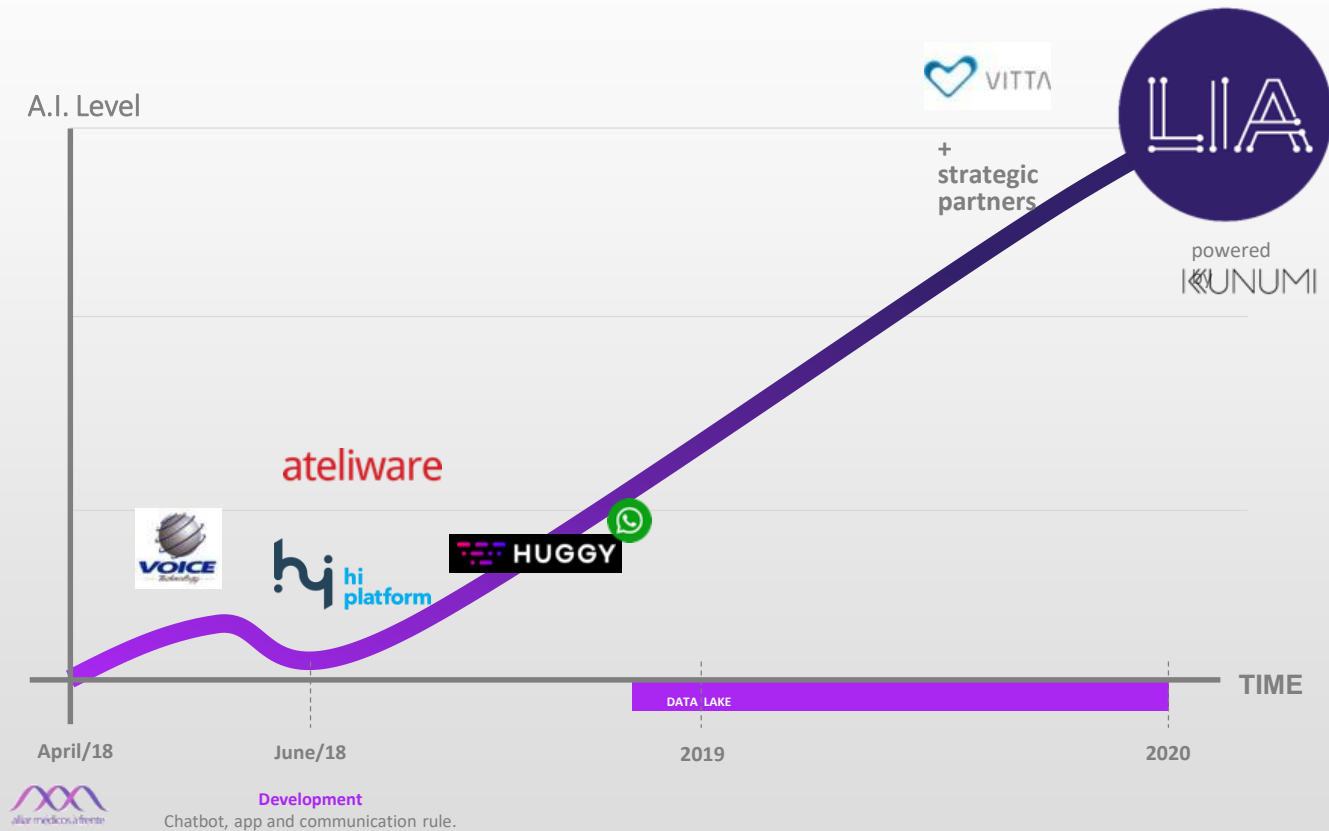
- コールセンターへの問い合わせの殺到
- 内部コミュニケーション
- 診察予約



解決策 – Smart Conversation Agent



ロードマップ



コンサルタント部会まとめ

- 何のためにブラジルに進出したのか、今一度原点に戻る
- ブラジル人が日系企業（日本人）に期待することを？
- 日本ブームを利用したビジネス（コンシューマーマーケットなど）
- 農業分野
- 今後の改革に対する備え

コーヒーブレイク

COFFEE BREAK

後半司会

大久保 敦 企画戦略委員長

APRESENTADOR

**Presidente da Comissão
de Planejamento -
Estrategia**

Atsushi Okubo

化学品 部会

村松 正美 部会長

Departamento de Produtos Químicos

Presidente: Masami Muramatsu

2019 年上期 業種別部会長シンポジウム

2018 年の回顧と 2019 年の展望

副題 成長への期待、変化への対応

2019 年 2 月 28 日

ブラジル日本商工会議所 化学品部会

PILOT PEN DO BRASIL 村松正美

次第

- ・ 2018年の回顧と2019年の展望

輸送関連

ヘルスケア関連

農業関連

印刷関連

機器関連

コンシューマ

総括

- ・ 副題 成長への期待、変化への対応

2018年の回顧と2019年の展望

化学品部会所属企業、団体 73社

アンケート協力頂いた企業、団体 22社（工場保有 10社）

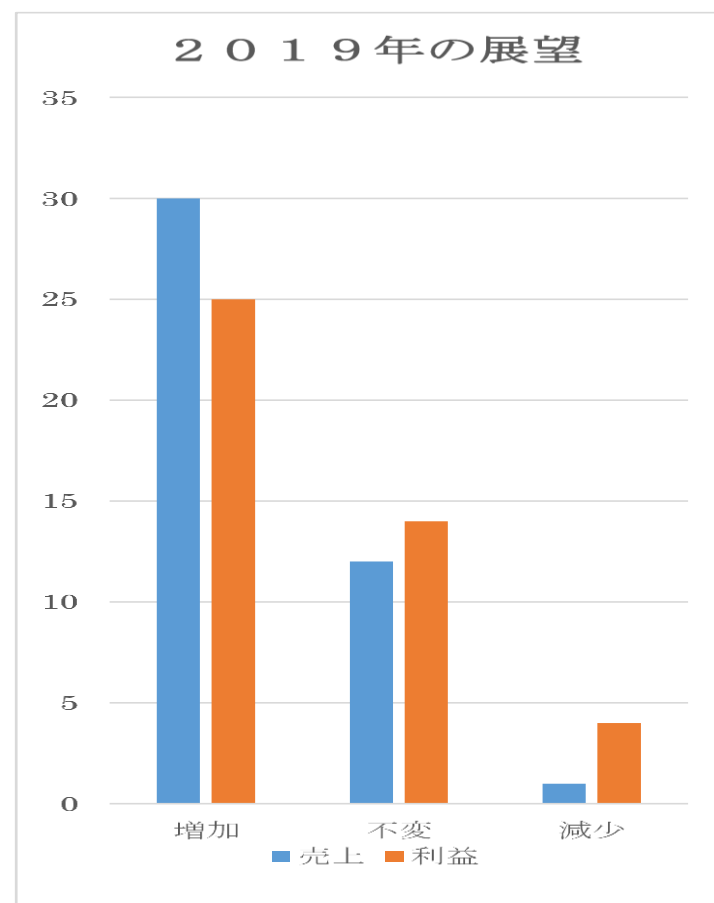
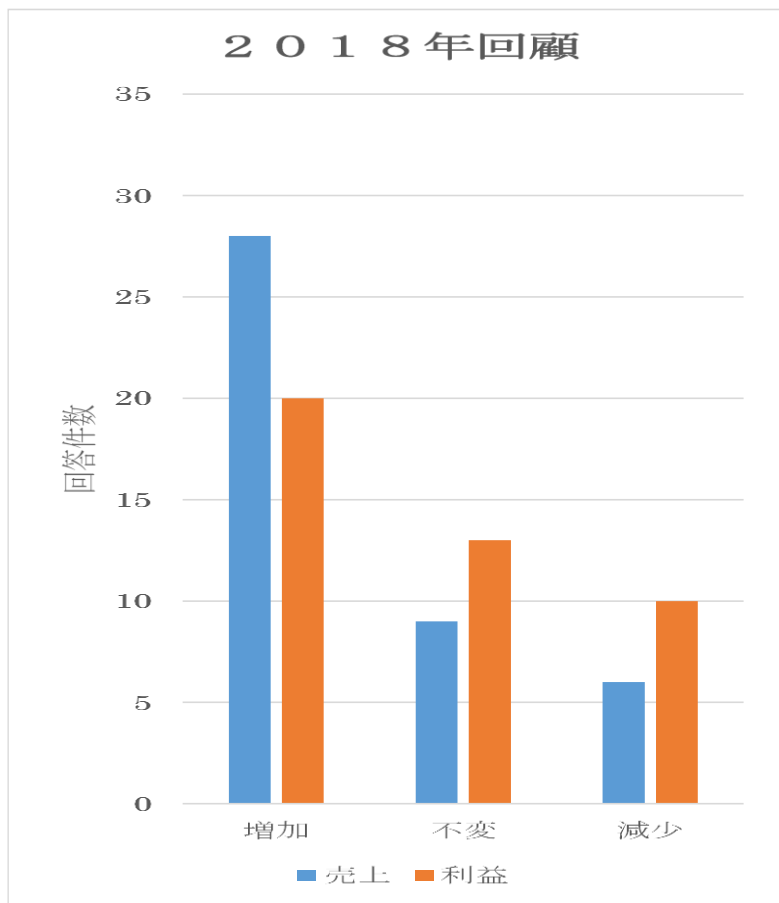
アンケートについて 各市場の売上と利益を、増加、不変、減少で回答頂いた

化学品部会の関連市場

市場	アンケート数	割合
輸送関連(自動車、二輪車など)	14	33%
ヘルスケア関連(食品、化粧品、医薬品など)	8	19%
農業関連(農薬、飼料、酵素など)	7	16%
印刷関連(インキ、製紙など)	4	9%
機器関連(電気電子、医療など)	4	9%
コンシューマ(筆記具、接着剤、潤滑剤など)	4	9%
建設	1	2%
服飾	1	2%
総アンケート数	43	件

2018年の回顧と 2019年の展望

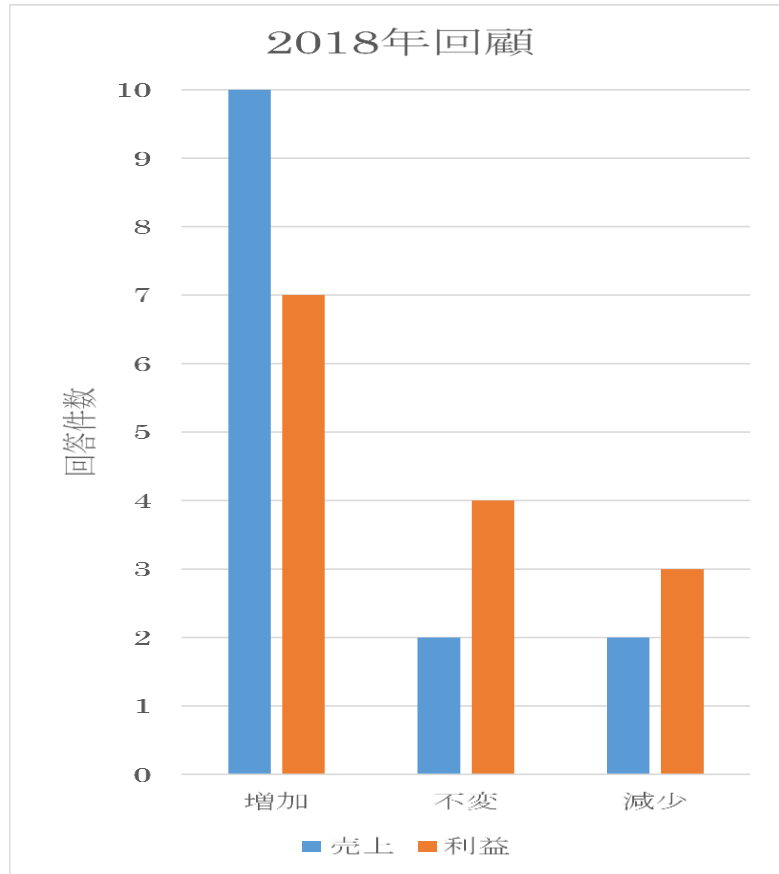
化学品部会 すべての市場



輸送関連(自動車、二輪車など)

用途：内外装プラスチック部品、エンジン用シール材、樹脂添加剤など

2018年の回顧



- ポジティブ
- ネガティブ

「市場」

- 自動車：市場の回復、生産増
- 二輪車：緩やかな市場の回復

「売上増減要因」

〈自動車分野〉

- 新車種に採用
- 新規需要
- 新規顧客獲得

- 価格競争激化

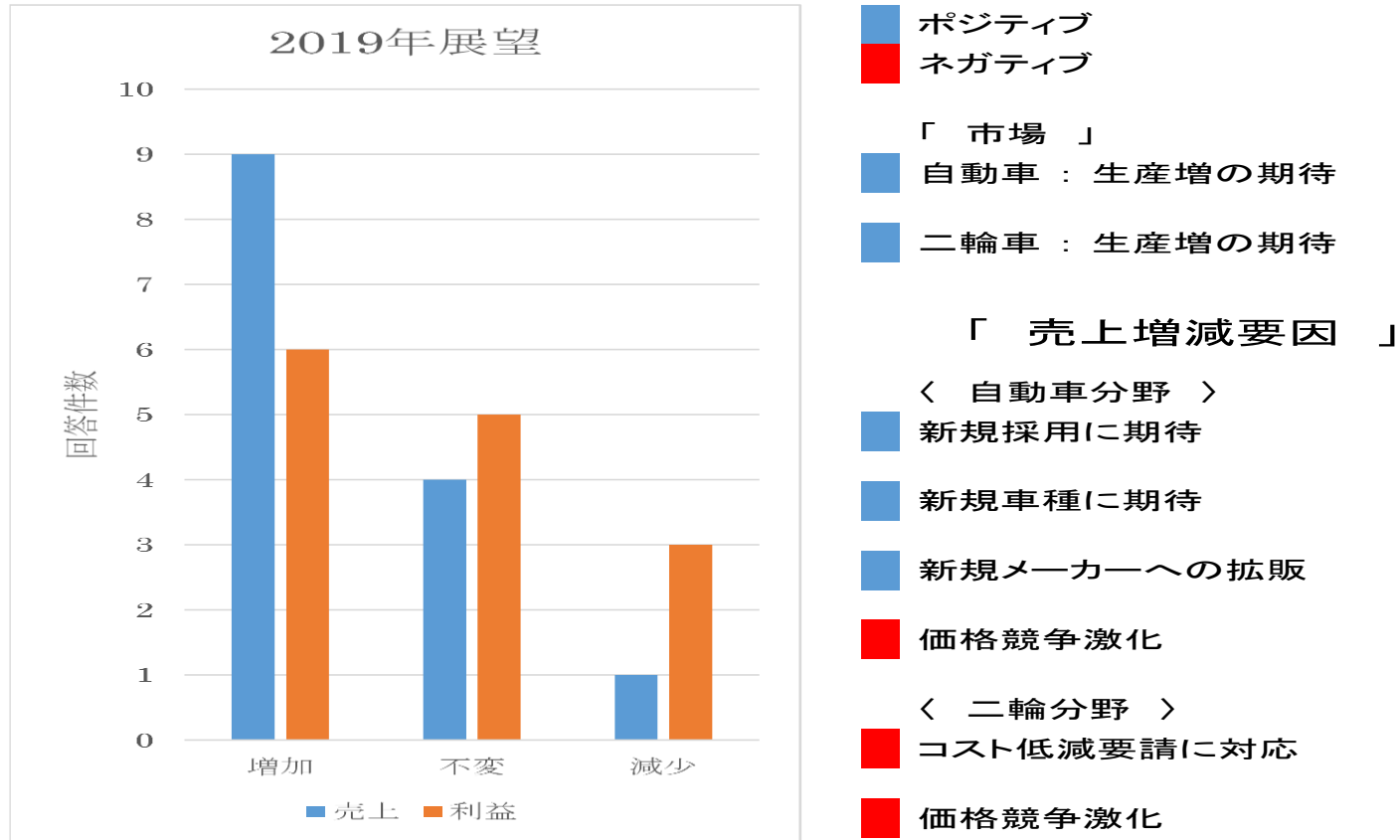
〈二輪分野〉

- コスト低減要請
- 価格競争激化

輸送関連(自動車、二輪車など)

用途：内外装プラスチック部品、エンジン用シール材、樹脂添加剤など

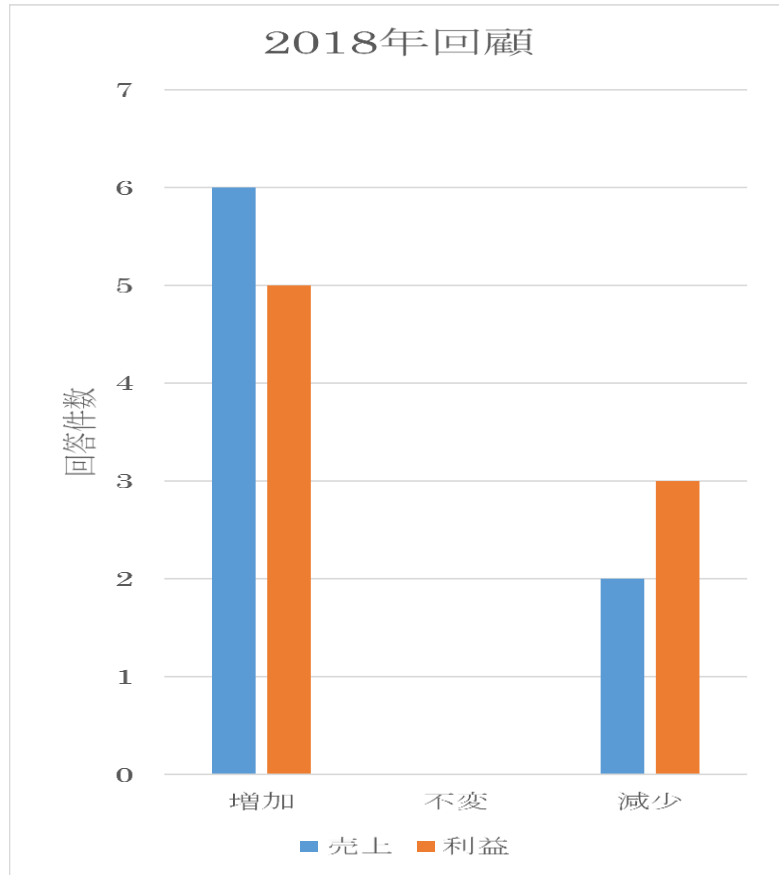
2019年の展望



ヘルスケア関連(食品、化粧品、医薬品など)

用途：食品添加剤、包装フィルム、改装着色剤、一般医薬品など

2018年の回顧



■ ポジティブ
■ ネガティブ

「市場」

- 食品：健康志向ニーズの増加
- 化粧品：市場回復
- 医薬品：市場回復傾向

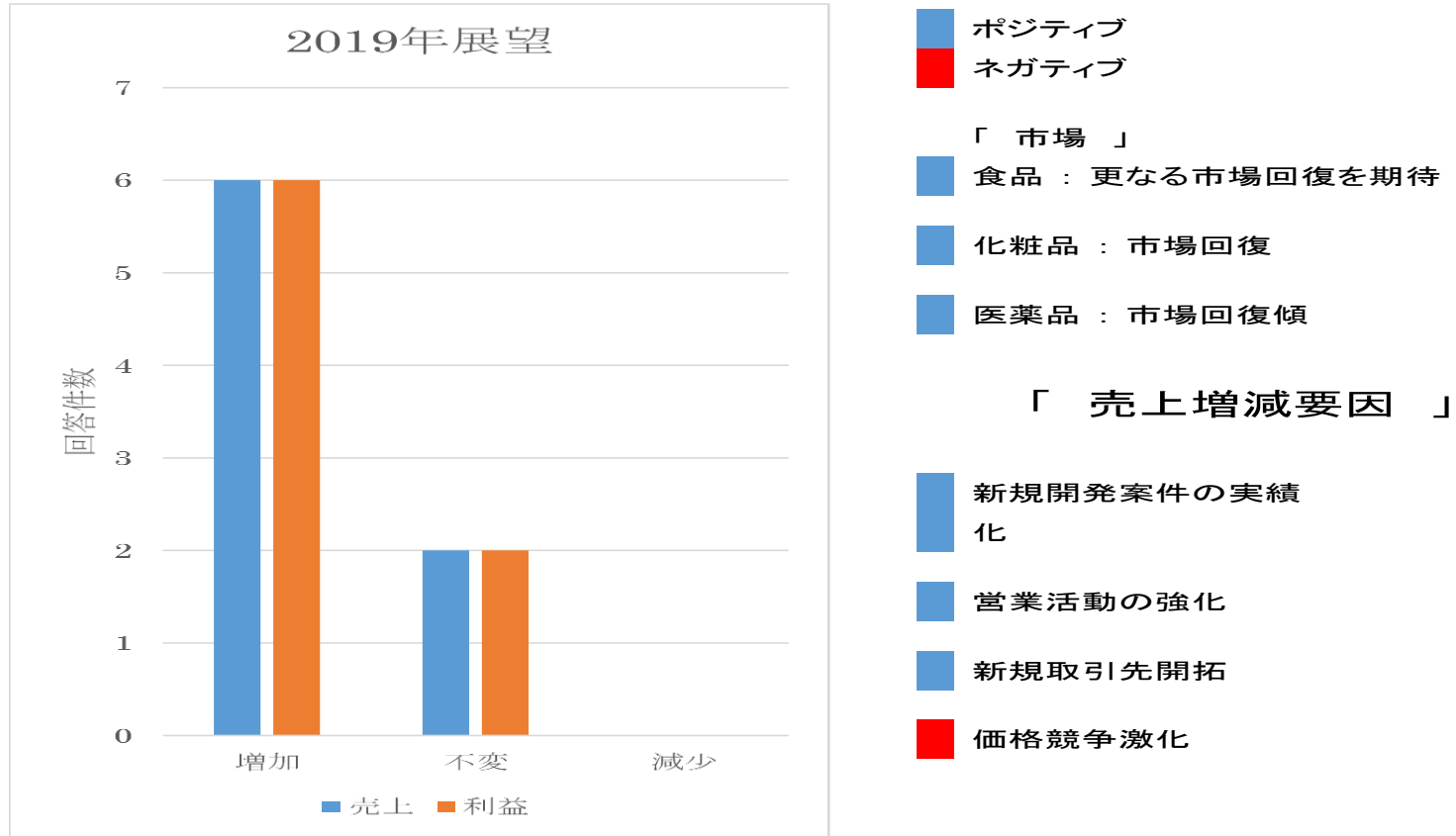
「売上増減要因」

- 新規得意先開拓
- 営業活動の強化
- 新規案件増加
- 価格競争激化

ヘルスケア関連(食品、化粧品、医薬品など)

用途：食品添加剤、包装フィルム、改裝着色剤、一般医薬品など

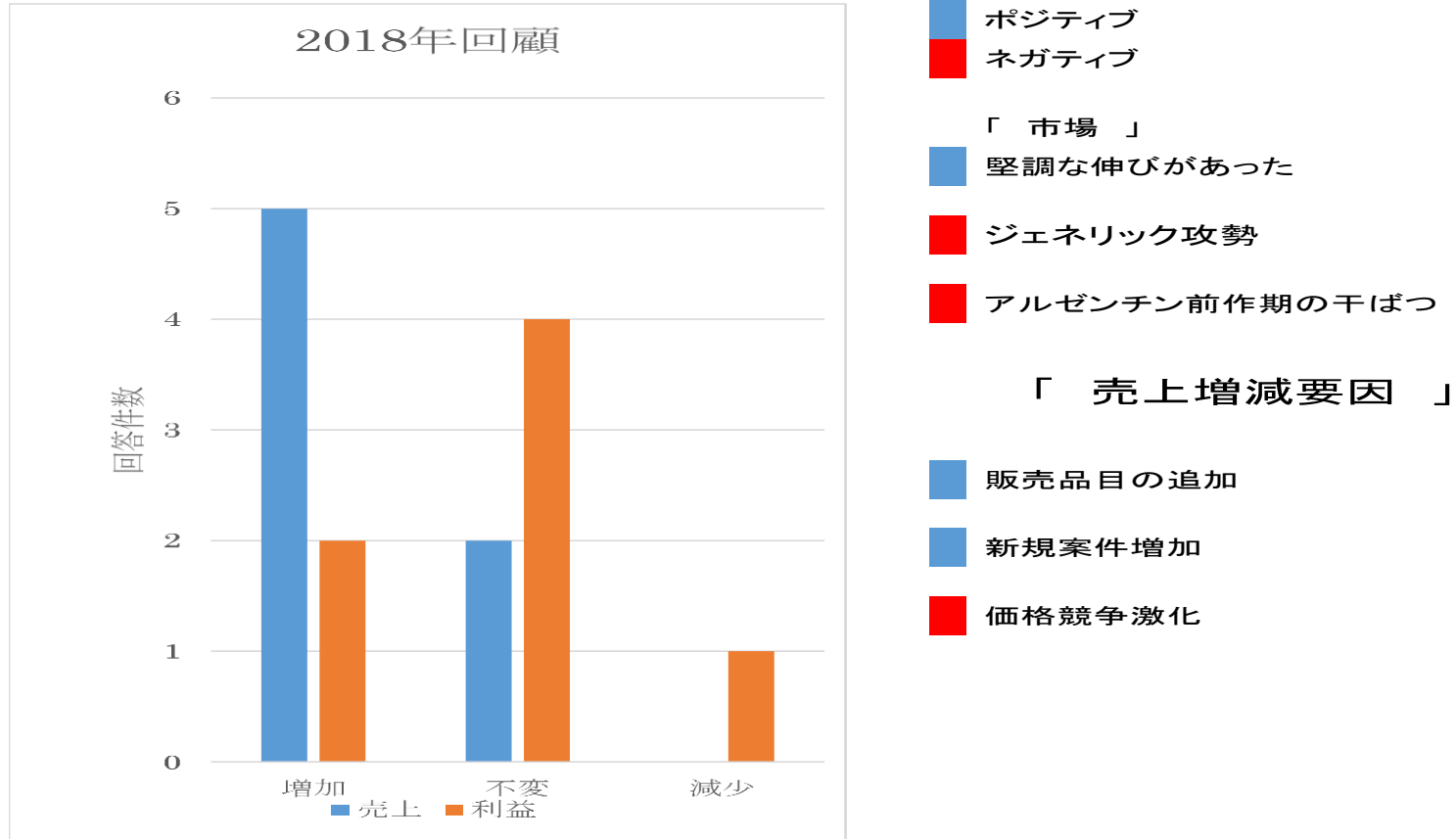
2019年の展望



農業関連(農薬、飼料、酵素など)

用途：殺虫剤、殺菌、除草剤、飼料添加剤、診断薬原料など

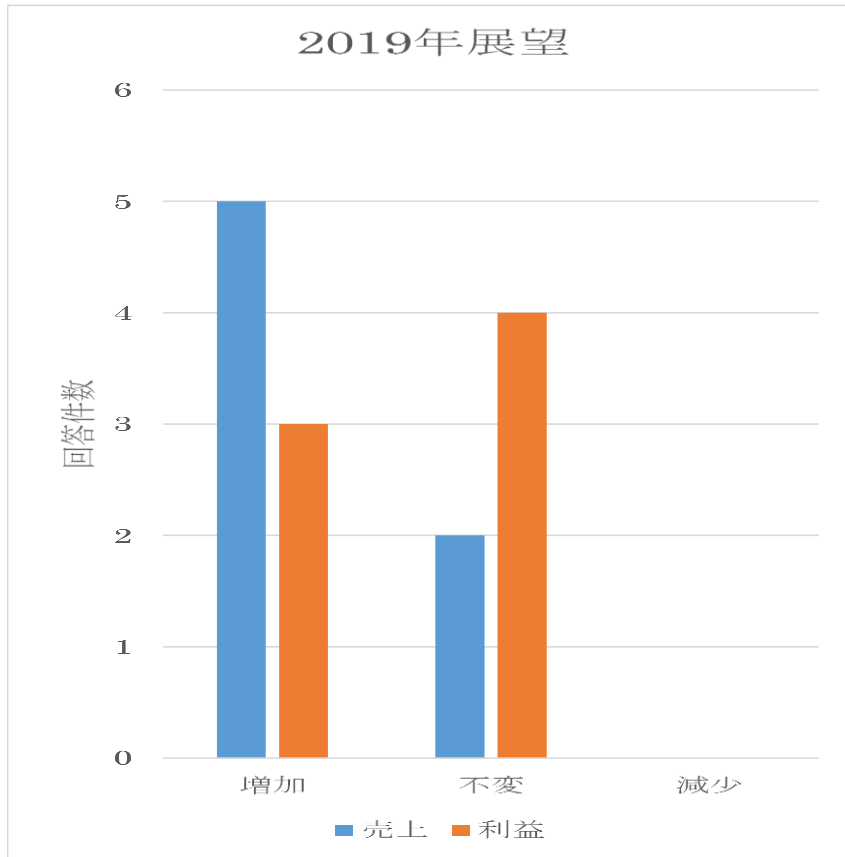
2018年の回顧



農業関連(農薬、飼料、酵素など)

用途：殺虫剤、殺菌、除草剤、飼料添加剤、診断薬原料など

2019年の展望

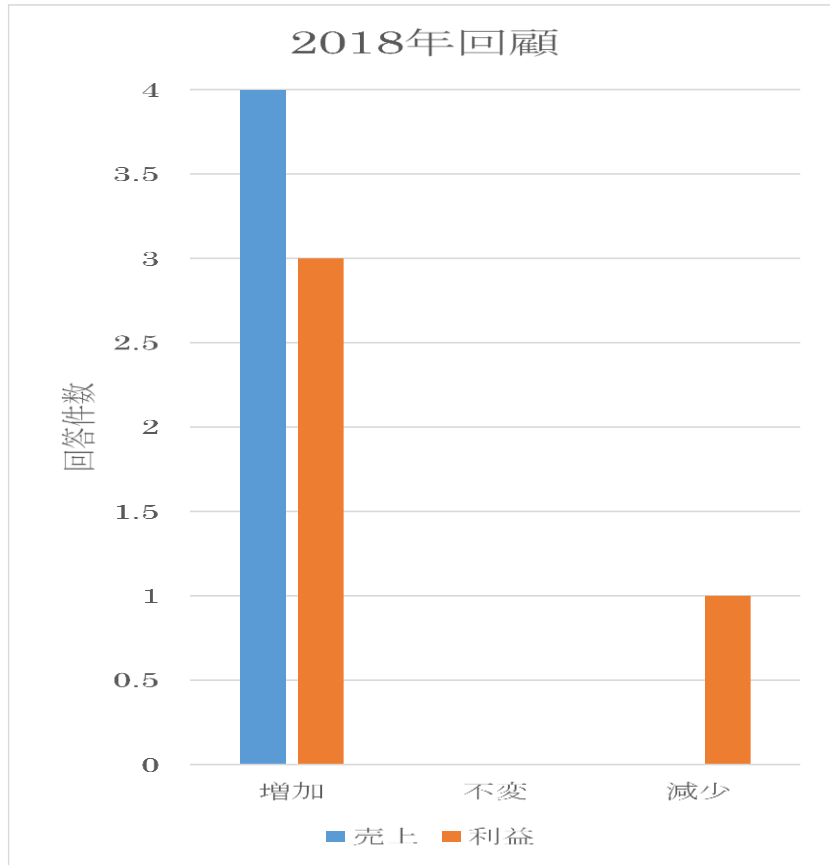


- ポジティブ
 - ネガティブ
- 「市場」
- 市場の伸びを期待
 - 作付け拡大期待感
 - アルゼンチン大豆生産の回復期待
 - ジェネリック攻勢激化
- 「売上増減要因」
- 販売品目の追加
 - 新規案件増加
 - 更なる価格競争激化

印刷関連(インキ、製紙など)

用途：出版、パッケージ用インキ、印画紙など

2018年の回顧

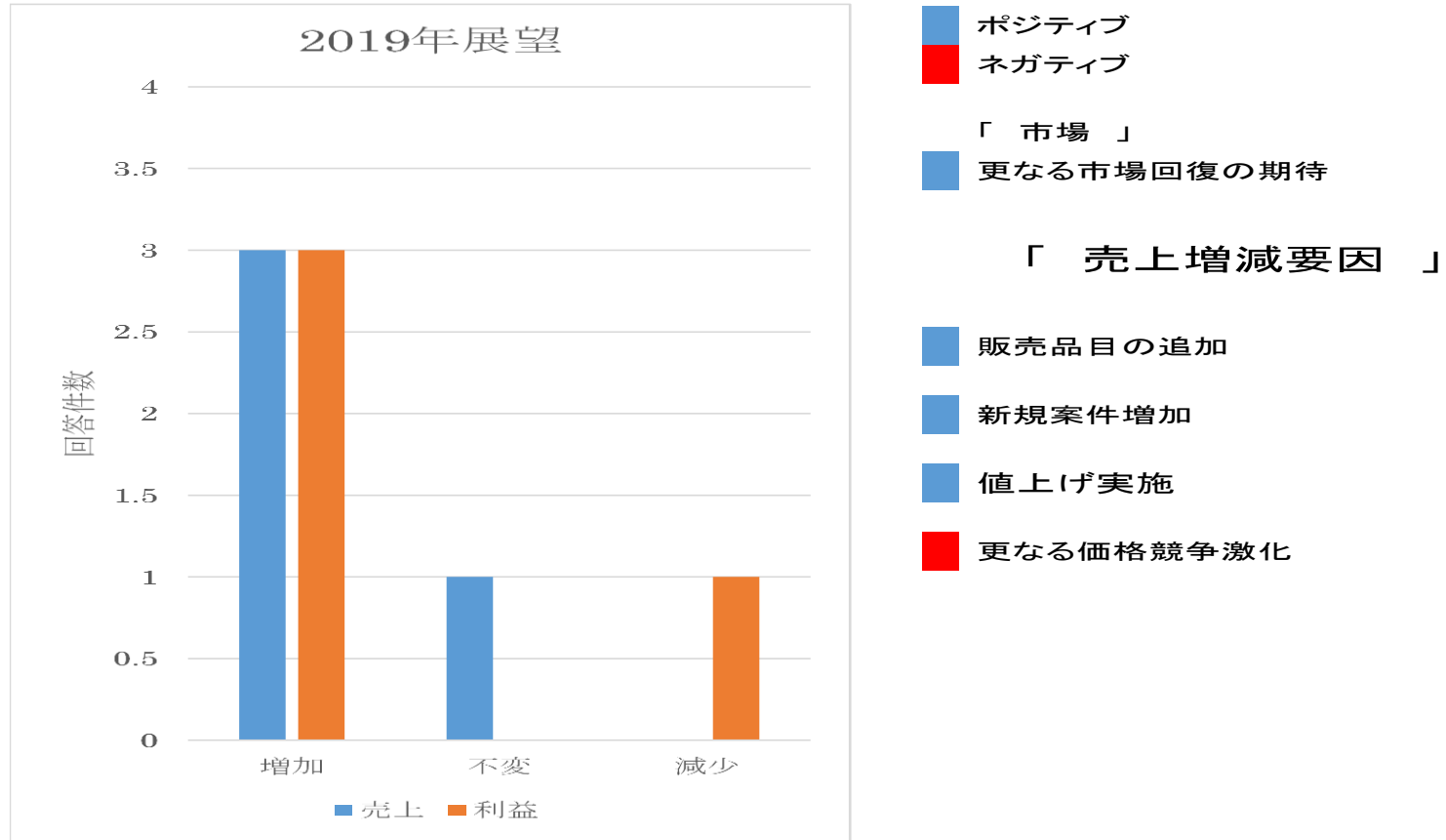


- ポジティブ
 - ネガティブ
- 「市場」
- 緩やかな市場回復
- 「売上増減要因」
- 販売品目の追加
 - 新規案件増加
 - 価格競争激化

印刷関連(インキ、製紙など)

用途：出版、パッケージ用インキ、印画紙など

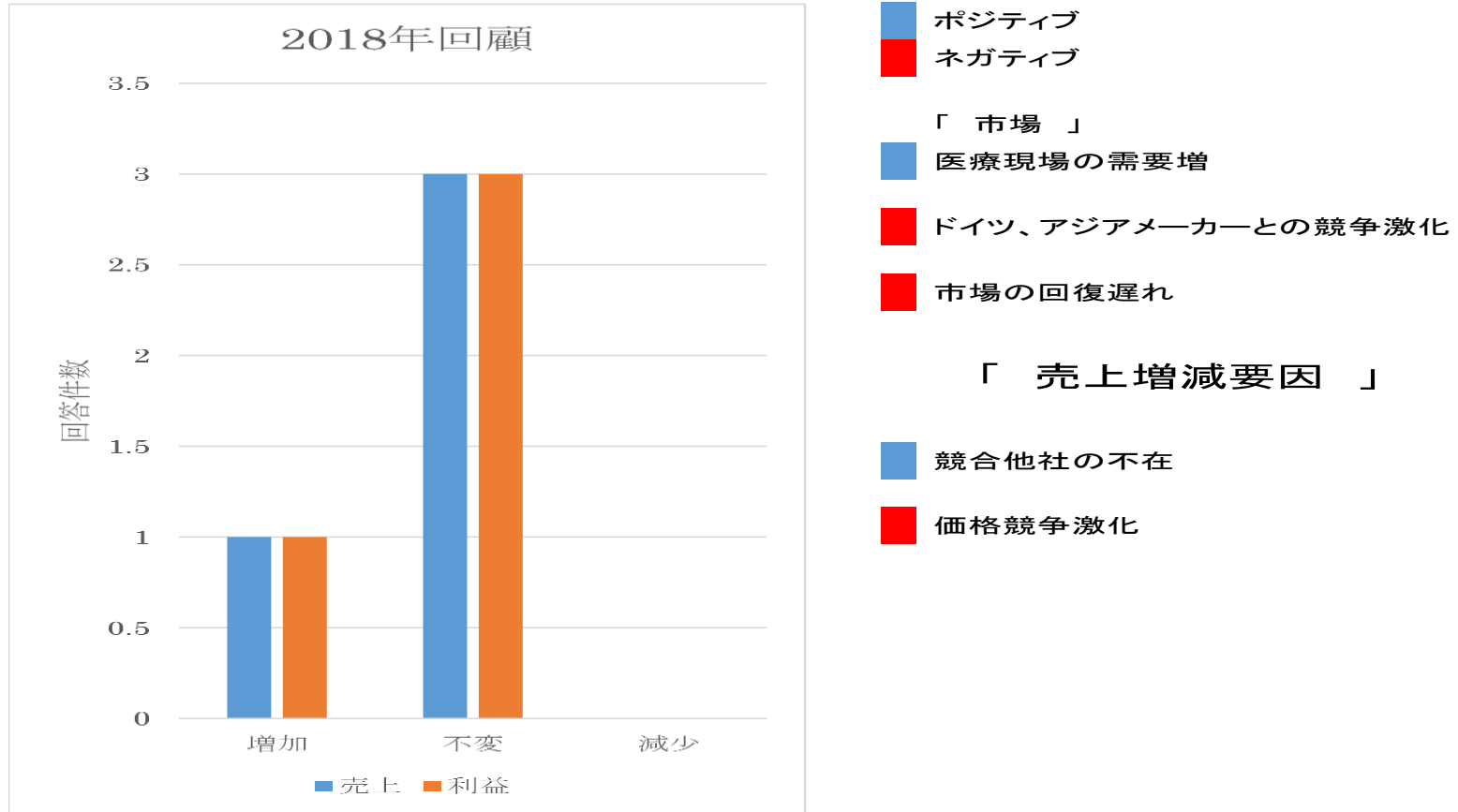
2019年の展望



機器関連(電気電子、医療など)

用途：眼科治療用デバイス、透析装置、外装部など

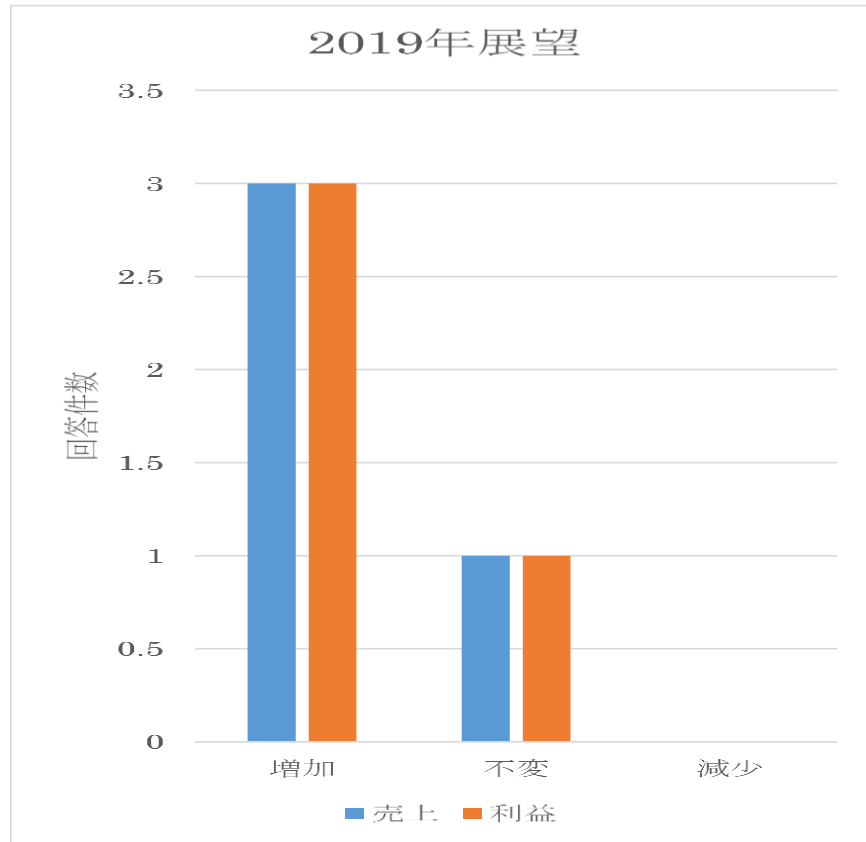
2018年の回顧



機器関連(電気電子、医療など)

用途：眼科治療用デバイス、透析装置、外装部など

2019年の展望



■ ポジティブ
■ ネガティブ

「市場」

■ 医療現場の需要堅調の持続予測

■ 市場回復の期待

■ ドイツ、アジアメーカーの動向

「売上増減要因」

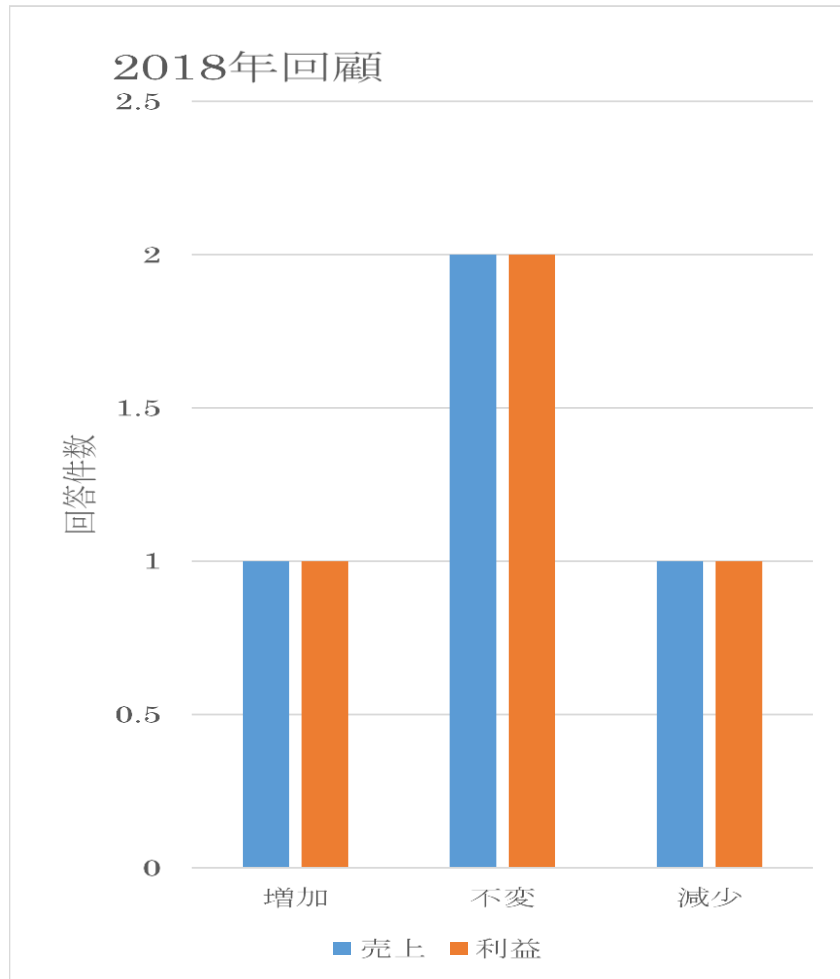
■ 既存事業の拡大

■ 価格競争激化

コンシューマ(筆記具、接着剤、潤滑剤など)

用途：筆記具、ビジョンケア材料、車両タイヤなど

2018年の回顧



■ ポジティブ
■ ネガティブ

「市場」

■ 輸送関係の消耗品の需要増加

■ 市場の縮小、統廃合

■ 中国製の台頭

「売上増減要因」

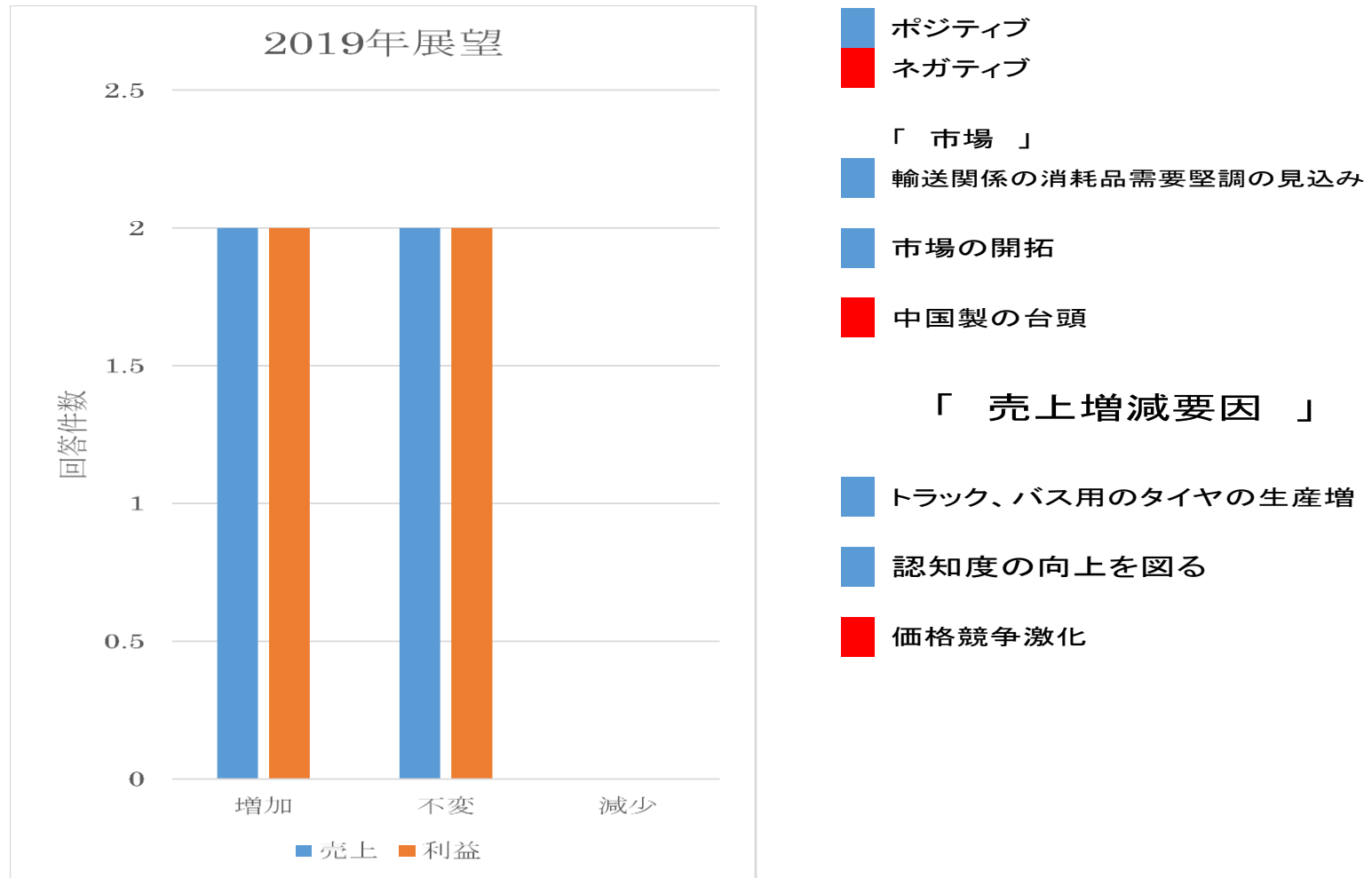
■ トラック、バス用のタイヤの生産増

■ 価格競争激化

コンシューマ(筆記具、接着剤、潤滑剤など)

用途：筆記具、ビジョンケア材料、車両タイヤなど

2019年の展望



副題 成長への期待、変化への対応

- ・ 許認可プロセスの簡素化・迅速化
- ・ 税制改革
- ・ ビジネス環境の整備

総括

2018 年の回顧	2019 年の展望
結果：売上増加 28/43 件 65%	予測：売上増加 30/43 件 70%
市場	
緩やかな需要回復	回復傾向が進む(望む)
脅威	
アジア圏の台頭 ジェネリックとの競合	アジア圏の台頭 ジェネリックとの競合
対応	
新規取引先開拓 新商品投入 コスト見直し	得意先拡販 新規取引先開拓 新商品投入 コスト見直し

副題 成長への期待、変化への対応

- ・ 許認可プロセスの簡素化・迅速化
- ・ 税制改革
- ・ ビジネス環境の整備

2019 年上期 業種別部会長シンポジウム

ご清聴ありがとうございます。

電気電子 部会

日比 賢一郎 部会長

Departamento Eletroeletrônico

Presidente: Kenichiro Hibi

電気電子業界 2018年の回顧と2019年の展望

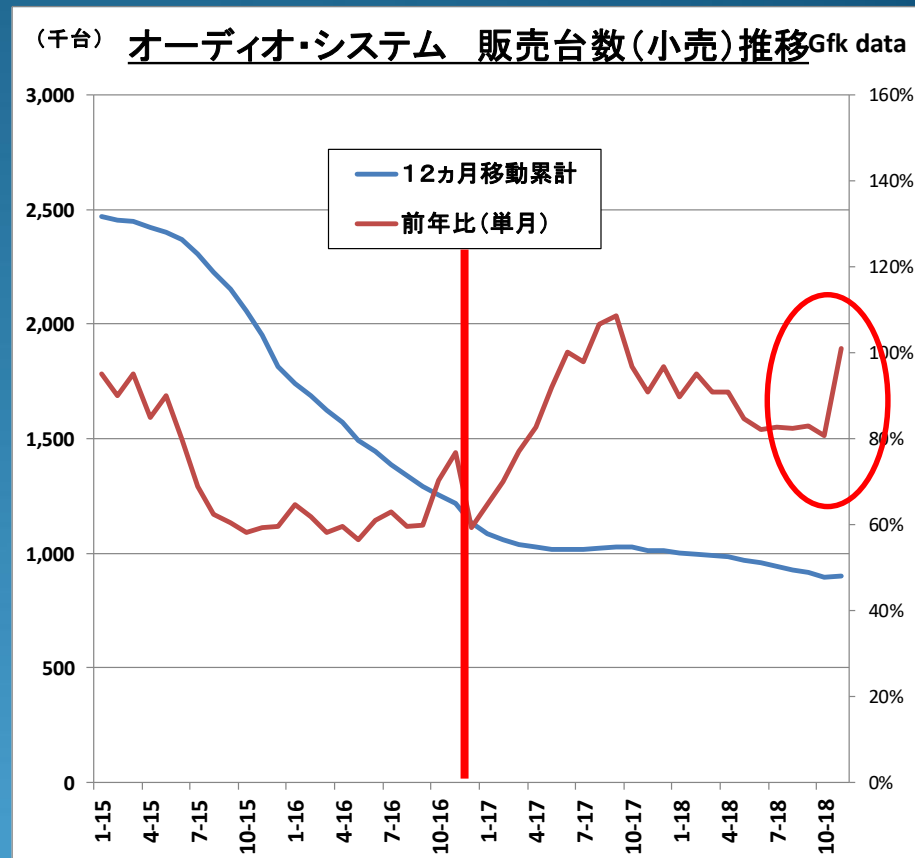
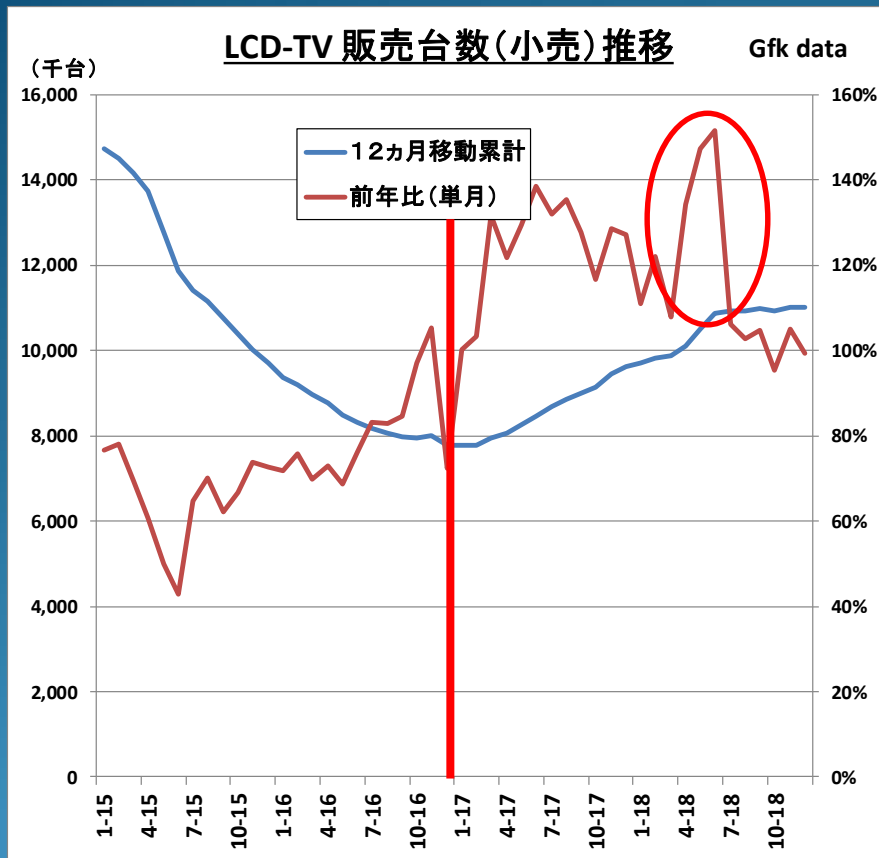
2019年2月28日

電気電子部会

アジェンダ

- 市場（TV、システムオーディオ）、生産（マナウス経済特区）動向アップデート
- 会員企業景況感調査結果報告
- Zona Franca Manaus（マナウス経済特区）オペレーションについて
- 商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

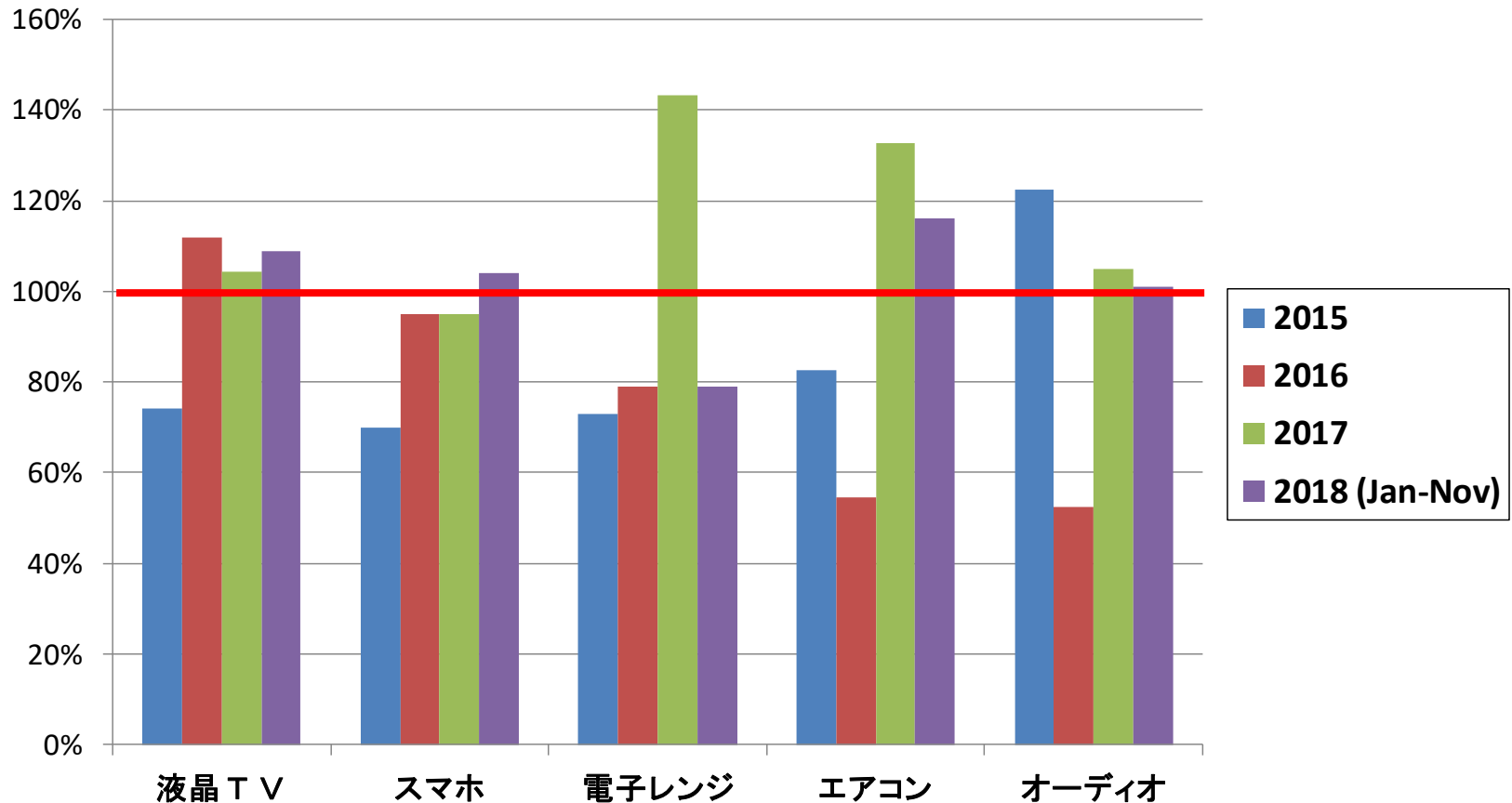
液晶TV、オーディオシステム販売台数（小売）の推移



- テレビ・オーディオ共に2017年より回復基調に転ずる
- 2018年のテレビ市場はワールドカップによる特需がありその後、市場在庫調整
- オーディオシステム市場は2018年ワールドカップ後より市場回復

主要家電製品 マナウス生産数量推移

マナウス地域における生産数量の推移(対前年比)



- ほぼすべてのカテゴリーで回復基調、対前年超え
- 2018年の電子レンジは2017年からの市場在庫調整

2018年回顧と2019年展望 会員アンケート結果

電気電子部会各社の販売動向（対前年）

「維持」を対前年比100～109%として分類

8月時点の
2018年展望

	改善	維持	悪化	合計
18年下期 展望	10	5	1	16
(%)	63%	31%	6%	100%

今回の
アンケート
結果

	改善	維持	悪化	合計
18年 回顧	8	6	0	14
(%)	57%	43%	0%	100%

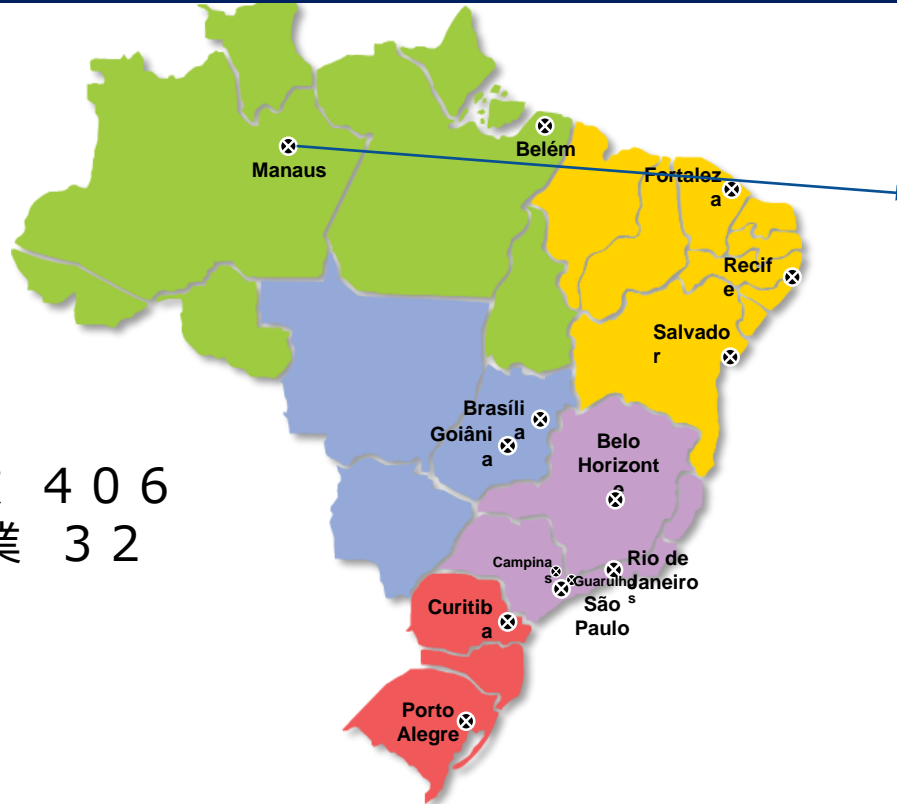
	改善	維持	悪化	合計
19年 展望	9	5	0	14
(%)	64%	36%	0%	100%

<サマリー>

- 18年回顧は、トラックストライキ、レアル安、大統領選により需要回復は停滞するも、主に自社努力により、アンケート回答企業すべてが対前年比売上プラス成長を達成
- 19年展望は、新政権の経済政策および緩やかな需要回復期待からアンケート回答企業すべてが18年比売上プラス成長を見込む
- 売上プラス成長を継続維持するために、各社とも販売施策をより強化
- 一方で、重要改革政策の遂行能力、金利および為替動向等のリスクに備えるため、各社とも事業体質や資産管理の強化には引き続き注力

マナウスフリーゾーン (ZFM) について

ZFMの制定の目的は、地域開発と国家保安の確立



進出企業数 406
うち日本企業 32

1°	SP	São Paulo	11.895.893
2°	RJ	Rio de Janeiro	6.453.682
3°	BA	Salvador	2.902.927
4°	DF	Brasília	2.852.372
5°	CE	Fortaleza	2.571.896
6°	MG	Belo Horizonte	2.491.109
7°	AM	Manaus	2.020.301
8°	PR	Curitiba	1.864.416
9°	PE	Recife	1.608.488
10°	RS	Porto Alegre	1.472.482
11°	PA	Belém	1.432.844
12°	GO	Goiânia	1.412.364
13°	SP	Guarulhos	1.312.197
14°	SP	Campinas	1.154.617
15°	MA	São Luís	1.064.197
16°	RJ	São Gonçalo	1.031.903
17°	AL	Maceió	1.005.319
18°	RJ	Duque de Caxias	878.402
19°	RN	Natal	862.044
20°	MS	Campo Grande	843.120
21°	PI	Teresina	840.600
22°	SP	São Bernardo do Campo	811.489
23°	RJ	Nova Iguaçu	806.177
24°	PB	João Pessoa	780.738
25°	SP	Santo André	707.613
TOTAL 25 MAIORES			51.077.190
TOTAL BRASIL			202.768.562
% TOTAL BRASIL			25,2%

1967年2月28日付大統領令288号にてマナウス・フリーゾーンの設定を発令
2014年の憲法改定法でさらに50年延長され、税制恩典は2073年までとなる。

野口総領事 マナウス地区会員企業訪問

2019年2月21日（木）



Panasonic Brasil社 Manaus工場



Sony Brasil社 Manaus工場

マナウス地域の税制恩典

- 法人税 25%減免
- 工業製品税 (IPI) 100%免除
- ICMS 55%～100%減免
- 輸入関税 (原材料) 88%減免
- PIS/COFINS 3.65%まで減免

マナウス経済特区における生産高・業種別比率・従業員数・輸入/輸出高

Nominal revenue

FATURAMENTO NOMINAL ANUAL DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – PIM
Em Bilhões – Jan a Set 2010 a 2018 (*)

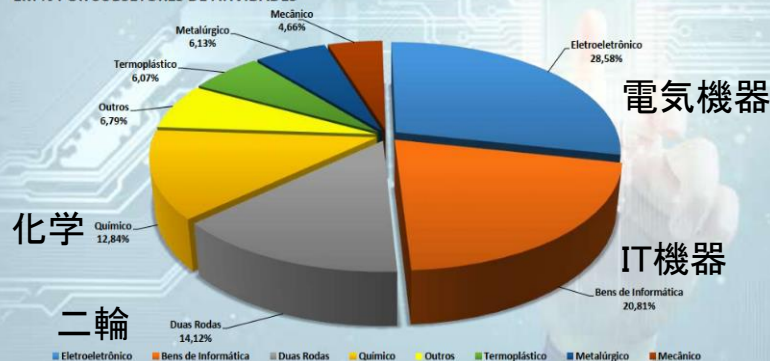


(*) Até Setembro – Dados Parciais
Fonte: COISE/CGPRO/SAP – SUFRAMA
Disponível em: Indicadores de Desempenho do Polo Industrial de Manaus.
Publicação Atualizada até 22/11/2018.

Destaque para o resultado de Jan a Set de 2018 em (R\$), melhor desempenho entre os últimos 8 anos.

% Participation per setor

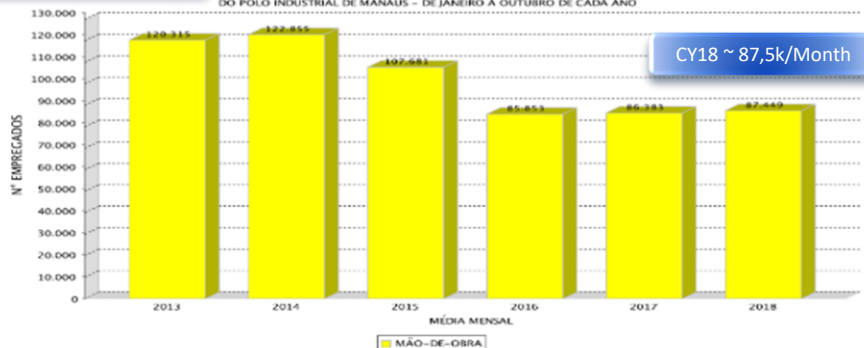
PARTICIPAÇÃO DO FATURAMENTO NOMINAL – Período Setembro/2018 – PIM
EM % POR SUBSETORES DE ATIVIDADES



(*) Até Setembro – Dados Parciais
Fonte: COISE/CGPRO/SAP – SUFRAMA
Disponível em: Indicadores de Desempenho do Polo Industrial de Manaus. Publicação Atualizada até 22/11/2018.

Job positions

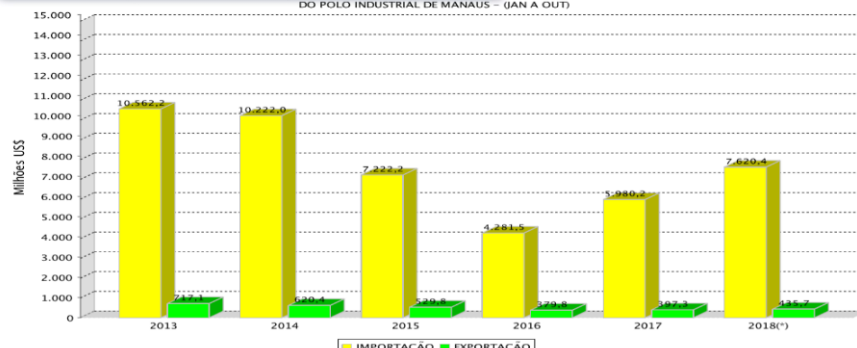
COMPARATIVO DA EVOLUÇÃO DA MÃO-DE-OBRA
DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – DE JANEIRO A OUTUBRO DE CADA ANO



CY18 ~ 87,5k/Month

Imp. X Exp. CY18: U\$ 7.6 Bn X 0,44 Bn

EXPORTAÇÃO X IMPORTAÇÃO
DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – (JAN A OUT)



マナウスフリーゾーンの課題

- 年々厳しくなる現地調達ルール
 - 現地サプライヤーが僅少。現地調達品は輸入品と比較して高価かつ低品質。
結果として税制恩典の一部を相殺してしまっている
- 現状のサプライチェーンにそぐわない現地組立ルール
 - 現状のサプライチェーンでは、部品サプライヤーがモジュール化したものを（複数部品を組み立てしブロック化したもの）セットメーカーに納入するのが一般的
 - マナウスフリーゾーンでは、モジュールではなく最小単位レベルでの部品毎の現地購買及び組立がマストで結果としてサプライチェーンが煩雑になり、高コスト化を招いている
- 税制恩典の不安定さ
 - 度重なる制度変更（税込アップを目的とした変更）によりオペレーションが不安定かつ複雑で先が読みにくい。

商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

日本・メルコスールEPA締結推進（特に欧メルコスールEPAに劣後しないこと）

官民一体となった新政権との関係構築

⇒中国によるアグレッシブな攻勢

⇒商工会議所を通じたAll Japan連携（五輪と連携した日本の技術展、日本の省エネ技術紹介セミナーなど）

マナウスの税制恩典ルールの適正かつ公平な適用

ご静聴、ありがとうございました。

食品 部会

黒崎 正吉 部会長

Departamento de Gêneros Alimentícios

Presidente: Masayoshi Kurosaki

2018年の回顧と2019年の展望

『成長への期待、変化への対応』

2019年2月28日(木)

食品部会

1. 食品部会会員企業

2. 市場及び会員企業状況

- (1) 食品業界全体動向
- (2) セグメント別動向及び会員企業状況
- (3) これからのキーワード

3. 副題『成長への期待、変化への対応』

2018年の成果と、2019年に向けたチャレンジ

- (1) 3つの戦い
 - 1)競合 2)時間 3)固定概念
- (2) リスクマネジメントの強化

1. 食品部会会員企業

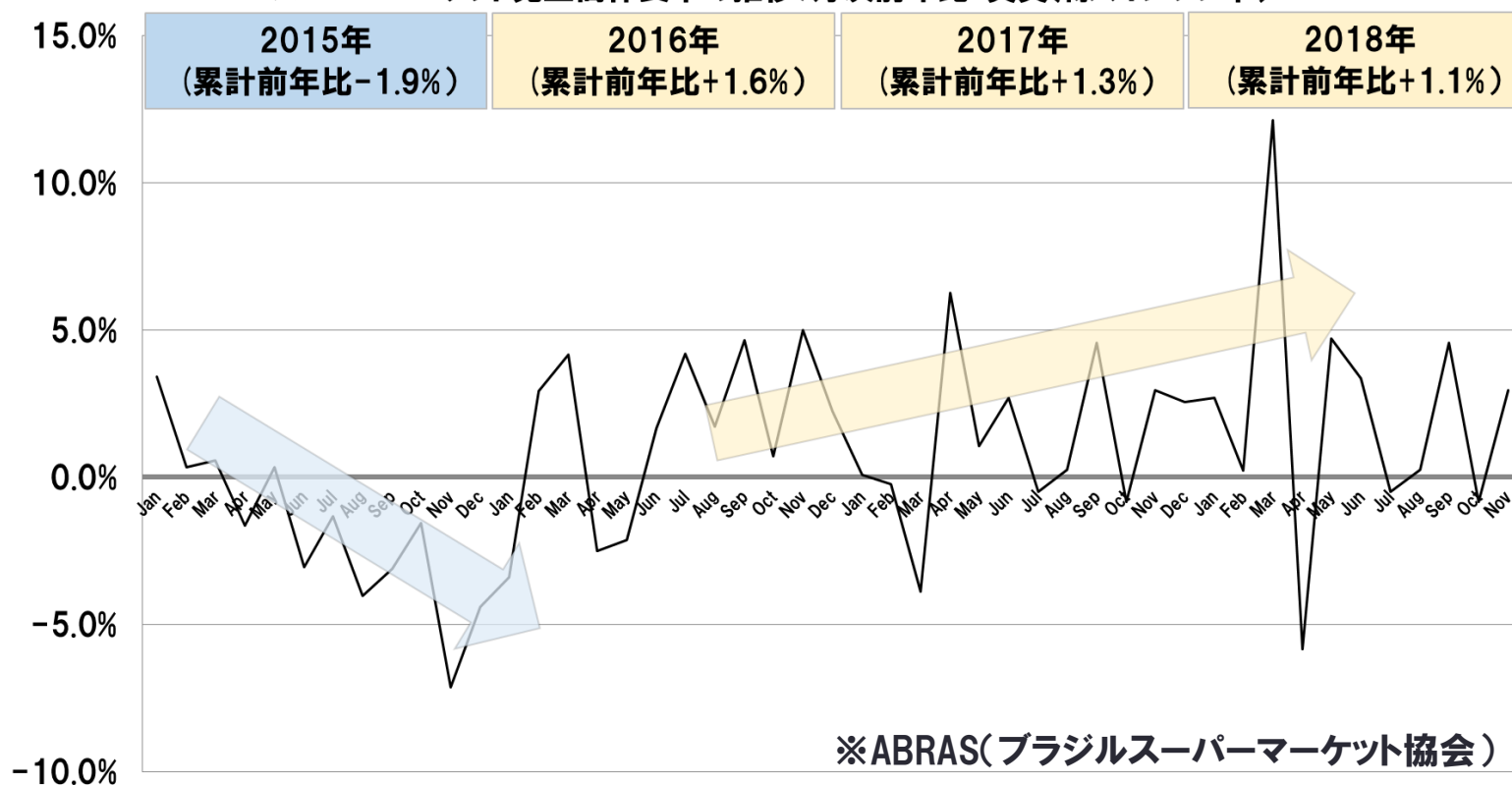
食品部会

会員企業（主登録 18社）	会員企業（サブ登録 41社）	
Ajinomoto do Brasil	Ebara Bombas América do Sul	Honda Teixeira, Araújo, Rocha Advogados
Azuma Kirin	Jetro, São Paulo	Itochu Brasil
Companhia Iguaçú	Mitsui Chemicals do Brasil	JICA (Escritório Anexo Consul.Japão)
Harald Alimentos	Nagase do Brasil	Kanematsu América do Sul
JFC Brasil	Takasago Fragrâncias e Aromas	Kisco do Brasil
JTI Tabaco do Brasil	Abe, Rocha Neto, Taparelli e Garcez Advogados	Marubeni Brasil
Kikkoman	A.C. Morad Sociedade de Advogados	Matsuka Advogados
Maksoud Plaza (HM Hotéis)	Adeka Brasil	Mitsubishi Corporation do Brasil
Mitsui Alimentos	Assessoria Técnica Atena (Newland Chase)	Miura Boiler do Brasil
MN Própolis	Azbil do Brasil	Okaya do Brasil
NH Foods do Brasil	Banco Mizuho do Brasil	Porto do Açú Operações
Niagro-Nichirei do Brasil	Banco MUFG Brasil	Rakki Comércio de Veículos
Nissin Foods do Brasil	Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro	Saeki Advogados
Supermercado Hirota	BDO RCS Auditores Independentes	Sandia do Brasil
Takii do Brasil	Be One Solutions Brazil	Sato Auto-ID do Brasil
Yakult	BBBR Empresarial	Sociedade Coml. Toyota Tsusho
Yamato Comercial	Comexport	Souto Correa Advogados
Zensho do Brasil	Fator Assessoria e Consultoria (Sato & Maia)	Ueno Profit Assessoria
	Franca Feiras e Empreendimentos	United Airlines
	Gohara Negócios Imobiliários	ZEN-NOH Grain Brasil Holdings

2. 市場及び会員企業状況（1）市場概況

- > 小売市場全体は、2016年以降緩やかながら回復基調が継続。
一般のスーパーは落ちているが、キャッシュ&キャリア（相対的に店頭価格の低い大型業務用スーパー）が伸長（各社調査より）し、全体を押し上げている。
また、消費者の低価格志向が強まっている。
- > 外食市場は安定して拡大傾向続く。*出典ABIA; Associação Brasileira das Indústrias da Alimentação

スーパーマーケット売上高伸長率の推移：月次前年比・実質（除くインフレ率）



2. 市場及び会員企業状況（2）セグメント別動向及び会員企業状況

- > 2018年上期はトラックストの影響等で景気の不透明感が増した。
また、大幅な為替変動が各社業績に大きな影響を与えた。（ポジ、ネガ双方）。
- > 大統領選後は市場が新政権を好意的に受け止め、消費も好転しつつある。

業種	2018年 市場動向	2018年 会員企業状況
調味料	家庭用市場はキャッシュ&キャリーが全体を押し上げ微増。外食市場は伸長継続。	4-3月期で売上は前年比109%、各主要製品群でシェアアップ。
しょうゆ	輸入しょうゆは輸入コスト等に加え流通マージンが高く、現地メーカー品との価格差から厳しい状況が継続。	これまでの輸入ビジネスに加え、現地加工の液体調味料の販売を開始、新たな顧客層を獲得。
酒類	清酒市場は数%の成長と推測。一方で景気不透明感から顧客の低価格志向も継続。	競合多い低価格清酒市場に競争力ある改訂品を投入。一方で清酒への関心高い顧客からは高価格品の引き合いも増加。
コーヒー	豊作による生豆価格下落により競争は激化も、国内市場は103%で拡大。輸出インスタントコーヒーも国際競争力を維持。	高付加価値製品ラインを強化し、商品ポートフォリオの進化を進めた。一方、租税還付の遅延等への対策は引き続き課題。
チョコレート	景気低迷の影響を受け、2013年のピーク時以降は数量ベースで減少が続くも、2018年末より好転の兆し。	自社油脂技術を活かしたチョコソース類の開発と市場開拓を進めた。為替変動の為、原料買付タイミングには苦慮。

2. 市場及び会員企業状況（2）セグメント別動向及び会員企業状況

業種	2018年 市場動向	2018年 会員企業状況
即席麺	総需要は、キャッシュ&キャリーが全体を押し上げ数量ベースで対前年微増。	カップ製品の貢献もあり、金額シェアは過去最高を更新中。一方で小麦粉価格高騰や物流費上昇があり、二度の値上げ対応を実施。
食肉	鶏肉生産量はトラックスト等の影響で調整が行われ、対前年微減。	従来の日本向け鶏肉に加え、グループの他海外拠点への鶏・豚肉輸出を開始。国内販売も原料肉や冷凍唐揚げ等が伸長。魚類の輸出にもトライアル。
乳酸菌飲料	(独自カテゴリー、かつ他社も公表していないため、未評価)	主力3品の商品コンセプトに基づくターゲット顧客向け販促を展開。消費者への「プロバイオティクス」概念の普及活動も継続。
香料、食品添加剤	前年に比し、好転の兆し。また健康志向ニーズに応じた新たな開発機会増。	日本企業としてのイメージ活用したプロモーション、現地パートナーや研究機関との協業により、現地固有ニーズへの対応力強化等。
関連業種	アセロラ果汁)天然ビタミンC源としての需要が伸長。 産業機械)新規設備投資や省エネ目的の設備更新等、需要は堅調。 農薬)回復傾向。 種子)回復までまだ時間を要す見込み。	アセロラ果汁)収量確保、市場成長もあり増収。 産業機械)買収会社との統合による製品の相互補完の実現。 農薬)当局の認可遅延により新製品投入の遅れ。 種子)売上前年比109%。新品種投入効果も。

2. 市場及び会員企業状況（3）これからのキーワード

<市場の今後のポイント>

- 1) 景気全体は回復基調にあり、新大統領就任も市場は歓迎ムード。
急激な成長は見込めないが、緩やかな成長は期待できる。
- 2) 一方、未だ先行きに不透明感が残ることも事実。
 - ①レアル相場の変動
 - ②表示規制や税制の変更
 - ③トラック運賃の値上げやストライキの再発企業として、不測の事態に備えたリスク対応は必須。
- 3) また、ライフスタイルの変化に伴い、消費者ニーズにも新たな変化。
 - ①低価格志向の強まり
 - ②高付加価値や品質へのこだわり
 - ③デジタルツールの普及と多様化

2. 市場及び会員企業状況 (3) これからのキーワード

副題 『成長への期待、変化への対応』を踏まえ、<これからのキーワード>は？

(1) 3つの戦い

1) 競合との戦い

- ①消費者ニーズの掘り起こし
- ②スペシャリティーによる差別化
- ③価格戦略(プライシング)

2) 時間との戦い(スピードとタイミング)

- ①製品・サービス開発のスピードアップ
- ②変化への迅速な対応
- ③成長の機会を逃さない

3) 固定概念(既成概念)との戦い

- ①既存ビジネスモデルの強化と革新
- ②新たな製品・事業ポートフォリオの進化
- ③デジタルトランスフォーメーション

(2) リスクマネジメントの強化

3. 副題 『成長への期待、変化への対応』

食品部会

(1) 3つの戦い

1) 競合との戦い

<会員企業での事例>

酒類
(アズマキリン)

低価格帯清酒の大幅なリニューアル
競合に対し価格でミートしつつ、
圧倒的な品質差異を実現。
これまでの高価格帯と両輪で市場開拓。

伝統の
パイオニア。
先駆者
であれ。



醤油
(キッコマン)

液体調味料開発(新概念・現地嗜好)と
「密封ボトル」商品(高付加価値)の輸入販売
現地消費者の味覚・嗜好に合わせて開発した、
新たなコンセプトの液体調味料にチャレンジ。
また、醤油の鮮度を維持する、優位性のある
「密封ボトル」を日本より輸入開始し、
高付加価値アイテムでの取り組みも強化する。



3. 副題『成長への期待、変化への対応』

(1) 3つの戦い

1) 競合との戦い

<会員企業での事例>



コーヒー
(三井アリメントス)

グルメコーヒー・カプセルコーヒーの拡充
既存ブランドに加え、より高級・高品質を重視する
消費者トレンドを捉え、製品ラインナップを拡充・強化。

チョコレート
(ハラルド)

チョコレートソース
強みである油脂技術を活かし、
ブラジル人の食生活(Pizza Doce等)
への展開を目指す。



3. 副題 『成長への期待、変化への対応』

(1) 3つの戦い

1) 競合との戦い

<会員企業での事例>

乳酸菌飲料
(ヤクルト)

プロバイオティクス普及の取り組み
健康教室や工場見学を通じて、
自社製品の効果や品質に対する
理解を深め、競合との差別化を図る。



食肉
(NHフーズ)

牛肉生産事業の強化
ウルグアイに拠点を移し、南米のリソースを集中。
欧州及び米国の巨大市場に加え、食糧需要が急増する
アジア市場に食肉を供給。海外売上の拡大加速を目指す。

3. 副題『成長への期待、変化への対応』

(1) 3つの戦い

2) 時間との戦い

<会員企業での事例>

- | | |
|-----------------|---|
| 乳酸菌飲料
(ヤクルト) | IT技術を駆使し、現場情報をタイムリーに把握、的確な対応の即時実行に繋げる。
(ヤクルトレディによる電子伝票の活用) |
| 食肉
(NHフーズ) | 登録済み製品群の範囲を逸脱しないよう工夫し、登録時間を短縮、製品開発のスピードアップを実現。 |
| 調味料
(味の素) | 激しい環境変化に対応するために、「New Action Plan」という新たな仕組みを導入。課題、リスクを見える化し、タイムリーに対策を実施。 |

3. 副題 『成長への期待、変化への対応』

(1) 3つの戦い

3) 固定概念との戦い

<会員企業での事例>

コーヒー
(イグアスコffee)

IT技術を活用した製造・メンテナンス管理等の進化による更なる製造効率の向上。

調味料
(味の素)

事業横断(食品×アミノ酸)の取り組み
「アミノバイタル®GOLD」のテスト販売を本格化。
(事業ポートフォリオの進化)

粉体にこだわらない新たな形態へのチャレンジと
現地生産に向けたスタディの推進。
また、ブラジルのオリンピック委員会や
柔道協会と連携し、アスリート支援を強化。



(1) 3つの戦い

3) 固定概念との戦い

<会員企業での事例>

即席めん
(日清食品)

即席麺業界のスペックと相容れない乾麺の重量規制に対し、ロビー活動を展開。スープを含む即席麺は対象外とする例外措置を獲得することで業界に貢献。

YouTubeやFacebookを活用したユニークなコミュニケーション戦略を構築。ブラジル人消費者に対し、「これからもお好きなようにラーメンを調理して下さい」とのメッセージをシリーズで展開中。

3. 副題 『成長への期待、変化への対応』

食品部会



(C)NTV

音楽情報サイト hotexpress より
http://www.hotexpress.co.jp/news/110121_sutatan/

3. 副題 『成長への期待、変化への対応』

食品部会



mas vocês descobriram muitas outras formas de preparo.

(2) リスクマネジメントの強化

<会員企業での事例>

1) 為替変動のリスク

⇒ 為替感度を高め、状況を常に分析、臨機応変に対応
(適切な原材料買付や輸出事業のマネジメント等)

2) ブラジル特有のリスク

①トラック運賃の値上げやストライキへの備え

②表示規制や税制変更への備え

⇒ 情報収集や関係官庁との取り組みを強化(受け身からの脱却、勉強会)

3) 将来的な環境変化リスク(基礎体力の強化)

①現場の創意工夫による製造コストダウン

②キャッシュマネジメントの強化

(ROA(Return On Assets)やCCC(Cash Conversion Cycle)等を
指標とした全バリューチェーンでの取り組み)

“Team Japan”として

- ✓ 企業の垣根を越えた、積極的な交流や連携
(食品部会会員企業の工場見学、共通問題に関する情報交換会等)
- ✓ 互いの強みを生かした協業の可能性模索



事業を通じてのブラジル社会・消費者へ貢献
「リスクに十分に備えながら、成長の機会を逃さず、チャレンジ！！」



ありがとうございました。



運輸サービス 部会

吉田 信吾 部会長

Departamento de Transportes e Serviços

Presidente: Shingo Yoshida

運輸サービス部会の対象業界



物流



航空貨物



海運



航空旅客



旅行・ホテル



通信IT



物流

2018年回顧

- 税関ストライキが断続的に発生
- トラック運転手ストライキによる主要幹線道路封鎖、国内、輸出入貨物の遅延発生
- 脆弱なインフラが改めて浮き彫りに（空港貨物ターミナル）
- 税関システム（DU-IMP）導入延期
- コスト削減要請の高まり

トラック運転手ストライキ後の混雑状況@ビラコpos空港輸出ターミナル（2018年6月29日撮影）



2019年展望

- 待遇完全を求めるストライキ（税関、厚生省、農務省、港湾労働者等）の発生が懸念事項
- 経済の伸張とともに、輸出入貨物の増加に期待
- ANVISA、MAPAのプロセス改善
- 税関システム（DU-IMP）の早期導入
- 空港、港湾インフラ整備促進 別表：空港・港へのインフラ投資額推移（2007-2018年）
- 2020年1月に規制開始の「船舶SOx規制」に向けた対応

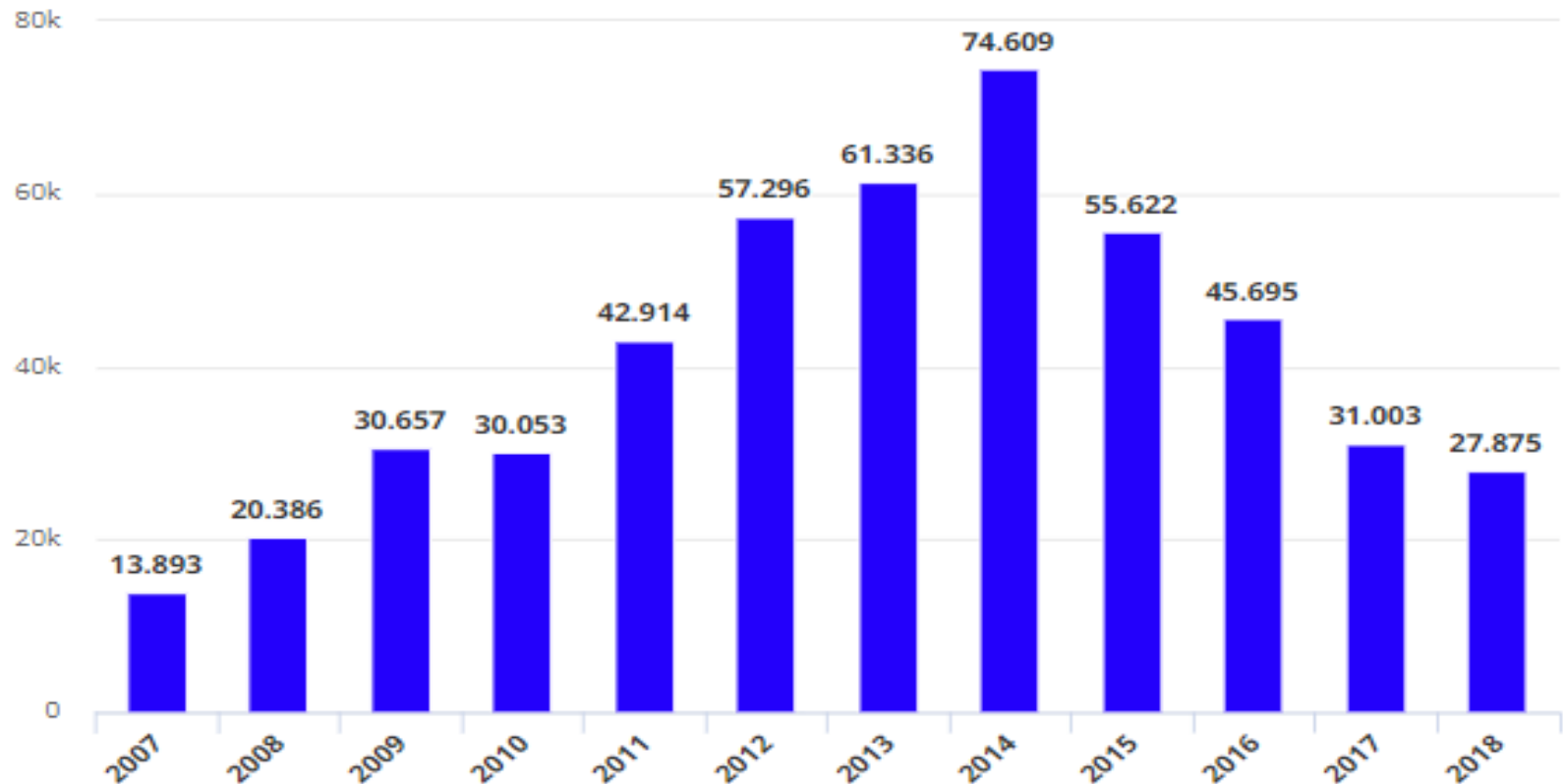
運輸サービス部会 2018年の回顧と2019年の展望

空港・港へのインフラ投資金額 : Infraestrutura Aeroporto & Porto

2018年度投資金額・ Investimento em 2018: R\$ 27,875 bilhões ou 0,4% do PIB

INVESTIMENTOS DO GOVERNO EM INFRAESTRUTURA

EM R\$ BILHÕES (VALORES CORRIGIDOS PELO IPCA)





海運

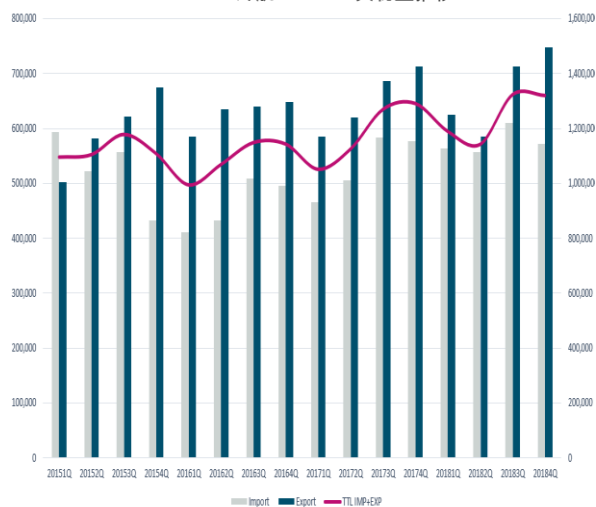
2018年回顧

- ◆ コンテナ船 - 世界的には相次ぐ大型コンテナ船就航により需給が緩むも、ブラジルに関しては輸出入とも堅調であった。燃料油の高騰がコスト増に大きなインパクトを与えた。
- ◆ その他 - ドライバルク（鉄鉱石、大豆等）市況は堅調に推移するも年末にかけて中国景気減速の影響を受け軟化傾向。自動車船は亜国の経済危機を主因に輸出量が第三四半期より大幅減、一方で輸入量は国内市場回復により増加基調となる。

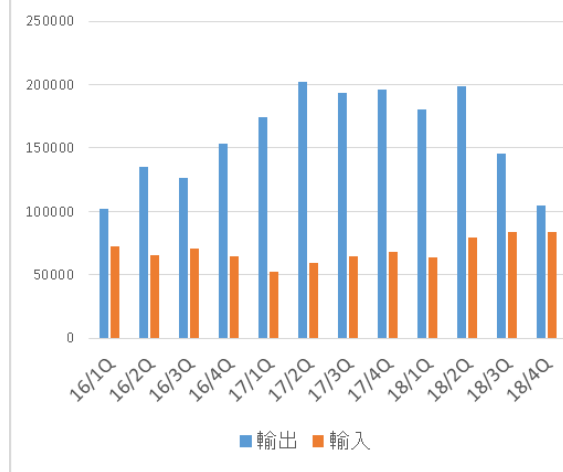
2019年展望

- ◆ コンテナ船 - 大型コンテナ船の就航はひと息つくも、中国経済の減速・米中貿易戦争の行方・英国のEU離脱など不安定な世界経済の影響を受ける可能性あり。
- ◆ その他 - ドライバルクは中国の景気動向と、ブラジルの鉱業用ダム決壊事故による鉄鉱石生産減への影響を注視。自動車船は亜国需要動向を引き続き注視。
- ◆ 2020年1月発効のIMO（国際海事機関）による船舶のSOx（硫黄酸化物）規制対応の為に低硫黄燃料への切り替え準備が開始され、コスト増が予想される。

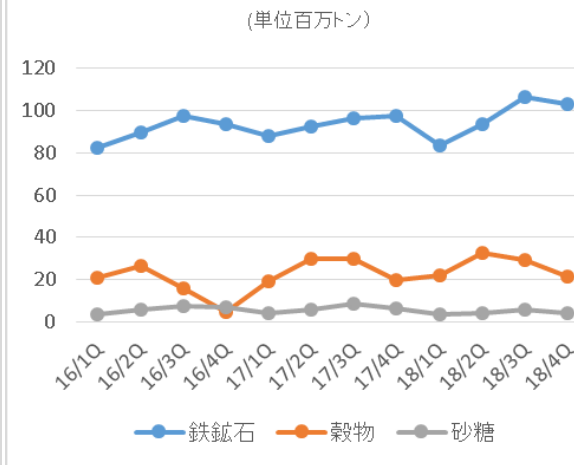
ブラジル外航コンテナ貨物量推移



ブラジル完成車 輸出入台数推移



ブラジルばら積み主要貨物輸出入量推移

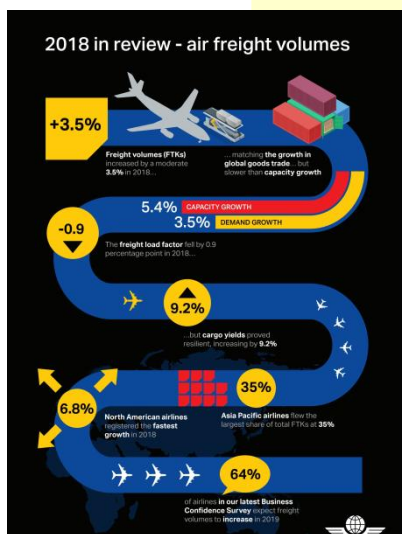




航空貨物

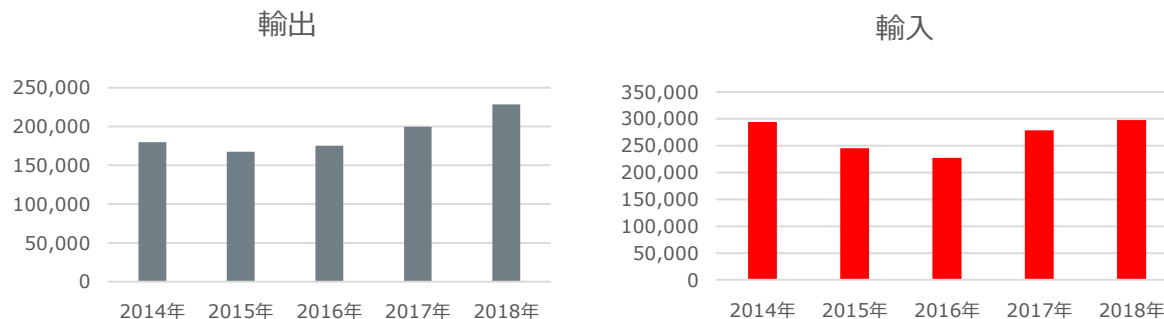
2018年回顧

- 世界の動向：業界全体のFTK（貨物トンキロ）は、3.5%伸張、2017年度の9.7%と比較し鈍化
- 米州の動向：2018年後半は軟調に推移したものの、年を通じて好調、3.1%の伸張
- 南米の動向：この地域の政治的及び経済的な不確実性にもかかわらず好調、年初より20%伸張
- ブラジルの動向：
 - トラック運転手ストライキにより航空貨物需要が増加
 - ブラジル主要空港（GRU、VCP）取扱量は大幅増
 - 空港キャパシティ超過による輸出貨物搬入制限実施に伴い出荷遅延発生



(数値出典元：IATA Statics)

<GRU & VCP空港 航空貨物輸出入取扱数量 単位トン>



(数値出典元：GRU AIRPORT CARGO,VCP AEROPORT ,INFRAEO CARGO)

2019年展望

- 航空貨物需要の伸張は継続：3.7%の伸張見込み（全世界）
- 英国のEU離脱に伴う生産移管、在庫補充に伴う航空貨物需要増
- 米中貿易摩擦による、中国-ブラジル間の荷動き増による航空貨物需要増
- 航空運賃の上昇（輸出入貨物のインバランスによる）
- 原油価格上昇による燃油費上昇

2018年回顧



- 搭乗旅客数 *ブラジルの航空会社合計（民間航空庁/ANACデータ）
内線+国際線旅客数：1億300万人（17年9890万人）+4.1%
国内線： 9360万人（17年9360万人）+3.3%
国際線： 940万人（17年8400万人）+11.9%
- ブラジルの航空会社の国際便搭乗客数12月は、00年に統計開始以来、史上最多

ただ実際 現場で起こっていることは...

- アビアンカ航空12月民事再生手続き、AA RIO=NYC線運休、南米線は機材が古い等々...
また、マーケット情報によると他にも南米線で苦境に陥っている航空会社があるとも
... どうして、こうなるのか？ そこには南米特有の構造的問題が...
- コスト → 毎年上がる
- 運賃 → 競争にさらされ上げられない
- サービス → コストUP分は、機材費やお客様のサービス等からカットするしかない。

2019年展望

- 航空会社の“LCC化” * 料金バリエーションを細分化しサービスを一部有料化
- ① 座席指定有料化 ② 荷物許容量 ◆ 国内例：LATAM、GOLはYクラス荷物許容ゼロ。
- ◆ 国際例：LH 1/23kg(Y)2/32kg(C) ⇔ 差 ⇔ AA/JL 組合せ 2/23kg(Y)3/32kg(C)
- ボンソナー口政権への景気回復期待 ⇒ 需要増 ⇒ 便混雑 ⇒ 単価UP ⇒ 路線収支改善
- 安売りを追いかけて、高単価の顧客層に絞り込み、高い価値を買っていただく。
- 現地通貨決裁の自社カード開発。自社web展開等、値段以外の部分で価値を創出。

旅行・ホテル業界

2018年回顧

	2017年(1~3四半期)		2018年(1~3四半期)		比較	
	売上高 (千)	発券枚数	売上高 (千)	発券枚数	売上高	発券枚数
国内線航空券	R\$ 2,582,416	4,310,711	R\$ 2,890,138	4,438,635	+ 11.9%	+ 3.0%
国際線航空券	R\$ 2,025,999	521,244	R\$ 2,181,506	574,538	+ 7.6%	+ 10.2%
ホテル	稼働率	平均宿泊費	稼働率	平均宿泊費	稼働率	平均宿泊費
	65%	R\$293.42	68%	R\$314.17	+ 4.6%	+ 7.1%

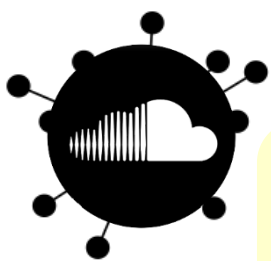
2019年展望

出展: ABRACORP & FOHB

- 観光が新政権の優先課題の一つ
- 景気回復に伴うドル安レアル高への期待
- 日本からブラジルへのインバウンドは停滞気味
- ブラジルから日本へのアウトバウンドへの期待
- インターネットによるオンライン販売 (BtoC)
- 北米メガ代理店によるグローバル化
- 個人向けツアー

トピックス

- AVIANCA航空が破綻。会社更生法の適用を申請。
- ボルソナーロ大統領が日本人に対する観光ビザ免除を優先課題として検討。



2018年回顧

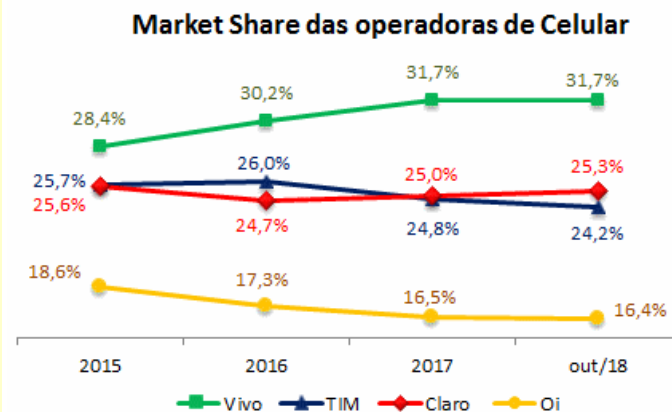
- 4G(LTE)契約は2G/3Gからの移行が進み約2,755万増加し、全体の57% (表A)
- IoT契約数が順調に増加 (対前年+21%) し、全体の9% (表A)
- マーケットシェア (2018年10月) : VIVO32%、Claro25%、TIM24%、OI16% (表B)

(表A)携帯電話・モバイル契約者数

項目	2018年末 [単位: 万]	前年比
携帯電話契約数 (全体)	22,921 (100%)	▲3%
4G (LTE)	12,984 (57%)	+27%
3G	5,237 (23%)	▲37%
2G	2,534 (11%)	▲23%
IoT (データカード含む)	2,215 (9%)	+21%

【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

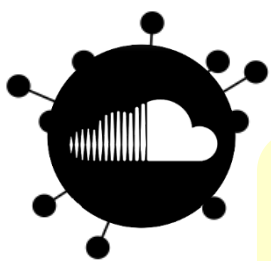
(表B)モバイルのマーケットシェア



【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2019年展望

- 2018年中に認可予定だった、LPWA(Low Power Wide Area) の認可が遅れており、今後の予定も不透明。
- 通信コストの低減から引き続きIoT分野での成長が見込まれる。
- 5Gオークション準備開始。当初予想より遅れ2019年末~2020年初頭がターゲット



2018年回顧

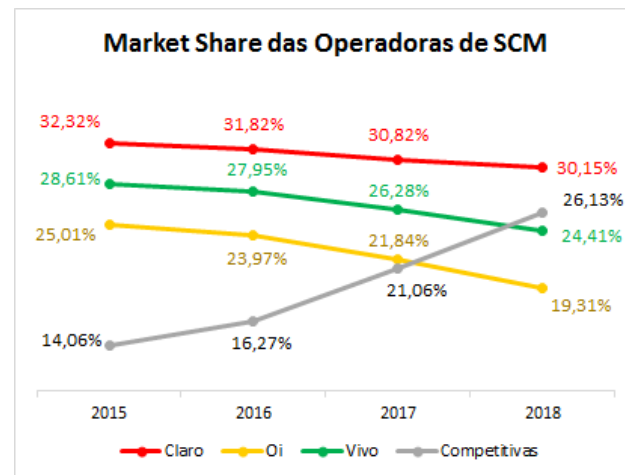
- 都市部を中心に光化が進み、高速・広帯域インターネットサービスの利用者が増加。
- インターネット普及率（2018年6月）：70.7%（1億4905万ユーザ）（表C）
- マーケットシェア（2018年12月）：NET30.15%、Vivo24.41%、OI19.31%（表D）

(表C) 南米各国のインターネット普及率

順位	国名	総人口辺りの普及率	合計ユーザ数
1	アルゼンチン	93.1%	41,586,960
2	パラグアイ	89.6%	6,177,748
3	ウルグアイ	88.2%	3,059,727
4	エクアドル	79.9%	13,476,687
5	ボリビア	78.6%	8,817,749
6	チリ	77.5%	14,108,392
7	ブラジル	70.7%	149,057,635
参考	日本	93.3%	118,626,672
参考	アメリカ	95.6%	312,322,257

【出典】 IWS HP <http://www.internetworldstats.com/>

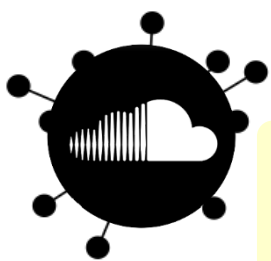
(表D) ブロードバンドのマーケットシェア



【出典】 Teleco HP <http://www.teleco.com.br>

2019年展望

- 昨年同様に光ファイバ網のエリア拡大や、通信品質の改善が期待される。
- 個人及びビジネスにおけるインターネットの利用が増加することによる通信帯域の圧迫など、通信品質の低下が懸念される。



通信IT
IT業界全般

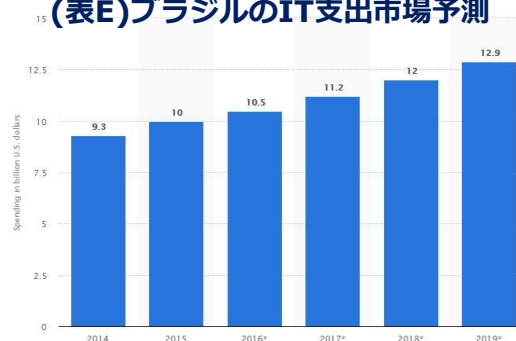
2018年回顧

- IT投資（ITインフラの更改・改善、クラウドサービスの利用、セキュリティの強化、ネットワークサービスの増速、IT運用の改善等）を計画・検討。
- IT管理の複雑化やシステム自体の高度化により、IT管理者向けのサポートの需要が増加。
- レベルの高いITエンジニアの確保や、高品質かつ高帯域の通信回線の確保が課題。

2019年展望

- ITインフラの強化及びインターネット提供エリアの拡大が期待される。
- ビジネス拡大に向けたIT投資の再開及び増強が見込まれる。（表E）
- クラウドサービスやITアウトソーシングなどの需要は継続して増える見込み。
- Windows7/2008のサポート終了によるPC/サーバ更改の需要増加が想定される。

(表E)ブラジルのIT支出市場予測



【出典】 statista HP <https://www.statista.com>

「成長への期待、変化への対応」

	成長により起こり得る現象	対 応
物流	(+) 経済慎重に伴う輸出入貨物の増加 (+) eコマースの拡大 (-) インフラの脆弱さが改めて露呈 (-) 政治改革への反発に伴うストライキ	ブラジル物流インフラの拡充に期待 = ボルソナーロ政権の政権運営に期待 Portal Unico - 輸入(DU-Imp)は年末導入見通し
海運	コンテナ：(+) 自動車輸送：(+) バルク：(-)	⇒ 日系キャリアとしての強み発揮 ⇒ 変化に対応したサービス改変 ⇒ 中国経済次第 サービスの均質化が進むコンテナ業界では、日系製造業を意識した日本船社のきめ細かいサービスで差別化を図る。ブラジル関連のビジネスは緩やかな回復途上にあるが、中国・アルゼンチンの動向やIMOによるSOx規制などの外的な懸念材料もあり、変化に機敏に対応することが求められる。
航空貨物	成長継続 米中貿易摩擦によるブラジル-中国間の荷動き増による航空需要増に期待 輸出入貨物のインバランスによる運賃の上昇を懸念	Outbound貨物の運賃負担力の高い工業製品がブラジルで造られることに期待

「成長への期待、変化への対応」

	成長により起こり得る現象	対 応
航空 旅客	景気回復による好循環 景気回復⇒航空機需要増⇒便混雑 ⇒単価UP⇒航空会社の収支改善。	戦略の絞込み： 高単価の顧客層への高品質サービス提供 現地通貨決裁の自社カードの開発 現地で購入可能な自社Webの開発
旅行 ホテル	ドル安レアル高による海外旅行者増 販売の成長 ボルソナー口新政権による観光促進 (日・米・加・豪に対する観光ビザ免 除も検討)	(木) 設備投資 (代) お客様のニーズに適った商品の提 供とその為の豊富な知識と経験の獲得 * 2019は連休少なく短期間のパック増が見込まれる
IT 通信	IoT分野の成長 - インフラの公共投資はIoT技術を活用し た遠隔監視と相性がよくスマートシティ向 けのIoTソリューションの普及の加速が期 待できる。	(2018年に引き続き) レベルの高いITエンジニアの確保 高品質且つ広帯域の通信回線の確保 - ブラジルはテクノロジーのキャッチアップが 遅い為、コストと最新技術動向の見極めがソ リューション提供上、非常に重要

生活産業部会
(建設・不動産／繊維部会)

今川 尚彦 部会長

Departamento de Bens Básicos

Presidente: Naohiko Imagawa

生活産業部会（建設・不動産/繊維）

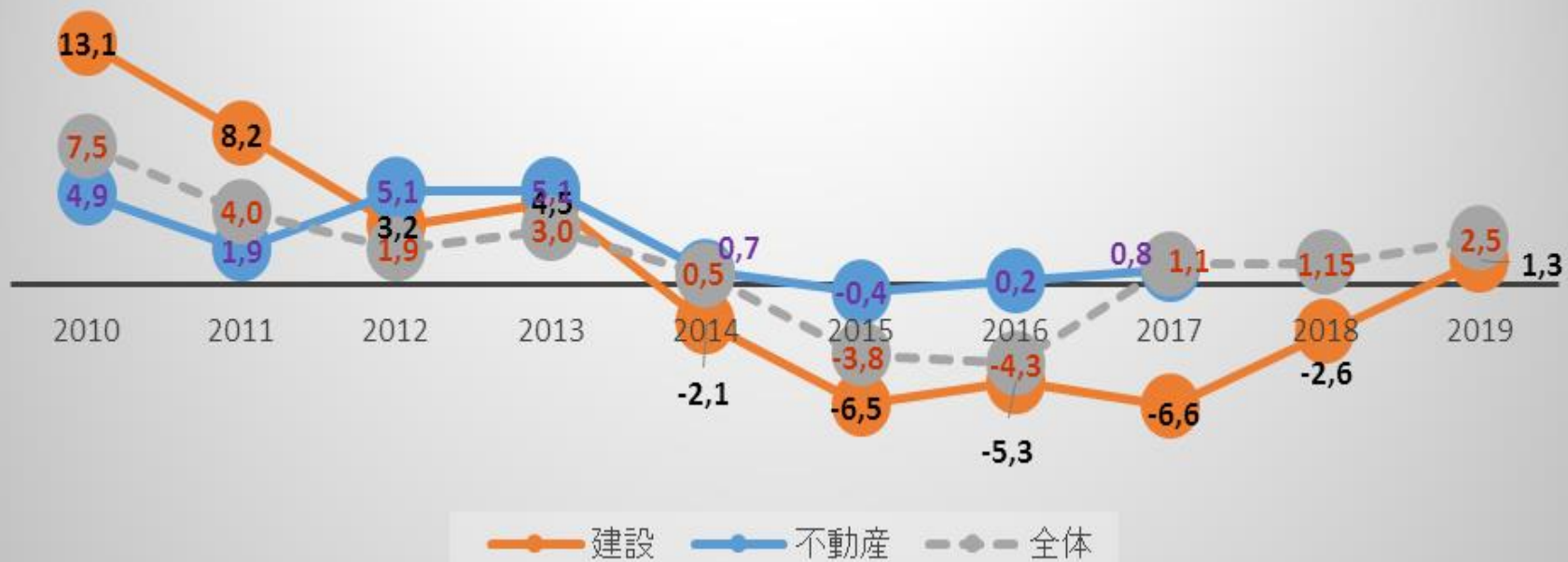
2018年の回顧と2019年の展望

～成長への期待・変化への対応～

1. 建設・不動産業界の概況
2. 繊維業界の概況
3. 生活産業部会の取り組み

1. 市場の概況（建設・不動産）

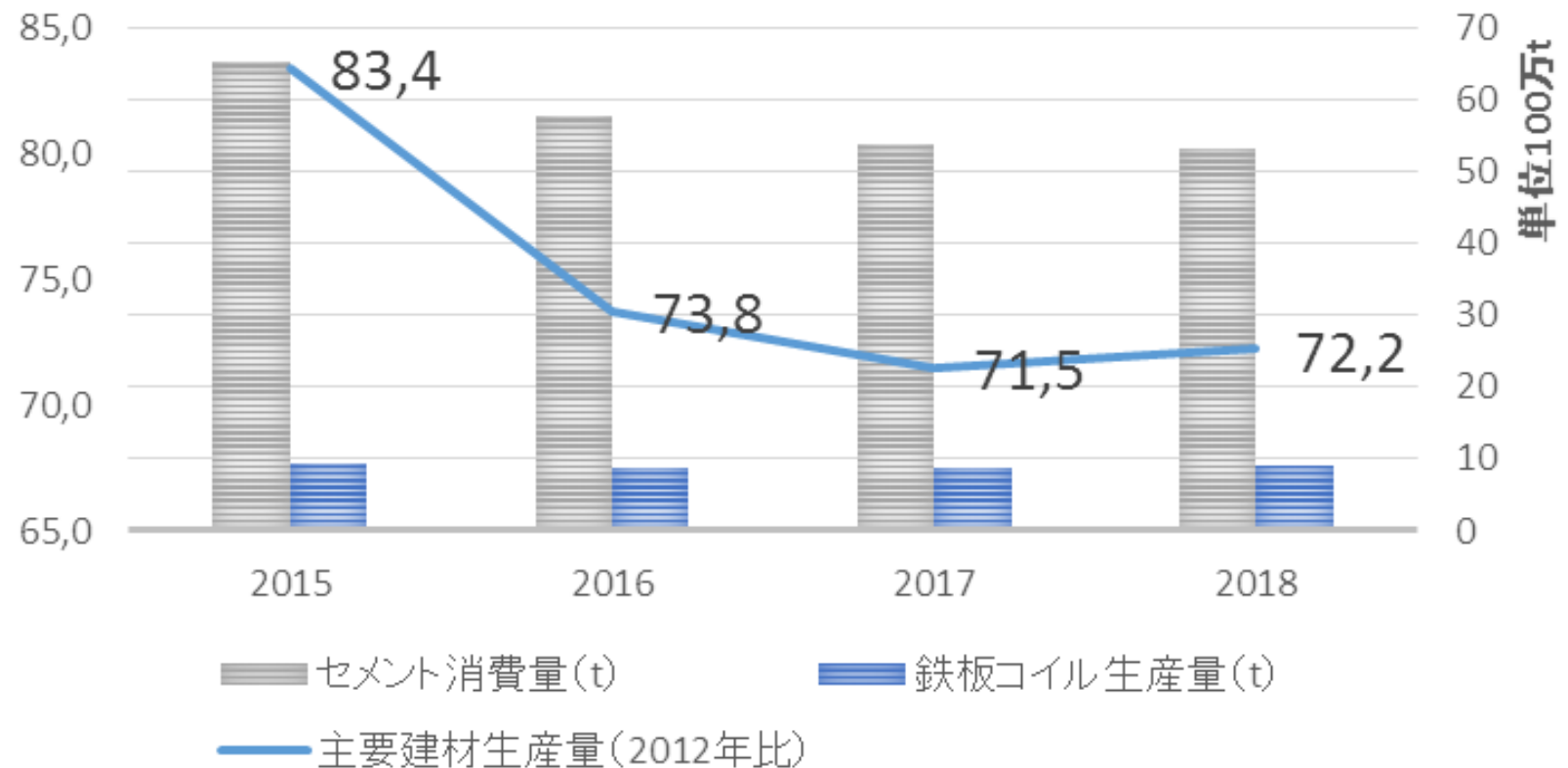
実質GDP成長率(%)



出典：IBGE (*予測)

1. 市場の概況（建設）

主要建材生産量



(出典：CBIC)

1. 市場の概況（建設）

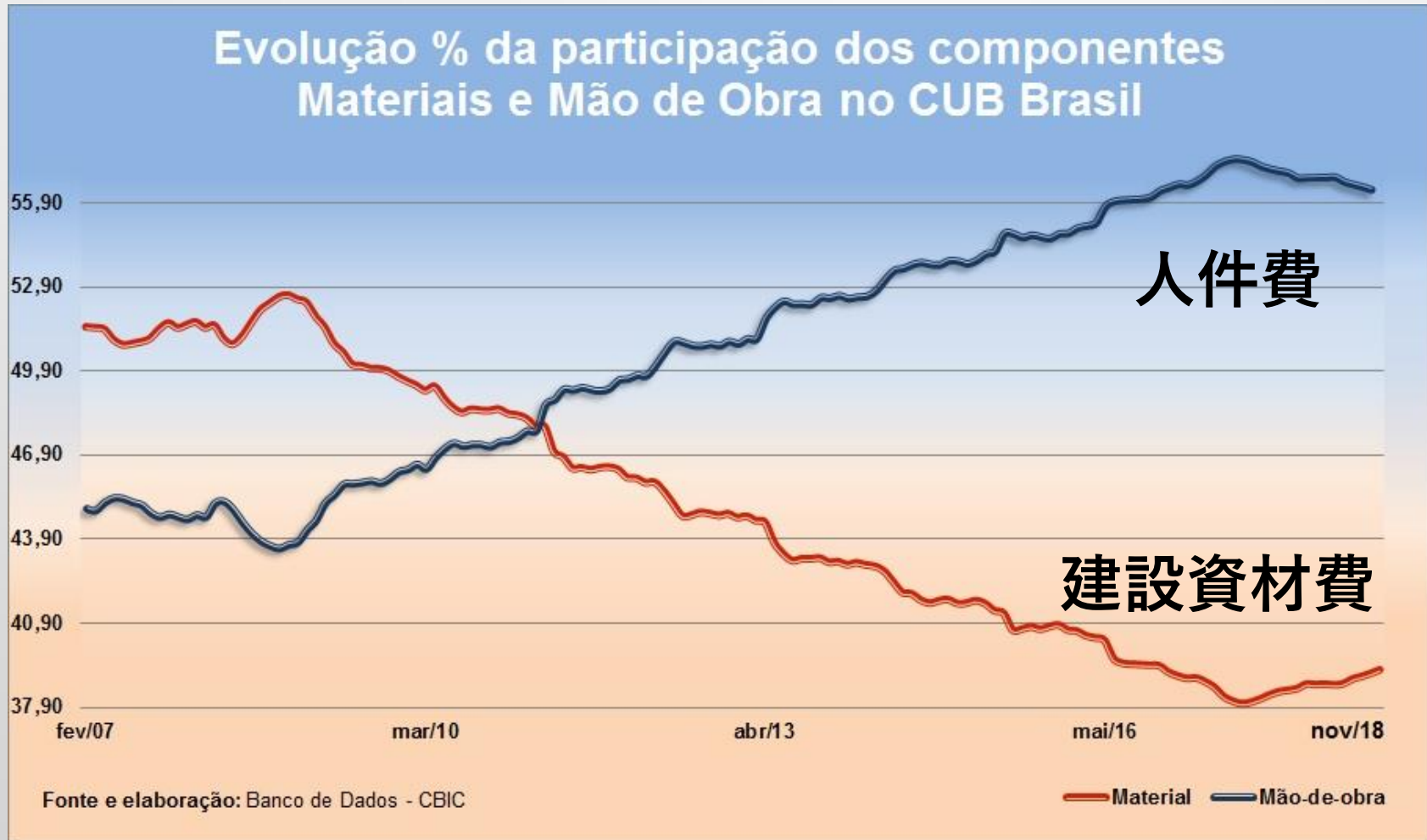
回復を遅らせる要因

景気低迷

公共工事の減少

ラヴァ・ジャットの影響

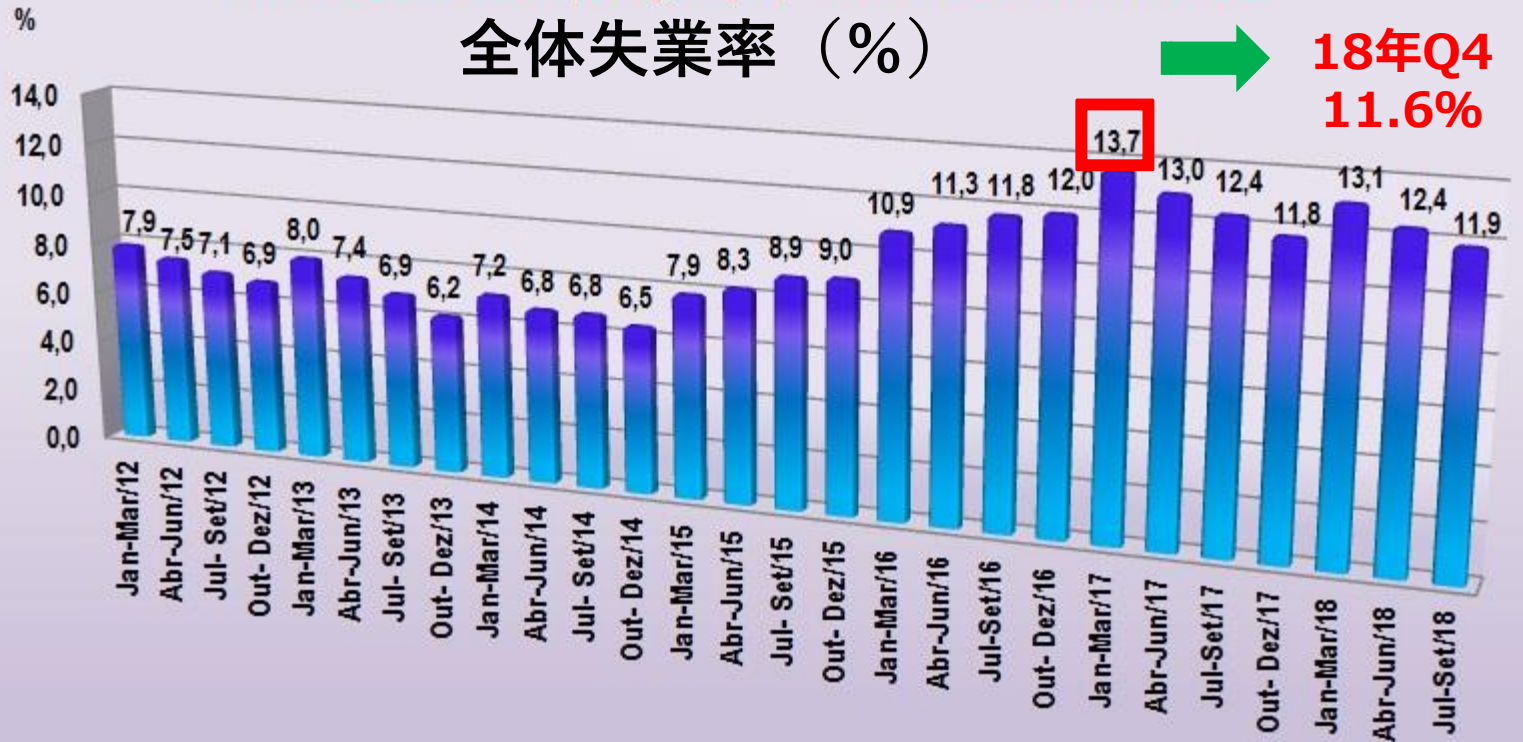
建設コストに対する人件費と材料費



(出典：CBIC)

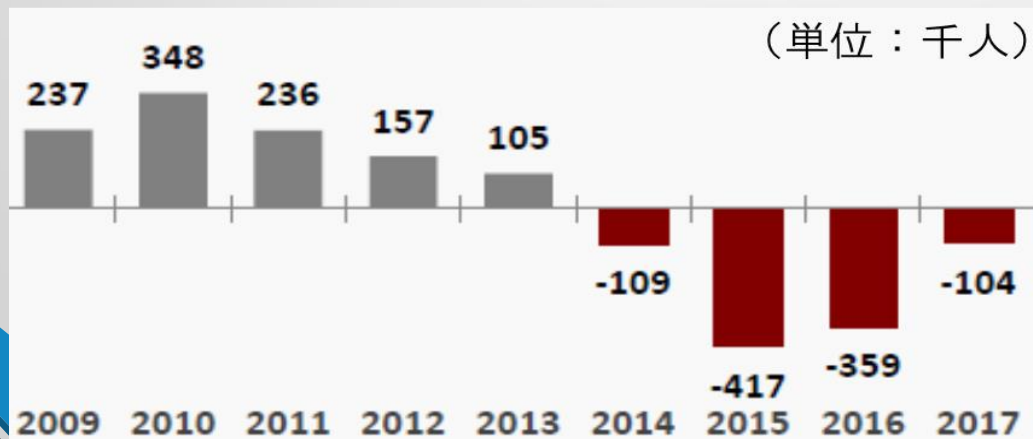
Taxa de Desemprego (%) - Total de Atividades

全体失業率 (%)



18年Q4
11.6%

建設就業者数増減 (前年比)



(単位：千人)

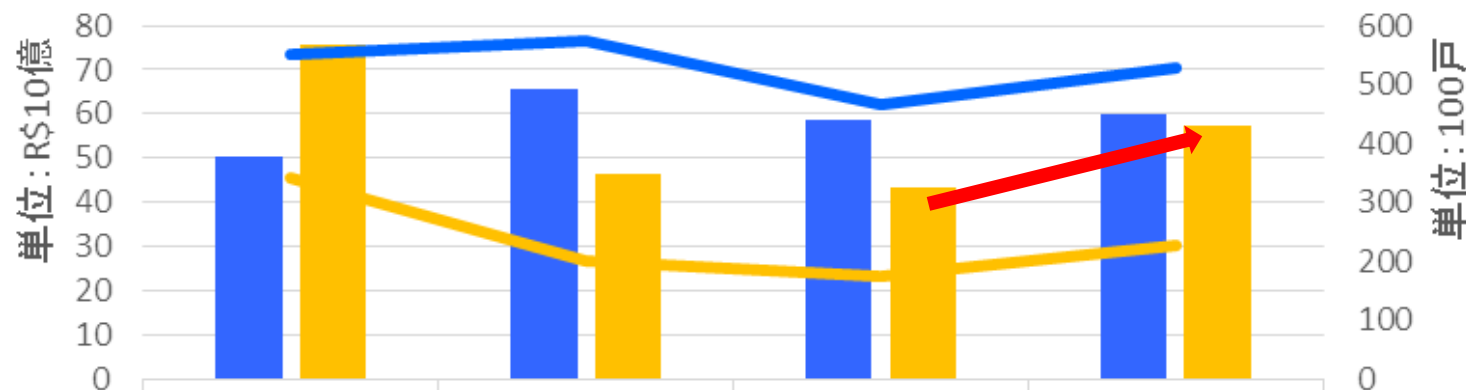
2018年
+17,000人

(出典：CBIC)

1. 市場の概況（不動産）

低金利が持ち家
購入を後押し

住宅ローン（FGTS / SBPE）



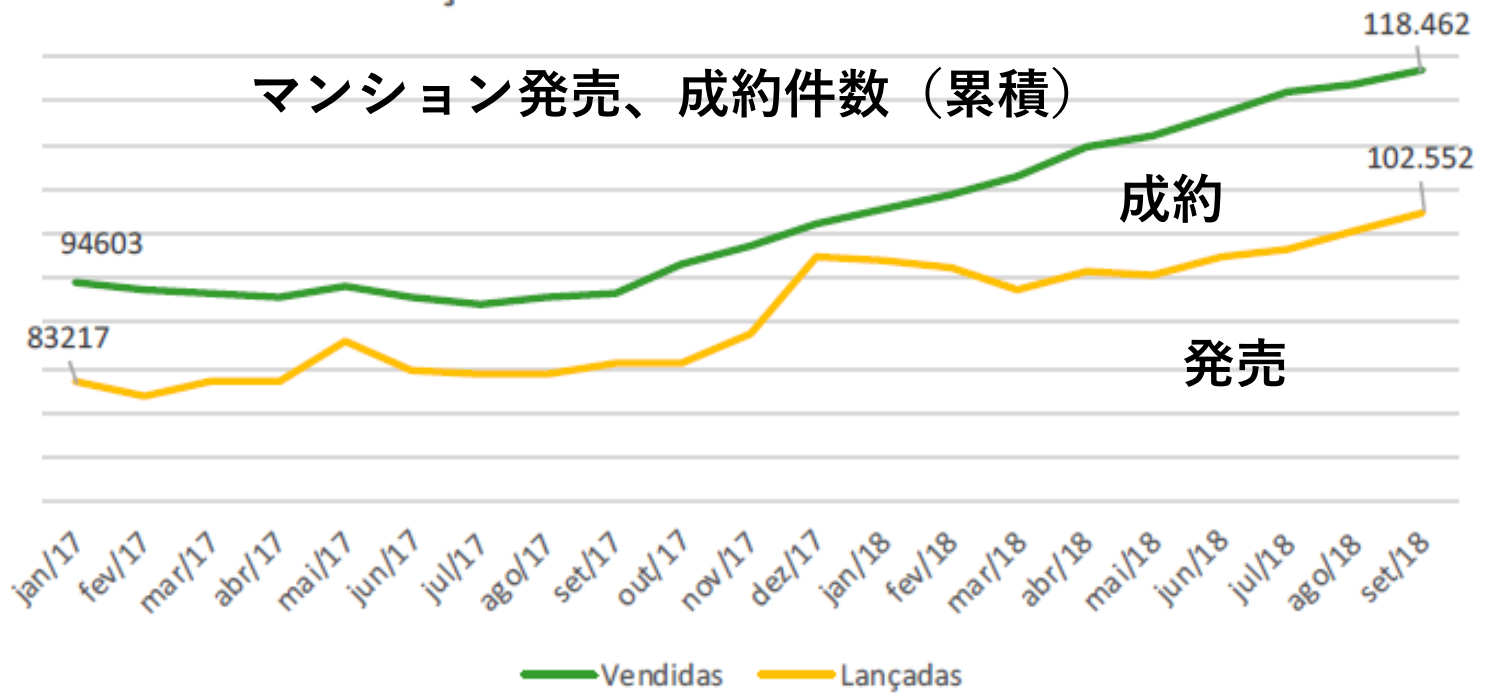
	2015	2016	2017	2018
■ FGTS 額	50.301.424.243	65.519.569.412	58.503.533.855	59.916.125.111
■ SBPE 額	75.578.513.286	46.610.203.257	43.149.107.952	57.387.244.154
— FGTS 戸数	549836	574169	466983	528367
— SBPE 戸数	341508	199689	175619	228380

■ FGTS 額 ■ SBPE 額 — FGTS 戸数 — SBPE 戸数

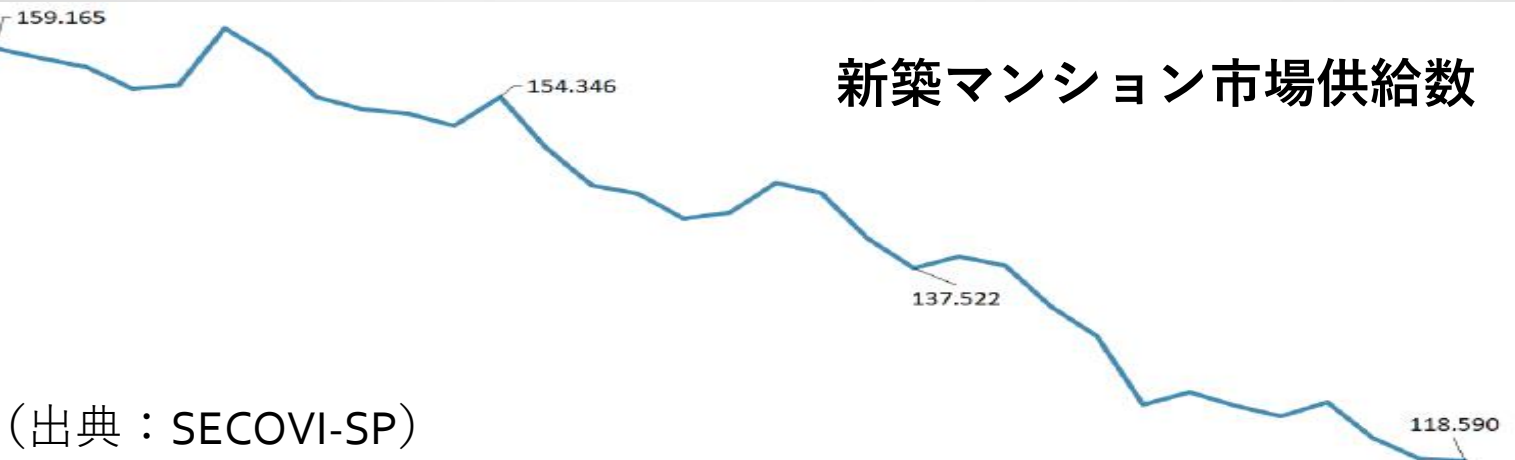
（出典：CBIC）

Lançamentos e Vendas Acumulados

マンション発売、成約件数（累積）

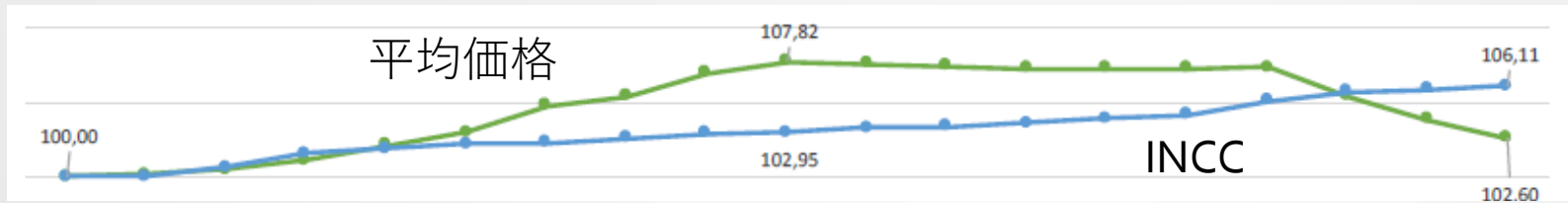


新築マンション市場供給数



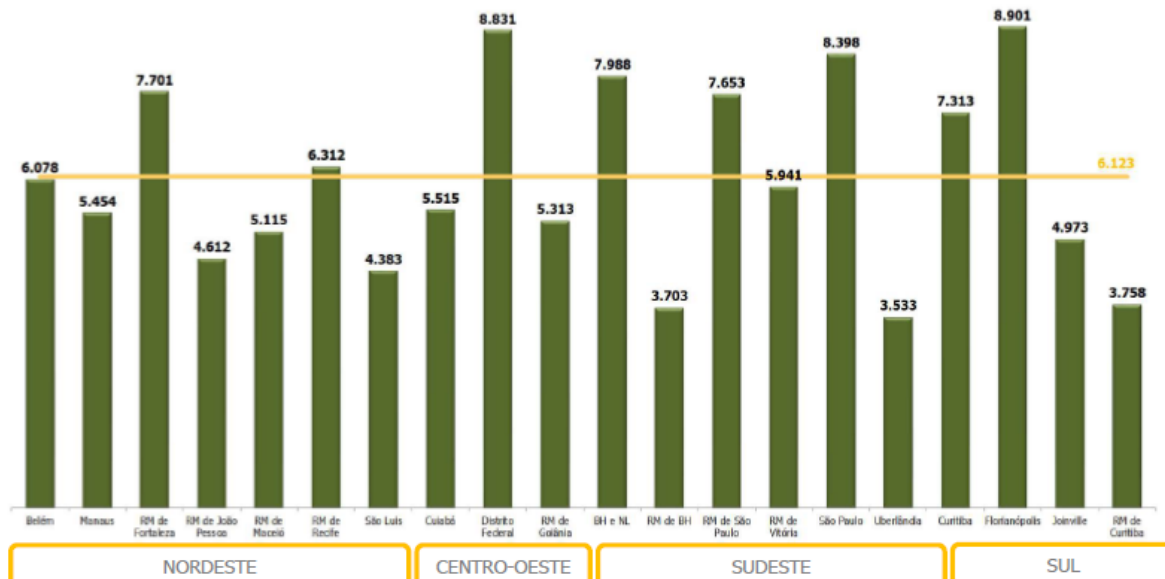
(出典：SECOVI-SP)

マンション価格上昇率：2~7%（直近15ヶ月）



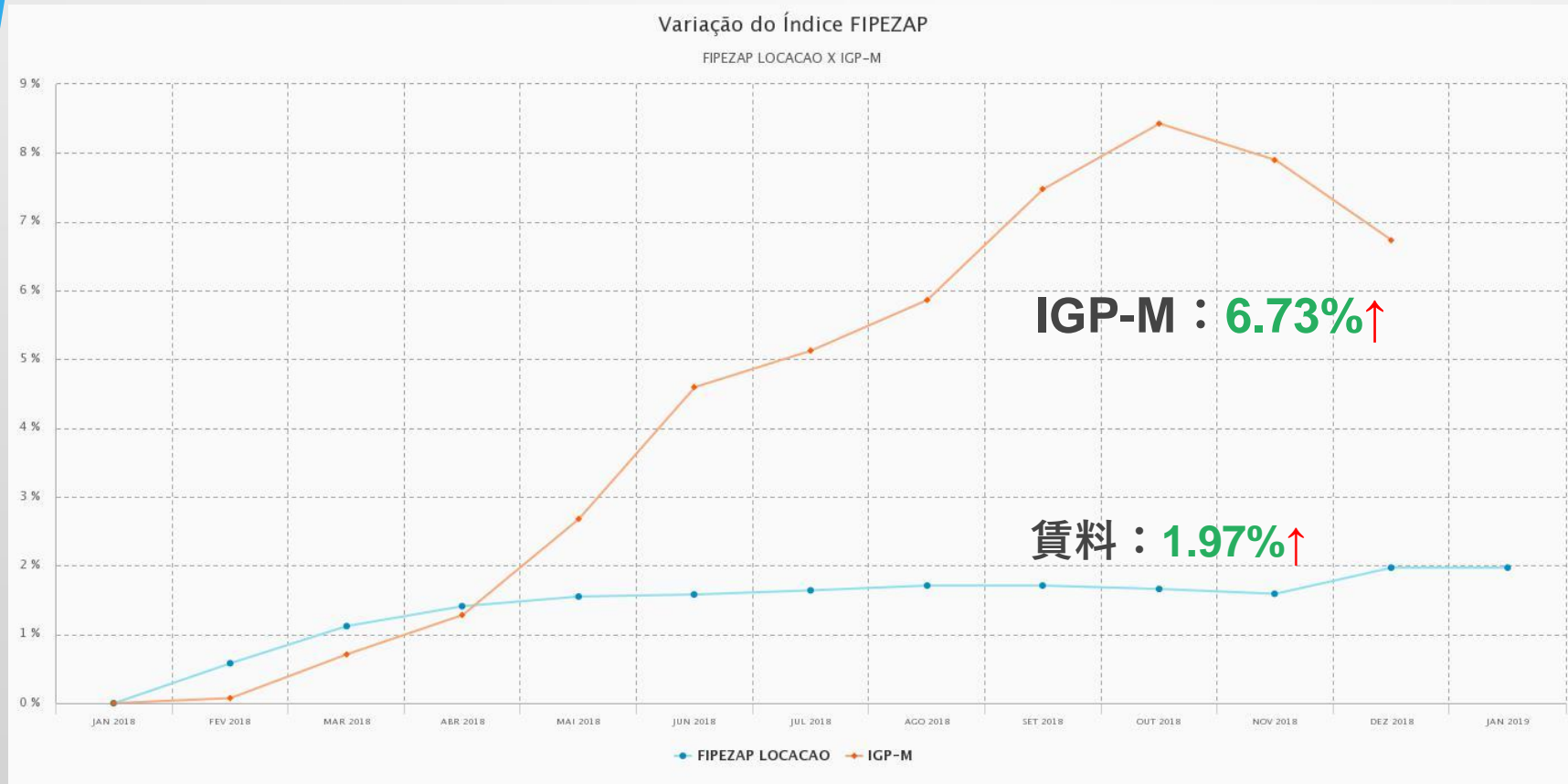
マンション価格（全国平均）：R\$6,123/m²

PREÇO MÉDIO – M² DE AREA PRIVATIVA



（出典：SECOVI-SP）

マンション賃料(2018年1月~19年1月)



出典 (FIPEZAP)

2. 繊維業界の概況



繊維業界・紡績業界を直撃

行うべき事は

相場商品からの脱却

より強固な企業体質
競争力の強化

2. 繊維業界の概況

相場商品からの脱却

伯国の繊維市場規模（年間原料使用量）

丸編み（Tシャツ等）
40～50万t

DENIM
20万t

タオル
10～15万t

セーター

靴下

デコラソン

10数万t

2. 繊維業界の概況

相場商品からの脱却

約100万t市場
上位数%のプレミアムゾーン
市場創造

ソファ・カーテン
デコラソンの紹介

2. 繊維業界の概況



2. 繊維業界の概況

カラーと素材感（外観・形状）



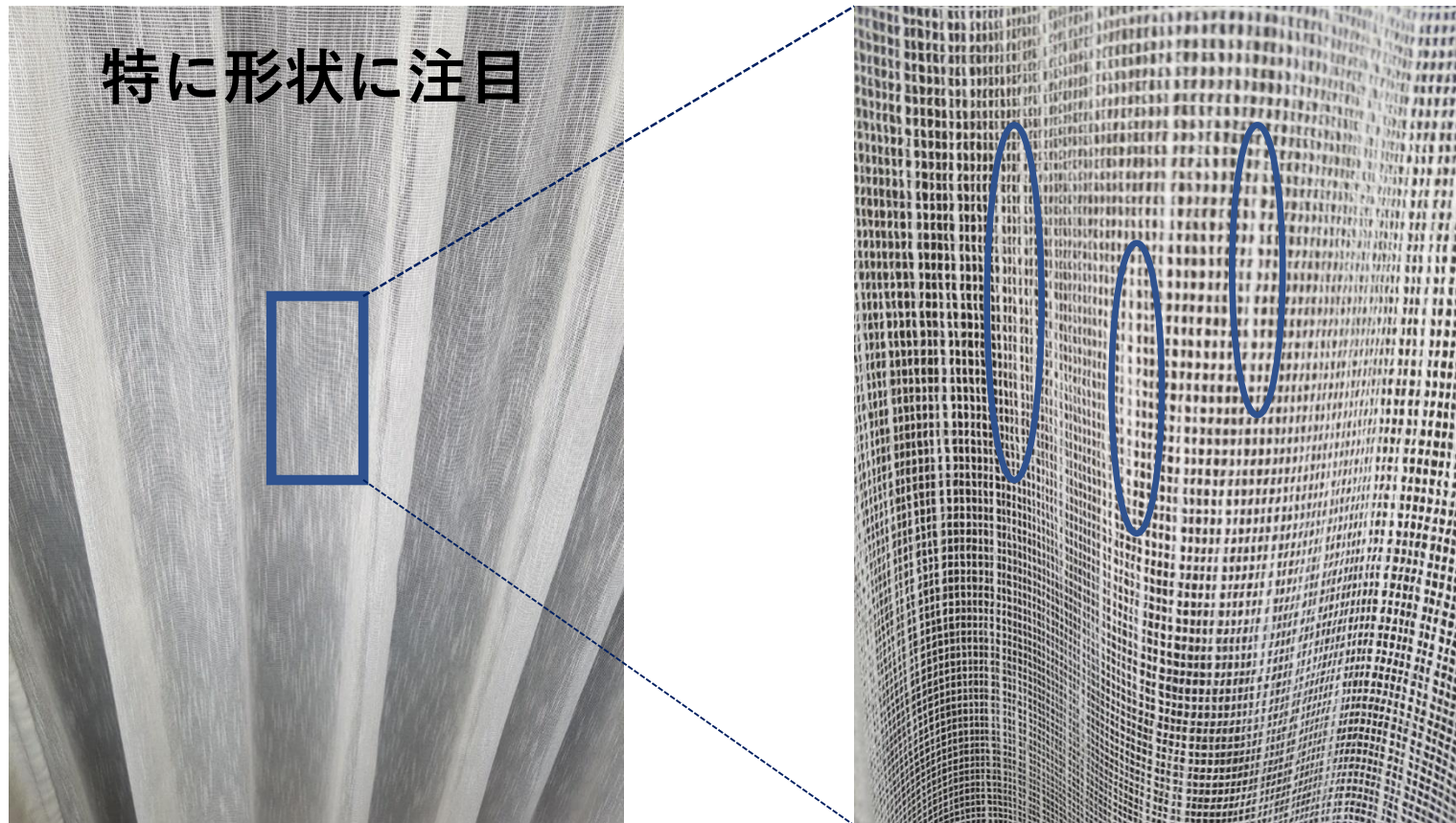
2. 繊維業界の概況



特に形状に注目



2. 繊維業界の概況



2. 繊維業界の概況

相場商品からの脱却

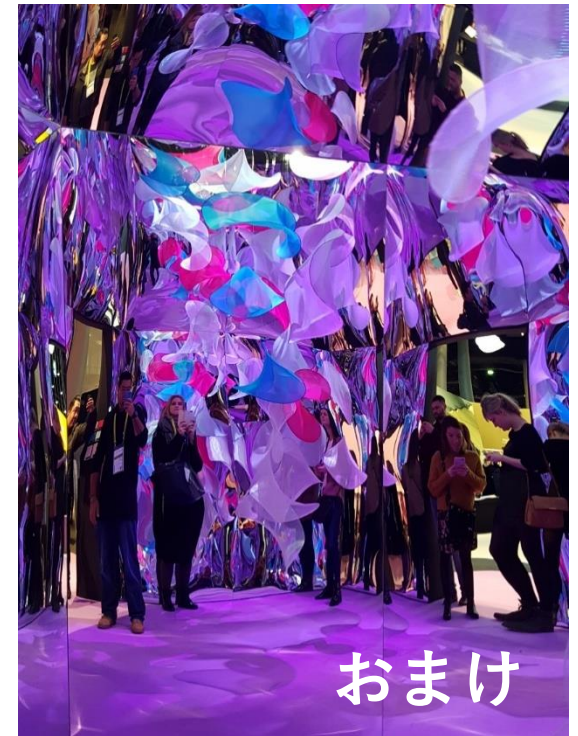
唯一無二の商品を提案し新しい価値を提供



2. 繊維業界の概況



2. 繊維業界の概況



3. 生活産業部会の取り組み

わたしたちの生活を支える産業



はじめに わたしたちの生活と産業 日本の工業 工業統計調査 グラフを作ってみよう 統計学習 工業クイズ 用語集 リンク集

わたしたちは、毎日の生活に必要な商品をお店などから買ってきています。
これらの商品は、誰によって、どこで作られたのでしょうか？

約288万人が働いています。
生産額は、約9兆9千億円です。



農業・林業・
水産業など

約1千123万人が働いています。
お店の数は、約141万店です。
販売額は、約480兆3千億円です。



商業

わたしたちの生活は
たくさんの産業や
働く人たちに
支えられて
いるんですね。

外国から
輸入

原料
エネルギー
農林水産物
など



工業

約784万人が働いています。
工場の数は、42万です。
生産額は、約290兆7千億円です。



出展：平成24年工業統計、平成24年経済センサス-活動調査
卸売業・小売業に関する集計 産業編(総括表第1表)、
農林漁業基本調査(平成22年数値)より

3. 生活産業部会の取り組み



部
会
員
募
集
中

講評

在サンパウロ日本国総領事/
ブラジル日本商工会議所名誉顧問

野口 泰

Avaliação do
Cônsul Geral do Japão em São Paulo/
Conselheiro de Honra da
Câmara de Com. e Ind. Japonesa do Brasil

Yasushi Noguchi

閉会の辞

讚井 慎一 総務委員長

APRESENTADOR

**Presidente da Comissão
de Coordenação Geral**

Shinichi Sanui